所管	検丁	合格者		不合格		検丁ニ對スル百分比例	
		採用	不採用	計		合格者	不合格者
舞鶴鎮守府	二、八八六	四三二	五一四	九四六	一、九四〇	三二、八	六七、二
總計	一三、九一七	二、二一四	二、六七	四、三八二	九、五三六	三一、五	六八、五

志願兵合格者兵種別

所管	水兵	木工	軍樂生	機關兵	鍛冶	看護主厨	合計
横須賀鎮守府	四八二	—	—	五〇一	三八	七四	一、一〇五
呉鎮守府	五九九	—	—	五四五	一五	二三九	一、四四三
佐世保鎮守府	三七七	—	—	一〇	二九	八六	八九八
舞鶴鎮守府	三七〇	—	—	三六一	八	三五	九五一
總計	一、八二六	—	—	一、八〇三	四三	一四七	四、三九七

志願兵合格者職業別

所管	農業	商業	工業	鍛冶	船乘	漁業	其他	合計
横須賀鎮守府	八六四	四二	三九	一五	六	一四	二二五	一、一〇五
呉鎮守府	九七一	七一	五七	二六	四八	一八	二五二	一、四四三
佐世保鎮守府	六六八	二七	二〇	一〇	一〇	一三	一一二	八九八
舞鶴鎮守府	七一九	三七	四八	九	八	二一	一〇五	九五一

志願兵合格者平均體格

所管	人員	長(尺)	體重(瓩)	胸圍(尺)	胸廓擴張(寸)	活量(立方呎寸)	握力 左(瓩)	握力 右(瓩)
横須賀鎮守府	九四二	五、三四	一四、八七一	二、二七七	三、二七〇	三五、七三	三六、三〇	三七、七五
呉鎮守府	一、一〇四	五、三一	一四、六四八	二、二六	三、八一九	三一、四九	三一、七六	三三、九九
佐世保鎮守府	七六八	五、三一	一四、九三〇	二、二七九	三、二四	三一、六四	三一、七六	三三、六八
舞鶴鎮守府	七一四	五、三二	一四、八九三	二、二七九	三、二九	三一、九六	三三、三八	三四、四九
總計及平均	三、五二八	五、二九	一四、八一九	二、二七九	三、二四九	三一、九六	三三、三八	三四、四九
總計	三、二四〇	一六四	六〇	七二	七六	六〇八	四、三九七	

第十三　恩給

明治三十五年度ニ於ケル受恩給者ノ總數ヲ擧示スルニ退職恩給ニアリテハ准士官以上ノ年齡滿限ニ因ル者十六人豫備役ニ入ル者二十六人免除恩給ニアリテハ下士ノ年齡滿限並服役滿期ニ因ル者二百四十七人平時負傷

並疾病ニ因ル者三十五人卒ノ服役滿期ニ因ル者百五十二人戰時負傷ニ因ル者一人平時負傷並疾病ニ因ル者二十五人集計五百二人トス之ヲ前年度間ノ總數ニ比スレハ人員ニ於テ七十二人年金額ニ於テ壹萬二千三百二十圓六拾錢ヲ增加セリ此增加ヲ見ルハ其原因種々アルヘシト雖モ要スル軍備ノ擴張ニ伴ヒ軍人ノ增加シタルニ外ナラサルナリ又死沒ニ因リ其寡婦孤兒及父母ノ扶助料ヲ受クル者五十八人ニシテ前年ニ對スレハ九人ヲ增加セリ之ニ前段退職免除ノ者ヲ併セ總計五百六十人ヲ以テ三十五年度ニ於ケル新給ノ總數トス又從前ノ受恩給者死沒等ニ因リ其權利ノ消滅スル者二十二人其權利ノ寡婦孤兒及父母等ニ轉移スル者百十六人トス之ヲ加除シ本年度末即チ三十六年三月三十一日ノ現在員ハ五千九百三人（本人四千五百二十四人遺族千三百七十九人）此年金額五十三萬五千四百七圓四拾錢之ヲ前年度末ニ對照スレハ人員五百三十八人（本人三百九十九人遺族百三十九人）金額五萬千百四十一圓一錢三厘ヲ增セリ尙ホ之ヲ約言スレハ人員金額共ニ十分ノ〇、九ヲ增セル比例ナリ左ニ既往十年ノ對照ヲ表示シ以テ受給者增加程度ノ如何ヲ知ルノ資ト爲シ次ニ各種ノ事項ヲ列記シ以テ其狀況ヲ示サン

年度別	現在人員	現在金額	前年度ヨリ增加人員	前年度ヨリ增加金額	增加十分比例（軍人遺族ニ對スル受恩給者百分比例）
	人	円	人	円	
三十五年度末	五、九〇三	五三五、四〇七、四〇〇	五三八	五一、一四一、〇一三	一八・〇
三十四年度末	五、三六五	四八四、二六六、三八七	四五二	四七、七八六、〇三三	一七・六
三十三年度末	四、九一三	四四六、四八七、七八四	二八五	二七、四三〇、〇五〇	一〇・六
三十二年度末	四、六二八	四一九、〇五七、七三四	六七六	四九、七二四、三八七	一・五
三十一年度末	三、九五二	三六九、三三三、三四七	五九八	四三、五六六、九一七	一・五
三十年度末	三、三五四	三一五、七六六、四三〇	四五九	三四、四七〇、六七〇	一・四
二十九年度末	二、八九五	二九一、二九五、七六〇	七七一	七七、一四一、〇八〇	四・〇
二十八年度末	二、七二八	二一九、八四九、九五九	九五	九、五九七、二五七	〇・九
二十七年度末	一、五五七	二一〇、三二七、〇二二	四五二	九、八四三、八〇	〇・九
二十六年度末	一、四一二	二〇〇、四八四、三二三	三四八	七六、二一四、五四三	三・三
平均	—	—	四八四	四一、一三七、六二	一・六
					一・五
					—

明治三十五年度恩給新給並異動

種別			三十五年度間						権利消滅	権利移転	三十六年三月末日現員			
			將官總監	上長官	士官	准士官	下士	卒	計			舊退隱令	舊恩給令	恩給法	計
退職免除	年齢滿限	人員	―	一	一一	四	四	―	二〇	一	一〇	―	三三	三五七	三九〇
		金額	―	八九〇円、〇〇〇	二、七三九円、〇〇〇	八七六円、〇〇〇	三九五円、〇〇〇	―	四、九〇〇円、〇〇〇	六七円、五〇〇	四、二二八円、〇〇〇	―	九、二九五円、〇〇〇	八七、五五一円、〇〇〇	九六、八四六円、〇〇〇
	豫備役	人員	三	一四	三	六	―	―	二六	―	七	―	一	二三一	二三二
		金額	三、四二八円、〇〇〇	一二、四二〇、〇〇〇	六七六、〇〇〇	一、〇四一、〇〇〇	―	―	一七、五六五、〇〇〇	―	二、七四七、〇〇〇	―	一、三六〇、〇〇〇	一二四、六六七、〇〇〇	一二六、〇二七、〇〇〇
	服役滿期	人員	―	―	―	―	二四三	一五二	三九五	五	四六	―	一四七	三、四一一	三、五五八
		金額	―	―	―	―	二〇、〇七八、六〇〇	七、二六二円、〇〇〇	二七、三四〇、六〇〇	三〇二、〇〇〇	二、六九三、五〇〇	―	九、六二三、〇〇〇	二〇四、二九五、一九八	二一三、九一八、一九八
	戰時負傷	人員	―	―	―	―	―	一	一	一	―	六	―	五四	六〇
		金額	―	―	―	―	―	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	七一、五六八	―	四一八円、四一三	―	四、〇八一、〇〇〇	四、四九九、四一三
	平時負傷	人員	―	―	―	―	五	一九	二四	―	二	五	一九	一四三	一六七
		金額	―	―	―	―	三一二、〇〇〇	九一四、〇〇〇	一、二二六、〇〇〇	―	九九、〇〇〇	三一三、三四一	九四七、二五〇	七、九八二、〇〇〇	九、二四二、五九一
	疾病	人員	―	―	―	―	三〇	六	三六	三	二八	一	一〇	一一六	一二七
		金額	―	―	―	―	二、〇〇九、〇〇〇	二七六、〇〇〇	二、二八五、〇〇〇	一三八、〇〇〇	一、七五八、五八〇	五三、六八〇	一、九六〇、〇〇〇	七、六五〇、四二〇	九、六六四、一〇〇
	計	人員	三	一五	一四	一〇	二八二	一七八	五〇二	一〇	九三	一二	二一〇	四、三〇二	四、五二四
		金額	三、四二八、〇〇〇	一三、三一〇、〇〇〇	三、四一五、〇〇〇	一、九一七、〇〇〇	二三、七九四、六〇〇	八、五〇二、〇〇〇	五三、三六六、六〇〇	五七九、〇六八	一一、五二六、〇八〇	七八五、四三四	二三、一八五、二五〇	四三六、二三六、六一八	四六〇、一九七、三〇二
扶助料	戰死者	人員	―	―	―	―	―	―	―	二	一	五	―	一二二	一二七
		金額	―	―	―	―	―	―	―	一〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二四三、七二〇	―	九、四〇〇、〇〇〇	九、六四三、七二〇
	横死者	人員	―	一	―	―	四	一二	一七	二	四	一四	一二	二八六	三一二
		金額	―	四〇〇、〇〇〇	―	―	一七六、〇〇〇	三八六、〇〇〇	九六二、〇〇〇	七六、〇〇〇	一三二、〇〇〇	一、〇八〇、七五〇	一、一〇五、五六七	一五、六六八、四八〇	一七、八五四、七九七
	平死者	人員	―	八	五	一四	一二	二	四一	二	二	一四	四一	二三一	二八六
		金額	―	一、五五〇、〇〇〇	三八〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	二八九、〇〇〇	三八、〇〇〇	二、九五七、〇〇〇	四五、〇〇〇	三九、〇〇〇	七五二、七〇〇	二、九六一、六八〇	一六、四六六、六六七	二〇、一八一、〇四七
	計	人員	―	九	五	一四	一六	一四	五八	六	七	三三	五三	六三九	七二五
		金額	―	一、九五〇、〇〇〇	三八〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	四六五、〇〇〇	四二四、〇〇〇	三、九一九、〇〇〇	二二一、〇〇〇	三七一、〇〇〇	二、〇七七、一七〇	四、〇六七、二四七	四一、五三五、一四七	四七、六七九、五六四
權利轉移	夫ヨリ寡婦へ	人員	一	五	三	五	二九	一一	五四	一	一〇	一	二七	二八五	三一三
		金額	二五〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	六七四、五〇〇	二〇九、〇〇〇	二、五八三、五〇〇	二三、〇〇〇	二四二、五〇〇	三四、四〇〇	二、一二〇、五一三	一三、六三九、二五〇	一五、七九四、一六三
	父ヨリ孤兒へ	人員	―	―	一	一	五	七	一四	一	―	―	三	八一	八四
		金額	―	―	六六、六六七	五〇、〇〇〇	一一四、〇〇〇	一二九、〇〇〇	三五九、六六七	二五、〇〇〇	―	―	三五、〇〇〇	一、八五二、六六七	一、八八七、六六七
	寡婦ヨリ孤兒へ	人員	―	―	―	一	六	二	九	―	二	一	五	五八	六四
		金額	―	―	―	五〇、〇〇〇	一二四、〇〇〇	五三、〇〇〇	二二七、〇〇〇	―	三五、〇〇〇	二四、一八〇	八八〇、七七三	二、六二四、七二七	三、五二九、六八〇
	子ヨリ父へ	人員	―	―	―	―	一〇	八	一八	一	二	―	一	六五	六六
		金額	―	―	―	―	一六八、〇〇〇	一四八、〇〇〇	三一六、〇〇〇	一九、〇〇〇	三九、〇〇〇	―	一三、三三三	一、三一八、〇〇〇	一、三三一、三三三
	子ヨリ母へ	人員	―	―	―	―	一	五	六	一	―	―	一	三六	三七
		金額	―	―	―	―	二三、〇〇〇	八六、二二七	一〇九、二二七	一九、〇〇〇	―	―	一六、六六七	七四二、二二七	七五八、八九四
	寡婦ヨリ父へ	人員	―	―	―	―	一	一	二	―	―	―	―	一三	一三
		金額	―	―	―	―	二三、〇〇〇	一九、〇〇〇	四二、〇〇〇	―	―	―	―	八六九、〇〇〇	八六九、〇〇〇
	長子ヨリ次子へ	人員	―	―	二	―	二	―	四	一	二	―	一	五	六
		金額	―	―	二三三、三三三	―	三一、六六七	―	二六五、〇〇〇	一三三、三三三	三五、〇〇〇	―	一六、六六七	三七七、六六七	三九四、三三四
	父ヨリ母へ	人員	―	―	一	―	三	四	八	―	―	―	一	五四	五五
		金額	―	―	二〇〇、〇〇〇	―	八〇、〇〇〇	九六、〇〇〇	三七六、〇〇〇	―	―	―	一一、一一三	一、九六五、三五〇	一、九七六、四六三
	寡婦ヨリ父へ	人員	―	―	―	―	―	―	―	一	―	―	一	九	一〇
		金額	―	―	―	―	―	―	―	四〇、〇〇〇	―	―	三〇、〇〇〇	六六三、〇〇〇	六九三、〇〇〇
	孤兒ヨリ祖父へ	人員	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一	一
		金額	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
	孤兒ヨリ祖母へ	人員	―	―	―	―	一	―	一	―	―	―	―	二	二
		金額	―	―	―	―	二〇、〇〇〇	―	二〇、〇〇〇	―	―	―	―	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇
	母ヨリ祖母へ	人員	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一	一
		金額	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	四六、〇〇〇	四六、〇〇〇
	孤兒ヨリ父へ	人員	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一	一
		金額	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	三八、〇〇〇	三八、〇〇〇
	孤兒ヨリ母へ	人員	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一	一
		金額	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	二三、〇〇〇	二三、〇〇〇
	計	人員	一	五	七	七	五八	三八	一一六	六	一六	二	四〇	六一二	六五四
		金額	二五〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	七五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一、二五八、一六七	七四〇、二二七	四、二九八、三九四	二五九、三三三	三五一、五〇〇	五八、五八〇	三、一二四、〇六六	二四、三四七、八八八	二七、五三〇、五三四
總計		人員	四	二九	二六	三一	三五六	二三〇	六七六	二二	一一六	四七	三〇三	五、五五三	五、九〇三
		金額	三、六七八、〇〇〇	一六、二六〇、〇〇〇	四、五四五、〇〇〇	二、九一七、〇〇〇	二四、五一七、七六七	九、六六六、二二七	六一、五八三、九九四	一、〇五九、四〇一	一二、二四八、五八〇	二、九二一、一八四	三〇、三七六、五六三	五〇二、一〇九、六五三	五三五、四〇七、四〇〇

（備考）扶助料戰死者ノ行三月末日現員中ニ三十五年法律第四十五號ニ據リ扶助料ヲ更正増加シタル分恩給法ノ欄ニ二、八五三圓退隱令ノ欄ニ一二圓合計二、八六五圓ヲ加算セリ

前表中ニ就キ更ニ最近五年度受給者ヲ對照スレハ左ノ如シ

最近五年度受恩給者對照

恩給種別		年齡滿限 將官、總監	年齡滿限 上長官、士官	年齡滿限 准士官	年齡滿限 下士	年齡滿限 卒	年齡滿限 計	豫備役 將官、總監	豫備役 上長官、士官	豫備役 准士官	豫備役 計	服役滿期 下士	服役滿期 卒	服役滿期 計
三十五年度	人員	—	一二	四	四	—	二〇	三	一七	六	二六	二四三	一五二	三九五
	金額	—	三、六二九 〇〇〇	八七六 〇〇〇	三九五 〇〇〇	—	四、九〇〇 〇〇〇	三、四二八 〇〇〇	一三、〇九六 〇〇〇	一、〇四一 〇〇〇	一七、五六五 〇〇〇	二〇、〇七八 六〇〇	七、二六二 〇〇〇	二七、三四〇 六〇〇
三十四年度	人員	三	八	一三	七	一	三二	一	八	二	一一	一九七	一三六	三三三
	金額	三、〇一四 〇〇〇	二、八一二 〇〇〇	二、二四二 〇〇〇	六二五 〇〇〇	四七 〇〇〇	八、七四〇 〇〇〇	九〇〇 〇〇〇	四、九一六 〇〇〇	三六三 〇〇〇	六、一七九 〇〇〇	一六、〇四四 〇〇〇	六、五六二 〇〇〇	二二、六〇六 〇〇〇
三十三年度	人員	一	一七	八	四	—	三〇	三	二	—	五	七二	九八	一七〇
	金額	一、〇一三 〇〇〇	六、九四七 〇〇〇	一、二六一 〇〇〇	三六四 〇〇〇	—	九、五八五 〇〇〇	四、二三一 〇〇〇	一、一四三 〇〇〇	—	五、三七四 〇〇〇	五、六四五 〇〇〇	四、六一〇 〇〇〇	一〇、二五五 〇〇〇
三十二年度	人員	—	二三	二七	七	—	五七	一	四	一二	一七	一八〇	三四六	五二六
	金額	—	八、三六八 〇〇〇	四、七二九 一六七	六〇七 〇〇〇	—	一三、七〇四 一六七	一、五八〇 〇〇〇	九五六 〇〇〇	一、九三二 〇〇〇	四、四六八 〇〇〇	一三、二七二 〇〇〇	一七、二一九 〇〇〇	三〇、四九一 〇〇〇
三十一年度	人員	—	一一	二	三	三	一九	六	三	一三	二二	一三三	三三四	四六七
	金額	—	四、四八四 〇〇〇	四二三 〇〇〇	二六九 〇〇〇	一三四 〇〇〇	五、三一〇 〇〇〇	六、七五二 〇〇〇	二、一七八 〇〇〇	一、四六七 〇〇〇	一〇、三九七 〇〇〇	一〇、三七一 〇〇〇	一六、二〇八 〇〇〇	二六、五七九 〇〇〇

種別	給												扶			
	戰時負傷				平時負傷			疾病				合	戰死			
	上長官、士官	下士	卒	計	下士	卒	計	士官	下士	卒	計	計	上長官、士官	下士	卒	計
三十五年度 人員	|	|	一	一	五	一九	二四	|	三〇	六	三六	五〇二	|	|	|	|
三十五年度 金額	|	|	五〇 〇〇〇	五〇 〇〇〇	三一二 〇〇〇	九一四 〇〇〇	一,二二六 〇〇〇	|	二,〇〇九 〇〇〇	二七六 〇〇〇	二,二八五 〇〇〇	五三,三六六 六〇〇	|	|	|	|
三十四年度 人員	|	二	三	五	四	九	一三	|	三三	三	三六	四三〇	|	|	一	一
三十四年度 金額	|	一六八 〇〇〇	一六六 〇〇〇	三三四 〇〇〇	二四八 〇〇〇	五〇八 〇〇〇	七五六 〇〇〇	|	二,二九三 〇〇〇	一三八 〇〇〇	二,四三一 〇〇〇	四一,〇四六 〇〇〇	|	|	三〇 〇〇〇	三〇 〇〇〇
三十三年度 人員	|		|	|	四	一九	二三	|	三三	二	三五	二六三	二	一	一〇	一三
三十三年度 金額	|	|	|	|	二四三 〇〇〇	一,〇四三 〇 〇	一,二八六 〇〇〇	|	二,三一九 〇〇〇	一〇〇 〇〇〇	二,四一九 〇〇〇	二八,九一九 〇〇〇	六〇〇 〇〇〇	四〇 〇〇〇	三二二 〇〇〇	九六二 〇〇〇
三十二年度 人員	一	|	|	一	六	一四	二〇	|	二九	三	三二	六五三	|	|	|	|
三十二年度 金額	六六五 〇〇〇	|	|	六六五 〇〇〇	四五二 〇〇〇	六八〇 〇〇〇	一,一三二 〇〇〇	|	一,七五四 五〇〇	一六〇 〇〇〇	一,九一四 五〇〇	五二,三七四 六六七	|	|	|	|
三十一年度 人員	|	|	|	|	三	一三	一六	|	三五	八	四三	五六七	|	|	|	|
三十一年度 金額	|	|	|	|	一九六 〇〇〇	六七二 〇〇〇	八六八 〇〇〇	|	二,四〇六 〇〇〇	三七六 〇〇〇	二,七八二 〇〇〇	四五,九三六 〇〇〇	|	|	|	|

種別	助料												總
	横死					平死						合	
	上長官、士官	准士官	下士	卒	計	將官、總監	上長官、士官	准士官	下士	卒	計	計	計
三十五年度 人員	一	|	四	一二	一七	|	一三	一四	一二	二	四一	五八	五六〇
三十五年度 金額	四〇〇 〇〇〇	|	一七六 〇〇〇	三八六 〇〇〇	九六二 〇〇〇	|	一,九三〇 〇〇〇	七〇〇 〇〇〇	二八七九 〇〇〇	三八 〇〇〇	二,九五七 〇〇〇	三,九一九 〇〇〇	五七,二八五 六〇〇
三十四年度 人員	二	一	二	二〇	二五	|	九	二	一一	一	二三	四九	四七九
三十四年度 金額	五〇〇 〇〇〇	一〇〇 〇〇〇	八〇 〇〇〇	六三二 〇〇〇	一,三一二 〇〇〇	|	一,六〇〇 〇〇〇	一〇〇 〇〇〇	二六一 〇〇〇	一九 〇〇〇	一,九八〇 〇〇〇	三,三二二 〇〇〇	四四,三六八 〇〇〇
三十三年度 人員	|	|	|	一〇	一〇	二	一〇	三	一一	一	二七	五〇	三一三
三十三年度 金額	|	|	|	三四六 〇〇〇	三四六 〇〇〇	七〇〇 〇〇〇	一,五八〇 〇〇〇	一五〇 〇〇〇	二六〇 〇〇〇	一九 〇〇〇	二,七〇九 〇〇〇	四,〇一七 〇〇〇	三二,九三六 〇〇〇
三十二年度 人員	四	|	一	一三	一八	二	五	四	一三	二	二六	五四	七〇七
三十二年度 金額	八二〇 〇〇〇	|	四六 〇〇〇	七二〇 〇〇〇	一,五八六 〇〇〇	七〇〇 〇〇〇	七五〇 〇〇〇	二〇〇 〇〇〇	二八五 六六七	三八 〇〇〇	一,九七三 六六七	三,五五九 六六七	五五,九三四 三三四
三十一年度 人員	五	|	四	二〇	二九	一	四	三	一一	五	二四	五三	六二〇
三十一年度 金額	一,四二〇 〇〇〇	|	一七六 〇〇〇	六七二 〇〇〇	二,二六八 〇〇〇	四〇〇 〇〇〇	七〇〇 〇〇〇	一五〇 〇〇〇	二四八 〇〇〇	九三 〇〇〇	一,五九一 〇〇〇	三,八五九 〇〇〇	四九,七九五 〇〇〇

以上表示シタル所ハ恩給及扶助料ノミナリシカ其服役年數十一年ニ滿タスシテ給助金又ハ賑恤金ヲ受ケタル者及恩給起算以前勤務年數ニ對シ一時賜金ヲ受ケタル者ヲ一表ニ掲上シ左ニ最近五年度ノ對照ヲ示サン

最近五年度一時賜金賑恤金給助金對照

種別	三十五年度 人員	三十五年度 金額	三十四年度 人員	三十四年度 金額	三十三年度 人員	三十三年度 金額	三十二年度 人員	三十二年度 金額	三十一年度 人員	三十一年度 金額
一時賜金 將官、總監	—	—	—	—	一	一〇〇〇〇〇	一	一九五〇六	一	一一四七四
一時賜金 上長官、士官	—	—	一	三五〇〇	一	三七五〇	一	八二五〇	三	三二〇〇〇
一時賜金 准士官	—	—	—	—	—	—	—	—	一	五〇〇〇
一時賜金 計	—	—	一	三五〇〇	二	一〇三七五〇	二	二七七五六	五	四八四七四
賑恤金 下士	二	一四四〇〇〇	三	二六四〇〇〇	二	一六八	—	—	—	—
賑恤金 卒	三〇	一、八九六〇〇〇	三〇	一、七三七〇〇〇	一七	八六二〇〇〇	二一	一、一五八〇〇〇	二〇	一、二四七〇〇〇
賑恤金 計	三二	二、〇四〇〇〇〇	三三	二、〇〇一〇〇〇	一九	一、〇三〇〇〇〇	二一	一、一五八〇〇〇	二〇	一、二四八〇〇〇
給助金 將官	二	二、五〇〇	—	—	一	一、〇五〇〇〇〇	二	二、一〇〇〇〇〇	—	—
給助金 上長官、士官	二〇	八、二二〇〇〇〇	一二	四、四八五〇〇〇	一七	七、八一五〇〇〇	一二	四、六八〇〇〇〇	八	三、〇六〇〇〇〇
給助金 准士官	一三	一、九五〇〇〇〇	七	一、〇五〇〇〇〇	二	三〇〇〇〇〇	五	七五〇〇〇〇	三	四五〇〇〇〇
給助金 下士	二九	一、五四八〇〇〇	一六	八四六〇〇〇	一四	七八六〇〇〇	一六	八八八〇〇〇	二〇	一、〇八〇〇〇〇
給助金 計	六四	一四、二一八〇〇〇	三五	六、三八一〇〇〇	三四	九、九五一〇〇〇	三五	八、四一八〇〇〇	三一	四、五九〇〇〇〇
總計	九六	一六、二五八〇〇〇	六九	八、三八五五〇〇	五五	一一、〇八四七五〇	五八	九、六〇三七五六	五六	五、八八五四七四

又官吏恩給法ニ據リ本年度間ニ於テ文官ノ恩給ヲ受ル者二十五人之ヲ種別スレハ定員改正ニ因ル者十八人疾病ニ因ル者三人非職並休職滿期ニ因ル者四人ニシテ其別左ノ如シ

文官受恩給者人員金額

官階	人員	金額
奏任	三	一、一四一円〇〇〇
判任	二二	三、一二八七五〇
總計	二五	四、二六九七五〇

第十四 教育

大學校

明治三十五年度ニ於ケル學生教育狀況ノ梗概ヲ述フルコト左ノ如シ

將校科並機關科學生二十五人ハ前年度ヨリ繼續シ中ニ就キ卒業シタル者十七人選科學生ノ修學ヲ卒リ退校シタル者四人本年度ニ於テ就學シタル者十八人ニシテ年度末ニ至リ尙修學中ニアル者二十二人トス

其ノ卒業者中將校科十三人（甲種八人乙種五人）機關科一人ハ三十五年七月八日卒業證書授與式ヲ擧行セラレタリ此日

臨幸アラセラレ學術優等者將校科二人機關科一人ニ各賞品ヲ下賜セラレタリ又前年度即チ三十四年十二月十七日ヲ以テ卒業シタル將校科乙種三人ハ當時假卒業證書ヲ授ケラレタルニ是ニ至リ共ニ本證書ヲ授與セラレ內一人ハ學術優等ニ付賞品ヲ下賜セラレタリ他ノ將校科乙種三人ハ三十六年二月二十日卒業シ假證書ヲ授與セラレタリ

本校敎官ノ三十五年十二月末日現員ハ三十五人ニシテ之ヲ區別スレハ武官專務八人兼務十八人文官專務六人兼務三人トス其他雇外國人一人敎授嘱託ノモノ十一人ナリ

以上叙述シタル所ニ就キ學生ノ出入ヲ表示スレハ左ノ如シ

大學校學生

區別	前年度末日現員	三十五年度間 就學	卒業	退學	本年度末日現員
將校科 撰科	一六	一〇	五	一	一〇
機關科 撰科	四	一	一	一	三

	總計	三十四年度	三十三年度	三十二年度	三十一年度
	二五	二三	二五	二三	一六
	一八	一七	四	二二	一六
	四一	三四	一六	一三	一二
	一六	一二	一	一三	八
	二三	二五	二三	二三	二五

見學實習　本學期中甲種學生ハ其見學實習ニ於テ豐富ナル機會ヲ有セリ即チ三十五年十一月栃木縣下ニ於ケル第一師團機動演習、橫須賀鎭守府小演習三十六年二月常備艦隊聯合冬季演習又同月末ヨリ四月上旬ニ渉リ海軍大演習艦隊編制中臨時補職其他駿州駿東郡保土澤村ニ於ケル要塞射擊學校射擊見學、橫須賀鎭守府設備實地研究海岸要塞實地見學トシテ紀淡海峽ニ於ケル海岸要塞見學ノ如キ本學期中ニ於ケル重ナルモノニ屬セリ

選科學生　前學期ヨリ繼續專攻中ニ在リシ所ノ選科學生四人ハ本學期中潛航艇專攻、彈道學專攻、戰史專攻、水雷術專攻ノ各攻究ヲ卒ヘ規定ノ著作ヲ提出シテ學生ヲ免セラレ現職ニ補セラレタリ

兵學校

明治三十五年度ニ於ケル生徒敎育狀況ノ梗概ヲ述フルコト左ノ如シ

第三十期生徒百八十六人ノ卒業試驗ハ三十五年十一月十三日開始シ同二十一日ヲ以テ結了シ全員皆及第セリ其成績ハ百分ノ九十以上ノ優等成績ヲ得タルモノ五人アリ而シテ平均得點百分ノ七六、九八ヲ得タリ之ヲ前期生徒ノ卒業成績ニ比較スレハ稍々劣ルト雖モ前學年ニ於ケル本期生徒ノ大試驗成績百分ノ七六、二七ニ比スレハ稍々優ルモノアリ他ノ一人ハ疾病ノ爲メ缺席シタルヲ以テ後チ臨時試驗ヲ行ヒ及第卒業セリ又他ノ一人ハ是ヨリ先疾病ノ爲メ退校シタリ

卒業者百八十六人ハ三十五年十二月十四日卒業證書授與式ヲ行ヒ威仁親王殿下臨場アラセラレ學術優等者三人ニ各賞品ヲ下賜アリタリ卒業者ハ仝日海軍少尉候補生ヲ命セラレ軍艦嚴島松島橋立ニ分乘セリ

第三十一期生徒百九十一人（他ノ三人ハ疾病ノ爲メ退校）ノ大試驗ハ三十五年十二月結了シ百九十人及第セリ其ノ成績ハ十分ノ九以上ノ優等點ヲ得タル者七人アリ品行モ亦概シテ善良ナリ而シテ平均得點百分比例ハ七八、〇一ニシテ前年ニ於ケル第三十期生徒ノ百分比例ニ比スレハ一、七四ノ多キヲ見ル又客年ノ本期生徒成績ニ比スルモ亦頗ル優等ヲ示セリ只一名ノ落第者アルモ本期生徒ノ成績ハ比較的良好ニシテ一段ノ進歩ヲ爲セリ其落第者ハ成

業ノ目途アルヲ以テ次期即チ第三十二期ニ編入セリ

及第者百九十人ハ三十五年十二月十三日及第證書ヲ授與セラレ中ニ就キ七人ハ學術優等章ヲ授ケラレ內四人ハ品行善良章ヲ併授セラレタリ

第三十二期生徒二百十二人（他ノ二人ハ疾病ノ爲メ缺席一人ハ是ヨリ先退校ス）ノ大試驗ハ三十五年十二月結了シ二百九人及第シ三人落第セリ其成績ハ十分ノ九以上ノ優等點ヲ得タルモノ五人ニシテ品行モ亦善良ナリ而シテ平均得點百分比例ハ七八、〇七ニシテ前年ニ於ケル第三十一期生徒成績ニ比スレハ六、七八ノ好結果ヲ示セリ落第者三人ハ成業ノ目途アルヲ以テ次期即チ第三十三期ニ編入シ又其缺席者二人モ次期ニ編入セリ

及第者二百九人ハ三十五年十二月十三日及第證書ヲ授與セラレ中ニ就キ五人ハ學術優等章ヲ二人ハ品行善良章ヲ授ケラレタリ

本年度ノ生徒志願者總數ハ千九百二十人ニシテ體格檢査ニ合格シタル者千百六十三人トス此中學術試驗ニ及第シタル者特別學科ニ於テ三百八人普通學科ニ於テ百一人通計四百九人ナリ乃チ成績順序ニ因リ特別學科ヨリ百四十人普通學科ヨリ四十人合計百八十人ヲ採用セラレ三十五年十二月入校シ是ヲ第三十三期生徒トス

本校教官ノ本年度末現員ハ武官三十人文官十六人雇外國人三人トス其分擔學科左ノ如シ

區別	砲術	水雷術	運用術	航海術	機關術	普通學	計
內國人	六	× 一四	七	八	× 一四	× 一三	× 四三
外國人	—	—	—	—	—	三	三

（備考）表中×ハ兼務ヲ示ス

上來概叙シタル所ニ就キ生徒ノ出入ヲ總括表示スレハ左ノ如シ

兵學校生徒

期別	學年	三十五年度間 卒業	入校	退校	死亡	次期編入	本年度末現員	卒業豫期
第三十期		一八七	—	一	—	—	—	
第三十一期	第三學年	—	—	三	—	一	一九〇	三十六年十二月
第三十二期	第二學年	—	—	一	—	五	二一〇	三十七年十二月
第三十三期	第一學年	—	一八〇	一	一	—	一八三	三十八年十二月
總計		一八七	一八〇	六	一	六	五八三	
三十四年度		一二六	二〇〇	八	一	二四	五九七	
三十三年度		一〇四	二〇〇	一九	—	一二	五三二	
三十二年度		一一三	二一〇	一〇	一	—	四五五	
三十一年度		五九	一三七	四	—	—	三六九	

又運用術航海術ヲ實地ニ研究シ兼テ艦務ノ一斑ヲ習得セシメンカ爲メ第三學年生徒ヲ鎭邊鎭北ニ第二學年生徒ヲ明石ニ分乘シ夏期休暇ヲ利用シテ各十日以內ノ日數ヲ以テ前後二回ニ內海ヲ航海シ旁ラ大阪築港神戶川崎造船所粟鳥航海學校等ヲ見學シ又後期試驗後ニ於テハ第一學年生徒ヲ鎭邊鎭北ニ分乘シ一週間以內ノ日數ヲ以テ內海ヲ航海シ主トシテ海上生活ノ狀況ヲ目擊セシメ何レモ顯著ナル効果アリタリ

機關學校

明治三十五年度ニ於ケル生徒教育狀況ノ梗概ヲ叙述スルコト左ノ如シ

第十期生徒ノ卒業試驗ハ三十五年四月ヲ以テ施行シ各其學科目中英文及實科ノ修得上ニ於ケル成績ハ著シク進步ヲ致セリ但七人ノ落第者ヲ出シタルモ其內一人ヲ除キ六人ハ本校規則ニ依リ再試驗ヲ行ヒ及第シタルヲ以テ其月二十六日總員三十六人ノ卒業證書授與式アリ威仁親王殿下臨場アラセラレ其卒業生中三人ハ學術優等ナルヲ以テ賞品ヲ下賜セラレタリ而シテ總員直ニ海軍少機關士候補生ヲ命セラレ軍艦高千穗ニ乘組タリ他

ノ一人ハ延期修學ヲ爲シ後チ七月ヲ以テ試驗ヲ經テ及第卒業セリ

第十二期生徒六十七人ノ大試驗ハ三十五年十一月二十八日開始シ十二月十日結了シ全員皆及第シ內一人ハ品行善良章ヲ授與セラレタリ其成績ハ概シテ良好ニシテ總點數百分ノ九十以上ノモノナキモ其七十以上ヲ得タルモノ四十八人ニ達シ又其六十以下ノモノハ僅ニ一人ニ過キス之レ學力ノ平均ヲ得タルモノナリ

第十三期生徒六十八人（他ノ一人ハ疾病ノ爲メ十月生徒ヲ免ス）ノ大試驗モ前期ト同月日間ニ於テシ二人ノ落第者ヲ除ク六十六人及第シ內三人ハ學術優等章ヲ一人ハ學術品行ノ兩章ヲ併受セリ其成績ハ概シテ良好ニシテ總點數百分ノ九十以上ヲ得タル者四人又其六十以下ヲ得タルモノ僅ニ三人ニ過キス而シテ右ノ落第者中一人ハ次期ニ編入シ尙一學年修學スルコトヽナリ一人ハ卒業ノ目途ナキヲ以テ退校セシメタリ

三十五年十一月召募生徒志願者總員八百十六人ニシテ其內及第者五十六人中ニ就キ特別受驗ニ於テ三十四人普通受驗ニ於テ六人合計四十人ヲ採用シ十二月ヲ以入校シ之ヲ第十四期生徒トセリ

本校教官ノ三十五年十二月末日現員ハ武官專務十八人兼務六人文官專務七人兼務ノ一人ナリ

上來叙述シタル所ニ就キ生徒ノ出入ヲ表示スレハ左ノ如シ

機關學校生徒

期別	學年	三十五年度間 卒業	入校	退校	次期	死亡	本年度末現員	卒業豫期
第十期	三學年	三七						
第十一期	二學年							
第十二期	二學年							
第十三期	二學年							
第十四期	一學年							
總計								
三十四年度								
三十三年度								
三十二年度								
三十一年度								

軍醫學校

明治三十五年度ニ於ケル本校學生教育狀況ノ梗概ヲ述フルコト左ノ如シ

前年度ヨリ就學ノ各學生二十九人中大軍醫八人少軍醫候補生十九人ハ共ニ三十五年十二月ヲ以テ卒業シ中ニ就キ大軍醫幷候補生ノ各一人ハ其成績優等ヲ占メタリ還科學生二人モ亦同月ヲ以テ修業ヲ了シ退校セリ而シテ本年度ニ於テ就學シタルモノハ軍醫八人候補生十五人還科學生二人通計二十五人ニシテ本年度末修學中ニアリ

是ヨリ先キ大軍醫十人候補生十六人ハ既ニ前年度ニ於テ卒業シ三十五年七月八日大學校ニ　臨幸ノトキ卒業證書授與式ヲ擧行セラレ中二人ハ學術優等ニ付各賞品ヲ下賜セラレタリ

本年度中施行シタル教程科目ハ略ゝ前年ニ異ルコトナシ即チ軍醫學生ニ在テハ軍陣外科學、海軍衛生學、地理病學、病理解剖學、黴菌學、耳鼻咽喉科學、眼科學、齒科學、英語學、飲食物檢查法、臨床理化學的檢法、x光線術、寫眞術、艦船構造ノ要領內外科臨床講義、英獨書講讀等トス候補生學生ニ在テハ之ニ加ヘボリクリニツク、小外科、傷者運搬法、體操、端艇漕方等トス而シテ候補生ニ在テハ既ニ一般醫學ヲ習得シタル者ナルヲ以テ本校ニ於テハ海軍軍醫官トシテ必須ノ學術ヲ教授スルト同時ニ將來海軍高等武官タルノ氣品ノ養成ニ務メ軍紀風紀ノ如キハ極メテ嚴正ニ保持セシムル方針ヲ執レリ軍醫學生ニ於テハ該博ノ智識ト熟練ノ技能トヲ要スルハ素ヨリ論ヲ俟タサルヲ以テ專ラ日新ノ學說ト實地必要ノ技術トヲ修養スルコトニ務メタリ還科學生ニ在テハ本校教官指導ノ下ニ各其ノ學理ヲ修得セシメ東京慈惠醫院ニ就キ其ノ實驗ヲ習得セシメ成績頗ル見ルヘキモノアリ

本學期中學生ノ見學ノ爲メ出張シタルハ麻拉利亞病實地研究ノ爲メ千葉縣印旛郡阿食ヘ其ノ他橫須賀軍港幷仝港碇泊軍艦常磐、八雲、白雲、天城、及長濱消毒所等又巢鴨病院、巢鴨監獄署、血淸藥院、傳染病研究所、痘苗製造所、赤十字社病院、目黑麥酒會社、東京衛戍病院、陸軍々醫學校、東京帝國大學醫科大學東京造兵廠、淀橋淨水工場等トス

本校教官ノ三十五年十二月三十一日現員ハ武官專務五人兼務六人文官兼務二人囑託六人雇外國人一人ナリ

上來叙述シタル中ニ就キ學生ノ出入ヲ總括表示スレハ左ノ如シ

軍醫學校學生

區別		三十五年度間				本年度末日現員
		就學	卒業	退學		
學生	軍醫候補生	一五	八			一五
	軍醫	一九	八			八

區別	三十五年度間就學卒業退學			本年度末日現員
軍醫監 選科學生 軍醫	一	一	一	一
總計	二五	二七	二	二五
三十四年度	二九	二八	一	二九
三十三年度	三八	三八	一三	四二
三十二年度	四二	四二	一	四二
三十一年度	五四	二	二	四三

其ノ他實務練習ニ就キタルハ少藥劑士候補生ニシテ前年度ヨリ繼續シタル一人ハ練習半途ニシテ候補生ヲ免セラレ三十五年十一月練習ニ就キタル一人ハ尚ホ修學中ニアリ

主計官練習所

明治三十五年度ニ於ケル敎育狀況ノ梗概ヲ叙述スルコト左ノ如シ

學生ノ前年度ヨリ就學ノ主計官一人ハ三十五年十二月候補生五人ハ三十六年一月ヲ以テ各卒業シ而シテ本年度ニ於テ就學シタル主計官四人ハ三十六年二月卒業シ候補生五人ハ今尚練習中ニアリ

前年度ニ於テ卒業シタル學生ニシテ主計官三人候補生五人ハ共ニ三十五年七月海軍大學校ニ　臨幸ノトキ卒業證書授與式ヲ擧行セラレ中ニ就キ主計官一人ハ學術優等ナルヲ以テ賞品ヲ下賜セラレタリ

練習生ノ前年度ヨリ就學ノ四十七人中甲種十二人ハ三十五年六月乙種三十五人ハ七月ヲ以テ卒業シ而シテ本年度ニ於テ就學シタル七十九人ノ內乙種三十一人（他ノ一人事故退所）ハ三十六年二月卒業シ他ノ甲種十五人ト乙種三十二人ハ尚練習中ニアリ

本所敎官ノ三十五年十二月三十一日現員ハ武官專務三人兼務七人文官兼務一人囑託三人ナリ

以上叙述シタル所ニ就キ學生並練習生ノ出入ヲ表示スレハ左ノ如シ

主計官練習所學生並練習生

種別	前年度末練習中	三十五年度間就學			本年度末練習中
		卒業	退學		
學生 主計官候補生	一	四	一	四	一
練習生	四七	七九	五	七八	四七

總計	五三	八八	八八	一	五二	四三	三九	四九	四九
三十四年度	四三	五六	四一	五	五三	四五	四九	九	一
三十三年度	三九	四五	二五	一六	四三	三九	一	一	一
三十二年度	—	四九	九	一	三九	一	一	一	一

以上ノ各校所ニ於テ本年度間生徒ニ採用シ並候補生ノ任命シタルモノ即チ新ニ軍籍ニ入リタルモノヽ入籍當時ノ平均年齢ヲ調査スレハ左ノ如シ

校所	種別	人員	平均年齢
兵學校	生徒	一八〇	十九年
機關學校	生徒	四〇	十九年六月
軍醫學校	候補生	一五	二十二年五月
主計練習所	候補生	五	二十三年七月

砲術練習所

明治三十五年度ニ於ケル教育狀況ノ梗概ヲ叙述スルコト左ノ如シ

將校學生ニシテ本所附尉官教程ノ七人ハ三十五年三月ヲ以テ始業シ十一

月卒業シ横須賀鎭守府附尉官教程ノ十人ハ三十六年一月始業シ本年度末尙練習中ニアリ

下士卒練習生ノ前年度ヨリ就學ノ者三百六十九人ニシテ此中二人ヲ除キ三百六十七人卒業セリ而シテ本年度ニ於テ就學シタル七百六十六人ノ中落第疾病其他ノ者二十九人ヲ除キ四百三十五人卒業シ本年度末尙練習中ニアル者三百二人トス即チ其教程種類等ヲ區別スレハ次表ニ擧示スルカ如シ

砲術練習所學生成績

區別	前年度就學	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	本年度末練習中
本所附尉官教程	七	—	七	—
横須賀鎭守府附尉官教程	—	一〇	—	一〇
總計	七	一〇	七	一〇

砲術練習所練習生成績

種別	前年度就學	三十五年度就學 下士	三十五年度就學 卒	三十五年度就學 計	三十五年度卒業 下士	三十五年度卒業 卒	三十五年度卒業 計	落第疾病其他	本年度末練習中
第十一期教員復習教程	一四	—	—	—	一四	—	一四	—	—

種別	前年度就學	三十五年度就學 下士	三十五年度就學 卒	三十五年度就學 計	三十五年度卒業 下士	三十五年度卒業 卒	三十五年度卒業 計	落第疾病其他	本年度末練習中
第十二期教員復習教程	—	二七	—	二七	二三	—	二三	四	—
第十三期教員復習教程	—	二	—	二	—	—	—	—	二
第廿三期教員教程	六〇	—	—	—	五八	二	六〇	—	—
第廿四期教員教程	—	四九	四	五三	四八	四	五二	一	—
第十五期掌砲兵復習教程	七四	—	—	—	七四	—	七四	—	—
第十六期掌砲兵復習教程	—	四八	—	四八	四八	—	四八	—	—
第十七期掌砲兵復習教程	—	五〇	—	五〇	四八	—	四八	一	一
第十八期掌砲兵復習教程	—	六七	—	六七	—	—	—	—	六七
第四十五期掌砲兵教程	一	—	—	—	—	一	一	—	—
第四十六期掌砲兵教程	一〇四	—	—	—	八	九四	一〇二	二	—
第四十七期掌砲兵教程	一一六	—	—	—	一四	一〇二	一一六	—	—
第四十八期(甲種)掌砲兵教程	—	六	四九	五五	六	四七	五三	二	—
第四十八期(乙種)掌砲兵教程	—	四	八〇	八四	四	六八	七二	一二	—
第四十九期(甲種)掌砲兵教程	—	四	三七	四一	四	三六	四〇	一	—
第四十九期(乙種)掌砲兵教程	—	七	八二	八九	七	七八	八五	二	二
第五十期掌砲兵教程	—	一二	一〇二	一一四	—	—	—	四	一一〇
第五十一期掌砲兵教程	—	四	一〇五	一〇九	—	—	—	二	一〇七
本所教員砲術適任證書有効滿期繼續試驗者	—	一四	—	一四	一四	—	一四	—	—
射手教程	—	一三	—	一三	—	—	—	—	一三
總計	三六九	三〇七	四五九	七六六	三七〇	四三二	八〇二	三一	三〇二

三十四年度	三九〇	二六二	三三九	六〇一	二二五	三七五	六〇〇	二二	三六九
三十三年度	一四七	一四五	三九八	五四三	八一	二一三	二九四	六	三九〇
三十二年度	一七三	九九	二八一	三八〇	一三二	二五二	三八四	二二	一四七
三十一年度	二一七	一二〇	二六六	三八六	七九	三二一	四〇〇	三〇	一七三

其ノ卒業シタル下士卒八百二人ニ對スル教員適任證書並掌砲證狀ノ等級ヲ種別スレハ左ノ如シ

種別	教員適任證書 下士	教員適任證書 卒	一等掌砲證狀 下士	一等掌砲證狀 卒	二等掌砲證狀 下士	二等掌砲證狀 卒	計
第十一期教員復習教程	一四	—	—	—	—	—	一四
第十二期教員復習教程	二三	—	—	—	—	—	二三
第廿三期教員教程	五八	二	—	—	—	—	六〇
第廿四期教員教程	四八	四	—	—	—	—	五二
第十五期掌砲兵復習教程	—	—	七四	—	—	—	七四
第十六期掌砲兵復習教程	—	—	四四	—	四	—	四八
第十七期掌砲兵復習教程	—	—	四六	—	二	—	四八
第四十五期掌砲兵教程	—	—	—	一	—	—	一
第四十六期掌砲兵教程	—	—	八	九一	—	三	一〇二
第四十七期掌砲兵教程	—	—	一二	九三	二	九	一一六
第四十八期(甲種)掌砲兵教程	—	—	六	四五	—	二	五三
第四十八期(乙種)掌砲兵教程	—	—	三	六八	一	—	七二

其ノ他商船學校學生ノ第十六期二十四人ハ三十五年四月就學シ七月ヲ以テ二十三人卒業シ他ノ一人ハ疾病ノ爲メ學生ヲ免セラル第十七期二十四人ハ三十五年十一月就學シ三十六年三月ヲ以テ全員卒業セリ

水雷術練習所

明治三十五年度ニ於ケル教育狀況ノ梗概ヲ叙述スルコト左ノ如シ

海軍大學校派遣學生十五人中一人ハ三十五年六月二日始業シ二十四日終業シ他ノ十一人ハ夏季休暇ヲ利用シ七月或ハ八月ノ交ニ於テ各十日間又ハ三十日間ニシテ實習ヲ終リ他ノ三人ハ九月一日始業シ十一月十九日ヲ以テ修學ヲ終レリ常備艦隊各艦機關官十八人ハ本所ニ於テ講習會ヲ開キ無線電信術、電氣、魚形水雷、水雷發射ノ實驗等ニ關スル講話ヲ爲シ三十六年一月十二日始業シ本所附將校學生五人ハ前年度ヨリ就學シ本年十一月終業セリ橫須賀鎭守府附將校學生十二人ハ三十五年十二月始業シ本年度末尙練習中ニアリ第二十一期機關士學生十人ハ三十五年五月始業シ八月卒業シ內一人ハ落第シ一人ハ入院中卒業ヲ延期シ第二十二期ニ編入セリ第二十二期機關士學生十一人（內一人ハ廿一期ヨリ編入）ハ九月始業シ十二月ヲ以テ七人卒業セリ第二十三期機關士學生十二人ハ三十六年二月始業シ本年度末尙練習中ニアリ

第六期練習上等兵曹九人ハ前年度ヨリ就學シ本年四月一人ノ落第者ヲ除キ八人卒業シ第七期練習上等兵曹九人ハ本年六月始業シ十一月二人ヲ除キ七人卒業シ第八期練習上等兵曹九人ハ十二月始業シ本年度末尙練習中ニアリ

練習生ニシテ前年度ノ就學ニ係ル第二十六期長教程四十七人第十七期短教程一人第十期水雷工教程三十六人ハ共ニ三十五年四月第二十八期長教程四十人（他ノ三人ハ落第其他ニ因リ免除）臨時無線電信術實習生二十人ハ共ニ六月第十九期長教程十五人第二十九期長教程四十八人（他ノ一人免除）ハ共ニ七月第十一期水雷工教程十七人（他ノ一人免除）ハ三十六年二月ヲ以テ各卒業アリ

種別		教員適任證書				一等掌砲證狀			二等掌砲證狀			總計
		下士卒			下士卒			下士卒				
第四十九期（甲種）掌砲兵教程												
第四十九期（乙種）掌砲兵教程												
本所教員砲術適任證書有效滿期繼續試驗者												
總計		一五七	一四	六	二〇四	四〇九	九	一七	八〇二	一四	八五	四〇

練習生ニシテ本年度ノ就學ニ係ル者ノ内第七期教員短教程十一人ハ卅五年七月第三十期長教程六十六人第三十一期長教程十七人臨時無線電信術實習生第三回三十八人ハ共ニ三十五年十一月第十八期短教程二十五人ハ十二月第八期教員短教程九人第二十期教員長教程十四人第三十二期長教程八十八人第三十三期長教程三十七人臨時無線電信術實習生第四回二十人ハ共ニ三十六年二月及三月ヲ以テ各卒業シ第十六期第十七期第十八期教員適任證書繼續者五人ハ本所規則ニ依リ試驗ヲ行ヒ及第シタル者而シテ疾病落第者等ヲ除キ他ハ皆本年度末尚ホ練習中ニアリ

以上ノ卒業者中三百三十八人ハ三十五年七月及十二月ヲ以テ各卒業證書證狀授與式ヲ行ヒ中ニ就キ學術優等ナルヲ以テ賞品ヲ下賜セラレタル者第二十一期第二十二期機關士教程ニ各一人アリ

上來叙述シタル所ニ就キ之ヲ總括表示スレハ左ノ如シ

水雷術練習所學生練習生成績

種別	前年度就學	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	三十五年度間 疾病落第其他	本年度末練習中	終業豫期
大學校派遣學生	—	一五	一四	—	—	
常備艦隊各艦機關官	—	一〇	一〇	—	—	
本所附將校學生	五	—	五	—	—	—
横須賀鎮守府附將校學生	—	三	—	—	三	卅六年六月廿六日
第二十一期機關士學生	—	一〇	八	二	—	—
第二十二期機關士學生	—	一一	七	四	—	—
第二十三期機關士學生	—	三	—	—	三	卅六年四月廿八日
第六期練習上等兵曹	九	—	八	一	—	—
第七期練習上等兵曹	—	九	七	二	—	—
第八期練習上等兵曹	—	九	—	—	九	卅六年五月十五日
第十九期教員長教程	一五	—	一五	—	—	—
第二十期教員長教程	—	一五	一四	一	—	—
第二十一期教員長教程	—	二〇	—	一	一九	卅六年七月九日
第七期教員短教程	—	一一	一一	—	—	—
第八期教員短教程	—	九	九	—	—	—
第二十六期練習生長教程	四七	—	四七	—	—	—
第二十八期練習生長教程	四三	—	四〇	三	—	—
第二十九期練習生長教程	四九	—	四八	一	—	—
第三十期練習生長教程	—	七三	六六	七	—	—
第三十一期練習生長教程	—	一八	一七	一	—	—
第三十二期練習生長教程	—	九三	八八	五	—	—
第三十三期練習生長教程	—	三七	三七	—	—	—
第三十四期練習生長教程	—	三二	—	二	三〇	卅六年五月五日

種別	前年度就學	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	三十五年度間 疾病落第其他	三十五年度間 本年度末練習中	修業豫期
第三十五期練習生長教程		八八	六二		二	卅六年六月十二日
第三十六期練習生長教程	一	一	一			卅六年九月二日
第十七期練習生短教程		二				
第十八期練習生短教程		二五	二七			卅六年五月八日
第十九期練習生短教程		一				
第十期水雷工教程		三六	一七			
第十一期水雷工教程	一八					
第十二期水雷工教程		二二	二四			六年五月十六日
第十三期水雷工教程		二〇	一九			七年二月三日
臨時無線電信術實習生（第二回）	二〇					
臨時無線電信術實習生（第三回）		一八	二〇			
臨時無線電信術實習生（第四回）		二〇	二〇			
第十六期教員繼續教育適任證書		一	一			
第十七期教員繼續教育適任證書		二	二			
第十八期教員繼續教育適任證書		二	二			
總計	二四三	六八四	五九四	三七	三〇一	

（備考）第十六期第十七期第十八期教員適任證書繼續者ハ水雷術教員適任證書有効満期ノ際本所教員ノ職ヲ奉シ尚教員適任ナルヲ以テ本所規則第十一條ニ據リ試驗ヲ行ヒタル者ナリ

其卒業シタル下士卒ノ得タル掌水雷證狀並水雷術教員適任證書ノ等級ヲ區別スレハ左ノ如シ

種別	教員適任證書及一等證狀	證狀等級 一等	證狀等級 二等	計
第十九期教員長教程	一五			一五
第二十期教員長教程	一四			一四
第七期教員短教程	一〇			一〇
第八期教員短教程	九			九
第二十六期練習生長教程				
第二十八期練習生長教程				
第二十九期練習生長教程				
第三十期練習生長教程				
第三十一期練習生長教程				
第三十二期練習生長教程				
第三十三期練習生長教程				
第十七期練習生短教程				
第十八期練習生短教程				
第十期水雷工教程				

種別	教員適任證書及一等證狀	證狀等級 一等	證狀等級 二等	計
第十一期水雷工教程				
第十六期教員繼續適任證書者	一	一	一	三
第十七期教員繼續適任證書者	二	二	二	六
第十八期教員繼續適任證書者	二	二	二	六
總計	五三	三六六	五七	四七六

（備考）本表ノ外無線電信術實習生ニハ無線電信修得證狀ヲ授與セリ

機關術練習所

明治三十五年度ニ於ケル教育狀況ノ梗概ヲ叙述スルコト左ノ如シ

前年度ヨリ就學ノ第十一期機關工四十九人ハ三十五年四月ヲ以テ卒業シ第十二期機關工六十七人中六十二人ハ七月及十一月ヲ以テ卒業シ他ノ五人ハ疾病其他ニ因リ之ヲ免ス第十三期機關工百二十三人中百十五人ハ十月及三十六年一月ヲ以テ卒業シ他ノ八人ハ疾病其他ニ因リ之ヲ免ス第四期船匠工十人第四期兵器工九人ハ共ニ四月ヲ以テ卒業シ第五期船匠工十二人中九人他ノ三人ハ疾病其他ニ因リ之ヲ免ス第五期兵器工十人中八人他ノ二人ハ疾病其他ニ因リ之ヲ免ス第二期機關術工二十六人中一人ハ三十六年一月ヲ以テ卒業シ第二期機關

術十八人ハ三十五年四月ヲ以テ卒業セリ而シテ本年度ノ就學ニ係ル第十四期機關工ノ中一人ハ三十六年三月卒業シ第六期船匠工ノ中一人ハ三十五年十一月ヲ以テ卒業シ其他疾病落第其他ニ因リ練習生ヲ免シタルモノ十三人ヲ除キ集計二百八十五人ハ本年度末尚練習中ニ在リ即チ其種類幷ニ出入ヲ表示スレハ左ノ如シ

機關術練習所練習生成績

種別	前年度末練習中	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	三十五年度間 疾病落第其他	本年度末練習中
第十一期機關工	四九	一	四九	一	一七
第十二期機關工	六七	一	六二	五	一〇
第十三期機關工	一二三	一	一一五	八	一二
第四期船匠工	一〇	一	九	二	一
第四期兵器工	九	一	一〇	一	一
第五期船匠工	二	一	二	一	一
第五期兵器工	一〇	一	八	三	一
第二期機關術	一	一	一	一	一
第十四期機關工	一八	一	一五	二	一七

種別	前年度末練習中	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	三十五年度間 疾病落第其他	本年度末練習中
第十五期機關工	—	四二	—	二	四〇
第六期船匠工	—	一三	—	一	一二
第六期兵器工	—	七	—	一	六
第十六期機關工	—	七五	—	六	六九
第三期機關術	—	一〇	—	—	一〇
第十七期機關工	—	一一五	—	三	一一二
第七期船匠工	—	一二	—	—	一二
第七期兵器工	—	八	—	—	八
總計	二九〇	三〇〇	二七四	三一	二八五
三十四年度	一二〇	三〇四	一二四	一〇	二九〇
三十三年度	一九六	二一九	二八四	一一	一二〇
三十二年度	二〇〇	一四九	一四三	一〇	一九六
三十一年度	一四八	二三三	一七三	八	二〇〇

其卒業シタル下士卒ノ得タル證狀ヲ種別スレハ左ノ如シ

種別	一等證狀	二等證狀	計	內譯 橫須賀	內譯 吳	內譯 佐世保	內譯 舞鶴
機關工	二〇一	二六	二二七	六七	五三	七〇	三七
船匠工	一八	二	二〇	七	七	五	一
兵器工	一三	四	一七	四	二	六	五
總計	二三二	三二	二六四	七八	六二	八一	四三

(備考) 本表ノ第二期機關術卒業ノ十八人ハ教員適任證書ヲ授與セシ者ナリ

以上各練習所ニ於テ卒業シタル特科兵ノ本年度末現在員ヲ表示スレハ左ノ如シ

卒業特科兵人員

明治三十六年三月三十一日調

(×ハ徵兵)

種別	下士 橫須賀	下士 吳	下士 佐世保	下士 舞鶴	下士 計	卒 橫須賀	卒 吳	卒 佐世保	卒 舞鶴	卒 計
砲術教員適任證書	八二	八〇	八八	三五	二八五	—	一	一	二	四
一等掌砲證狀	二六二	二三七	二一七	一三七	八五三	二〇四 ×[illegible]	一三九 ×三	二七七 ×五	八七	七〇七 ×一三
二等掌砲證狀	四八	二七	四七	二〇	一四二	三九	二七	三七	二〇	一二三
水雷術教員適任證書	四三	三一	四〇	一三	一二七	—	二	—	一	三
一等掌水雷狀	一一三	一〇九	一五五	七六	四五三	一〇四 ×三	一〇一 ×二	一四五 ×二	七七	四二七 ×七
二等掌水雷狀	五一	四五	五五	二六	一七七	四〇	三四	四九 ×一	一七	一四〇 ×一
信號一等適任證書	八四	七五	八八	四五	二九二	一七二	一三〇 ×一	一七〇	八四	五五六 ×一
信號二等適任證書	五	—	七	三	一五	二二	三五	二七	八	九二

種別	下士 横須賀	下士 呉	下士 佐世保	下士 舞鶴	下士 計	卒（×ハ徴兵） 横須賀	卒 呉	卒 佐世保	卒 舞鶴	卒 計
機關術教員適任證書	六	三	六	三	一八	—	—	—	—	—
一等機關工證狀	一五一	一三九	一三三	六八	四九一	三三	三三	×五九一	×二九一	×一五四二
二等機關工證狀	二三	一一	二五	八	六七	三	三	一四	三	二三
軍樂教員適任證書	一二	—	—	—	一二	—	—	—	—	—
軍樂高等科卒業證書	四四	—	—	—	四四	七	—	—	—	七
一等船匠工證狀	一二	一三	七	六	三八	三	三	五	—	一一
二等船匠工證狀	一	二	三	一	七	—	—	一	—	一
一等兵器工證狀	一一	七	五	二	二五	二	一	三	四	一〇
二等兵器工證狀	二	二	三	一	八	一	—	—	—	一
一等水雷工證狀	三七	四五	四二	二〇	一四四	三	七	九	三	二二
二等水雷工證狀	一二	一〇	一〇	五	三七	—	—	四	三	七
一等裝創證狀	一四	九	一九	八	五〇	一	—	—	—	一
二等裝創證狀	一	二	一	—	四	—	—	—	—	—
一等掌記證狀	六	七	九	四	二六	—	—	—	—	—
二等掌記證狀	六	五	三	四	一八	—	—	—	—	—
總計	一、〇二六	八五九	九六三	四八五	三、三三三	×六三四八	×五一六六	×八〇一九	×三三八一	×二、二八九二四

造船工練習所

明治三十五年度ニ於ケル教育狀況ノ梗概ヲ叙述スルコト左ノ如シ

練習職工ノ前年度ヨリ練習中ニアルモノ六十一人ニシテ本年度ニ於テ卒業十七人就學二十二人退學二人トス而シテ本年度末即チ三十六年三月三十一日尚ホ練習中ニアル者六十四人トス其別左表ノ如シ

造船工練習所練習職工

所轄	科別	前年度末練習中	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	三十五年度間 退學	本年度末練習中
横須賀造船廠	造船科	一二	七	二	一	一六
	造機科	二〇	七	六	—	二一
呉造船廠	造船科	九	一	七	—	三
	造機科	一二	二	一	一	一二
佐世保造船廠	造船科	四	—	—	—	四
	造機科	四	二	一	—	五
舞鶴造船廠	造船科	—	—	—	—	—
	造機科	—	三	—	—	三
總計		六一	二二	一七	二	六四
三十四年度		三五	二七	—	一	六一
三十三年度		四八	一五	二五	三	三五

所轄、科別	前年度末練習中	三十五年度間 就學	三十五年度間 卒業	三十五年度間 退學	本年度末練習中
三十二年度	三〇	一九	—	一	四八
三十一年度	—	三〇	—	—	三〇

以上各學校練習所ノ本年度經費ハ左表ノ如シ

明治三十五年度諸學校練習所經費現計

俸給及諸給（円）

區別	將官及總監俸給	上長官士官俸給	奏任俸給	候補生俸給	准士官俸給	下士俸給	判任俸給	卒俸給	航海加俸
大學校	二、七九四 三五〇	四一、九一六 八六〇	九、八一四 三七〇	—	—	—	二、三七九 二六〇	—	—
兵學校	三、三三五 四七〇	四二、四一四 二八〇	一四、三六二 二二六	一五二 〇〇〇	二、六六九 八六〇	九、二〇七 六五六	三、一四五 〇七八	四、四六三 三三八	一三四 三五〇
機關學校	三、三〇〇 〇〇〇	一四、〇〇七 六五〇	八、六八一 九一七	—	一四八 一六〇	三、三〇〇 七一〇	一、四七七 七四一	一、四五八 三二〇	—
軍醫學校	七一 八五〇	一九、八二三 一七〇	—	五、六〇二 四〇〇	—	—	八四〇 〇〇〇	—	—
砲術練習所	—	一七、六七七 一〇〇	—	—	四、八八八 五六〇	二五、八四四 三七〇	—	二七、三一四 七一二	一五一 二四〇
水雷術練習所	—	二〇、〇七〇 八〇〇	—	—	六、六四三 〇九〇	一九、九五三 六八六	—	二五、五〇七 九三六	一二八 七九〇
機關術練習所	—	一二、六五〇 一八〇	—	—	二、三六六 五四〇	一三、九八五 六九四	三、二一六 八二七	一七、三一三 八八〇	〇 四二〇
主計官練習所	—	七、九八五 三六〇	—	一、六五二 〇〇〇	—	三、四八六 三一〇	四七六 一六六	一、二八九 三九二	—
造船工練習所	—	一、九九一 四〇〇	一、三〇〇 五五一	—	—	—	四四六 一六八	—	—
通計	九、五〇一 六七〇	一七八、五三六 九〇〇	三四、一五九 〇六四	七、四〇六 四〇〇	一六、七一六 二一〇	七五、三七八 四二六	一一、九八一 二四〇	七七、三四七 五七八	四一四 七〇〇

俸給及諸給（續）・廳費（円）

區別	賞與	計	備品費	圖書及印刷費	筆紙墨文具	消耗品	通信運搬費	試驗及摸範費	學校需品費	外國郵便電信料	計
大學校	二、〇〇三 〇〇〇	五八、九〇六 七四二	一五一 二五〇	三四 六二〇	一二三 一六〇	八四八 九五〇	二六四 〇〇〇	—	五、六二五 七三三	—	七、〇四七 七一三
兵學校	三、二五二 〇〇〇	八三、一三六 二五八	五四二 〇〇〇	六六 八五五	三六四 五五二	八七六 六三七	一、五三一 二四四	—	四三、五五九 三九三	—	四六、九三〇 六八〇
機關學校	一、九七〇 〇〇〇	三四、三四四 四九八	七七〇 八一五	四八 九三〇	二六八 八七〇	七四二 三三五	一九六 四八〇	—	二二、二二六 三五〇	—	二四、二五三 六八〇
軍醫學校	五六七 〇〇〇	二六、九〇四 四二〇	三九九 八九三	一一 三一〇	八三 三九五	二四〇 一五三	九八 二五〇	二〇〇 〇〇〇	三、九七三 九六〇	—	五、〇〇五 九六〇
砲術練習所	—	七五、八七五 九八二	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水雷術練習所	—	七一、九〇四 二〇三	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機關術練習所	九二三 〇〇〇	五〇、四五六 五四一	一、四〇七 六四五	一九 四四〇	一六二 六二〇	八〇九 四八一	一一三 〇〇〇	—	二〇、三八三 四八七	—	二二、八九〇 六七三
主計官練習所	四一〇 〇〇〇	一五、二九九 三二八	八六 〇四〇	九 三六〇	二九 八五〇	九八 九四五	一八三 一〇〇	—	二、五三七 六四九	—	二、九四四 九四四
造船工練習所	四〇二 〇〇〇	四、一四〇 一一七	一九 四五四	二 〇八〇	一五 七八六	三七四 八六三	三 〇〇〇	—	—	一、五九三 三二一	二、〇〇八 五〇四
通計	九、五二六 〇〇〇	四二〇、九六八 〇八八	三、三七三 〇九七	一九二 五九五	一、〇四八 二三三	三、九九一 二六三	二、三七九 〇七四	二〇〇 〇〇〇	九八、三〇四 五七一	一、五九三 三二一	一一〇、〇八二 一五四

旅費・雜給及雜費（円）

區別	內國旅費	外國旅費	計	給與	雇員給料	傭人費	雜費	計
大學校	七、九三六 一七〇	三八 四二五	七、九七四 五九五	四、六五九 二一二	三、一〇九 五三〇	一、九九九 六二〇	三五六 四一三	一〇、一二四 八七五
兵學校	一三、四四三 八五〇	—	一三、四四三 八五〇	二、二三九 七八六	四、五九五 六三三	八、九六五 八五五	六九八 一五八	一六、四九九 四三二
機關學校	六、四七七 八三〇	—	六、四七七 八三〇	三、四四三 〇八二	三、一五七 四三四	五、四〇六 五八五	三一九 一三六	一二、三二六 二三七
軍醫學校	二、六二九 六〇〇	—	二、六二九 六〇〇	一、八八四 〇〇〇	四九四 四九一	九六一 六六〇	七八 七六八	三、四一八 九一九
砲術練習所	九、三〇六 一〇〇	一三八 〇〇〇	九、四四四 一〇〇	—	—	—	—	—
水雷術練習所	八、八九七 四一〇	八九 〇〇〇	八、九八六 四一〇	—	—	—	—	—
機關術練習所	三、三九七 二六〇	一一四 〇〇〇	三、五一一 二六〇	三六三 六二七	二、二七四 一七一	一、四六七 九七〇	六九 〇三一	四、一七四 七九九
主計官練習所	二、〇一六 二五〇	一〇 〇〇〇	二、〇二六 二五〇	一、八八八 〇〇〇	六七三 二六四	九三五 三二〇	二七二 二四〇	三、七六八 八二四
造船工練習所	七一 四五〇	—	七一 四五〇	三七六 〇〇〇	四八六 三五〇	四六八 九〇〇	三九 一二〇	一、三七〇 八七〇
通計	五四、一七六 〇二〇	三八九 四二五	五四、五六五 四四五	一四、八五三 八〇七	一四、七九〇 八七三	二〇、二〇五 九一〇	一、八三三 八六六	五一、六八三 四五六

區別	諸手當			糧食費		被服費		患者費			演習費	艦營需品	艦營雜給		
	生徒學生手當	下士卒手當	埋葬料	計	購買食料費	計	購買武裝手當	修補料	計	療用品費	病室諸費	傳染病消毒諸費	計	需品保管及運搬費	雜費	計	俸給	計
大學校																		
兵學校																		
機關學校																		
軍醫學校																		
砲術練習所																		
水雷術練習所																		
機關術練習所																		
主計官練習所																		
造船工練習所																		
通計																		

外國留學

外國留學生ノ明治三十五年十二月三十一日現在員ハ前年ヨリ繼續シタル大軍醫ニシテ自費ヲ以テ獨逸國ニ一人アルノミ

海軍學生

海軍各學生ノ前年度ヨリ繼續シ修學ノ者五十六人本年度ニ於テ採用シタル者二十八人トス其卒業シタル者ノ內二人ハ中軍醫ニ六人ハ造船中技士ニ三人ハ造兵中技士ニ二人ハ中主計ニ二人ハ少主計ニ各任用セラレタリ又他ノ一人ハ學生ヲ免シタリ而シテ本年度末即三十六年三月三十一日現在修學中ノ者六十七人トス其人員並費用別ハ左表ニ擧示ス

ルカ如シ

海軍學生人員並費用

區別	三十六年三月三十一日現員	三十五年度間採用	任官	免除	被服費	手當金	計	一人一箇年費用	總人員費用合計
帝國大學 軍醫學生	一四	五	一		三六	一四六	一八二	二五四八	一八二
帝國大學 藥劑學生	一一	一	一		三六	一四六	一八二	二一八二	一八二
帝國大學 造船學生	一三	一	一		三六	一四六	一八二	二一八四	二一八四
帝國大學 造兵學生	二	一	一		三六	一四六	一八二	二三六四	三六四
帝國大學 主計學生	二	一	一		三六	一四六	一八二	二一〇二	三六四
高等商業學校 主計學生	二七	一〇	二		三六	一四六	一八二	四九一四	一二一九四
總計	六七	二八	五	一	一四六	五八四	七三〇	一〇一九二	一二一九四
三十四年度	五六	一八	二六	三	一四六	五八四	七三〇	一〇三七四	四九一四
三十三年度	五七	二四	一四	二	一四六	五八四	七三〇	八九一八	三六四
三十二年度	四九	三二	六	二	一四六	五八四	七三〇	八九一八	二〇〇二

海軍造兵生徒

造兵生徒ノ前年度ヨリ繼續修學ノ者二十人此中技手ニ任用セラレタル者七人本年度ニ於テ採用シタル者亦七人ニシテ尚修學中ニアル者二十人トス其人員並費用別ハ左ニ表示スルカ如シ

海軍造兵生徒人員並費用

名稱	三十六年三月三十一日現員	三十五年度間採用	任官	免除	被服費	手當金	計	一人一箇年費用	總人員費用合計
造兵生徒	二〇	七			三〇	一二〇	一五〇		三、〇〇〇
三十四年度	二〇	七			三〇	一二〇	一五〇		三、〇〇〇
三十三年度	二〇	七			三〇	一二〇	一五〇		三、〇〇〇
三十二年度	一〇	七			三〇	一二〇	一五〇		一、五〇〇

附記

商船學校

本校教育ノ事ハ前年度ニ異ル所ナシ茲ニ明治三十五年度間學生ノ出入ヲ叙述スルニ前年度末現員ハ航海科二百七十九人機關科百六十一人ニシテ其ノ航海科ニ於テ入校五十七人卒業十一人退校三人死亡二人機關科ニ於テ入校三十九人卒業三十四人退校五人トス即チ三十六年三月三十一日ノ現在員ハ四百八十一人ナリ其別左ノ如シ

航海科　三百二十人

機關科　百六十一人

其ノ學生ノ實地練習ハ前年度ヨリ繼續シ横須賀海軍造船廠工場ニ於テ修業シタル十六人ノ中修業證書ヲ得テ退場シタル者七人實修ノ爲メ來學シタル者五人ニシテ本年度末尚修學中ニアル者十四人トス呉海軍造船廠工場ニ於テ修業シタル十八人ノ中修業證書ヲ得テ退場シタル者十六人實修ノ爲メ來學シタル者三人ニシテ本年度末尚修學中ニアル者五人トス佐世保海軍造船廠工場ニ於テ修業シタル十三人ノ中修業證書ヲ得テ退場シタル者三人ニシテ本年度末尚修學中ニアル者十人トス又海軍砲術練習所ニ於テ修學シタル者ハ前章同練習所ノ末文ニ於テ叙述シタルヲ以テ茲ニ贅セス

海兵團

明治三十五年度間横須賀呉佐世保舞鶴四海兵團ニ於ケル練習兵ノ狀況ヲ概叙スルニ前年度ヨリ就學ノ者二千七百三十人之ニ本年度就學ノ者四千四百十二人ヲ併セ總計七千百四十二人ヲ以テ本年度練習ノ總員トス中ニ

就キ卒業シタル者四千九百十人落第其他ニ因ル者三十五人ニシテ本年度末尚練習中ニ在ル者二千百九十七人トス即其ノ兵種ノ成績ハ左表ノ如シ

海兵團練習兵成績　明治三十五年度

所管	兵種	前年度就學	本年度就學	計	本年度間 卒業	本年度間 落第其他	三十六年三月末日就教中
横須賀海兵團	五等水兵	五一七	九二〇	一、四三七	九七四	—	四六三
	五等機關兵	二三二	四九三	七二五	四七〇	三	二五二
	五等木工	四〇	—	四〇	三八	—	二
	五等鍛冶	二一	九	三〇	二一	—	九
	五等看護	—	一二	一二	一二	—	—
	五等主厨	五二	三三	八五	六九	—	一六
	信號練習生	六三	二六	八九	六三	二	二四
	軍樂普通科練習生	三一	—	三一	三一	—	—
	軍樂特科練習生	—	六	六	六	—	—
	軍樂高等科練習生	—	一八	一八	一七	—	一
	計	九五六	一、五一七	二、四七三	一、七〇一	五	七六七
呉	五等水兵	六三七	六七三	一、三一〇	九七四	九	三二七

所管	兵種	前年度就學	本年度就學	計	本年度間 卒業	本年度間 落第其他	三十六年三月末日就教中
海兵團	五等機關兵	一七〇	三〇三	四七三	三一九	三	一五一
	五等木工	二七	—	二七	二五	二	—
	五等鍛冶	二五	一一	三六	二八	二	六
	五等看護	—	一〇	一〇	一〇	—	—
	五等主厨	二六	二二	四八	三七	—	一一
	信號練習生	四二	二六	六八	四二	—	二六
	計	九二七	一、〇四五	一、九七二	一、四三五	一六	五二一
佐世保海兵團	五等水兵	四八〇	五九八	一、〇七八	七七九	四	二九五
	五等機關兵	二四九	三六四	六一三	四二八	三	一八二
	五等木工	二五	—	二五	二五	—	—
	五等鍛冶	一六	五	二一	一六	—	五
	五等看護	—	一〇	一〇	一〇	—	—
	五等主厨	三四	二〇	五四	四四	—	一〇
	信號練習生	四三	一五	五八	四二	一	一五
	計	八四七	一、〇一二	一、八五九	一、三四四	八	五〇七
舞鶴海兵團	五等水兵	—	五一〇	五一〇	二六三	一	二四六
	五等機關兵	—	二九六	二九六	一四七	四	一四五
	五等鍛冶	—	五	五	二	—	三

兵團	五等看護	—	九	九	九	—	—
	五等主厨	—	一八	一八	九	一	八
	計	—	八三八	八三八	四三〇	六	四〇二
總計		二七三〇	四、四一二	七、一四二	四、九一〇	三五	二、一九七

前表中ニ就キ各種卒業兵ノ累年對照ヲ表示スレハ左ノ如シ

卒業者累年統計

兵種＼年度	卅五年	卅四年	卅三年	卅二年	卅一年	三十年	廿九年	廿八年
五等水兵	二、九九〇	二、七〇四	二、七八八	二、〇九六	二、三八五	二、一五五	一、七〇八	一、二〇四
五等機關兵	一、三六四	一、四三二	一、六〇五	一、〇四二	九八一	一、〇五四	六六三	五五一
五等木工	八八	七三	四一	七六	八二	八五	六一	三五
木工練習生	—	—	—	—	一七	—	一二	六
五等鍛冶	六七	三八	三五	七二	七七	八二	三二	三六
鍛冶練習生	—	—	—	—	一五	—	一一	一〇
五等看護	四一	一二七	一〇四	九六	五四	一〇三	三〇	二四
五等主厨	一五九	一四七	一二六	一八〇	一二七	一七二	五六	一〇二
軍樂高等科練習生	一七	三六	—	—	—	—	—	—

兵種＼年度	卅五年	卅四年	卅三年	卅二年	卅一年	三十年	廿九年	廿八年
軍樂普通科練習生	三二	四二						
軍樂特科練習生	六	一二						
五等軍樂生	—	四二	—	—	—	—	—	—
五等信號兵	—	—	—	—	—	—	—	—
信號練習生	一四七	六二	三九三	五一	六四	四〇	四〇	五〇
筆記	—	二八	—	—	—	一〇	一〇	三〇
總計	四、九一〇	四、七四三	五、〇九二	三、六五三	三、八五二	三、七〇六	二、七三八	二、〇四八

第十五　患者

明治三十五年ノ海軍患者實數ハ通計二萬五千五百五十九人トス之ヲ前年ノ二萬四千八百七十人ニ對照スレハ六百八十九人ヲ增加シ新患者ニ於テモ亦七百五十二人ヲ增セリ又兵員每千一日患者比例ハ艦船四六、三五橫須賀鎭守府六〇、二七吳鎭守府七五、六一佐世保鎭守府七四、七〇舞鶴鎭守府七一、六五兵學校三八、〇七機關學校四八、七〇主計官練習所六、二九ニシテ此平均五五、八六トス之ヲ前年ニ比較スレハ四、六八ヲ減少セリ而シテ上記各所ニ於テ減少シタルハ艦船吳鎭守府佐世保鎭守府兵學校機關學校等ノ各廳ニシテ他ハ皆增加シタリ其患者詳細ノ情況ニ至テハ別ニ海軍省醫務局第十七次報告アルヲ以テ茲ニ贅セス乃チ前年ニ繼キ左ニ新惠者累年ノ對照ヲ示サン

年次	兵員一日平均新患	前年ニ比シ	兵員每千一日患者比例	死亡	兵員千ニ付死亡比例
三十五年	二四、三〇五	增 七五二	五五、八六	一五四	五、〇六
三十四年	二三、五五三	增 一、八五六	六〇、五四	一三六	五、一四
三十三年	二一、六九七	增 二、三六二	六三、〇五	一〇七	四、五九
三十二年	一九、三三五	增 三七	六八、〇〇	一一八	六、〇四
三十一年	一九、二九八	增 七、五九二	六五、五〇	一二九	七、〇〇
三十年	二一、七〇六	增 六、五〇〇	五五、八四	一〇三	六、八八
二十九年	五、二〇六	增 六三一	四一、二六	一三九	一〇、六六
二十八年	四、五五五	增 二一	四〇、九〇	一九三	一四、八四
二十七年	一、二四七	增 一、二四七	一五、〇〇	一六五	一五、〇〇
二十六年	三、三〇八	減 四〇〇	三九、二五	一六六	五六
總計	一七九、五〇七	增 二〇、五九八	五三、〇七	一、三〇〇	八一、三二

年次	平均	兵員一日平均	新患	前年ニ比シ	兵員毎千一日患者比例	死亡	兵員千ニ付死亡比例
		一七、九三一	一三、七五四	增 二、〇六〇	五三・〇七	一三〇	八、一二

（備考）死亡中二十七年ハ戰死者百九人二十八年ハ戰死者二十四人溺死者二十七人二十九年ハ軍艦廣丙ノ溺死者三十六人三十一年ハ宮川丸ノ溺死者十一人三十三年ハ戰死者十二人ニ于包含ス又死亡中ニハ新舊患者ノ別ナク總テ掲載セリ

是ヨリ横須賀呉佐世保舞鶴ノ四軍港ニアル病院幷病院職員ヲ掲ケ次ニ各患者ニ係ル所轄別、病類別、兵種別、病類兵種別、月別、傳染病兵種別傳染病月別等ノ諸表ヲ列擧シ以テ各種ノ狀況ヲ示サン

病院　明治三十五年十二月三十一日現數

病院名	棟數	坪數 二階	坪數 平家	坪數 計	病室	病室容積立方尺	收容患者
横須賀海軍病院	七	一六三〇〇〇	九一六〇〇〇	一、〇七九〇〇〇	三〇	二三三、二五一 尺 五九〇	一九五
呉海軍病院	五	四四九〇六二	五六八二九〇	一、〇一七三五二	二三	二九〇、七六八七七八	一七一
佐世保海軍病院	六	一五〇七五〇	五四二三九四	六九三一四四	二九	二四四、〇二六四九一	一九七
舞鶴海軍病院	三	七三九一二	一二七三七一	二〇一二八三	二〇	六六、二七八三二〇	三四
總計	二一	八三六七二四	二、一五四〇五五	二、九九〇七七九	一〇二	八三四、三二五一七九	五九七

病院官員及傭　明治三十五年十二月三十一日現員

官職	横須賀海軍病院	呉海軍病院	佐世保海軍病院	舞鶴海軍病院	通計
高等官 軍醫總監	×	一	×	一	× 三
軍醫大監	一	一	一	一	一 四
軍醫中監	×	一	×	一	× 三
藥劑監	—	—	—	—	一 三
軍醫少監	一	×	一	×	一 四
大軍醫	四	二	×	一	× 八
大藥劑士	二	二	一	二	一 六
中軍醫	一	—	×	一	× 二
中藥劑士	一	一	一	—	二 二
少軍醫	—	×	一	×	三 三
少藥劑士	一	—	一	一	三 二
看護長	一	—	—	—	三 一
候補生 少軍醫候補生	五	六	四	四	一九
判任 看護師	一	二	二	二	七
書記	一	一	一	一	四
看護手	六	一〇	一三	九	三八

官職	官 筆記	官 厨宰	卒 看護	事務傭	技術傭	其他諸傭	總計
横須賀海軍病院	二	二	六一	一	二	三二	× 二 一二六
呉海軍病院	二	二	四〇	一	二	二五	× 四 九九
佐世保海軍病院	二	二	四三	二	二	二六	× 五 一〇六
舞鶴海軍病院	二	二	五〇	二	六	一五	× 五 一〇〇
通計	八	八	一九四	六	一二	九八	× 一六 四三一

（備考）表中×ハ兼職ヲ示ス○練習員ハ表中之ヲ除ケリ

患者所轄別

明治三十五年分

所轄別	平均一日兵員	舊患 院外	舊患 院內	新患 院外	新患 院內	合計 院外	合計 院內	平均一日患者 院外	平均一日患者 院內	兵員千ニ付一日患者比例	治癒	事故 止療	死亡	免除	帶患轉轄	殘留 院外	殘留 院內
朝日	八一八	一〇	(一)五	五九四	一二二	六〇四	一二七	三四・三四	四・二八	四七・二一	五七七	二四	三	—	一〇五	九	一三
三笠	五七四	二	—	三七二	四〇	三七四	四〇	一七・三九	〇・九二	三一・九〇	三三二	二〇	—	—	三六	二四	二
初瀬	八二〇	一四	(三)一三	五四二	七一	五五六	八四	三一・三六	八・〇二	四八・〇二	五四五	四三	二	—	二八	一〇	一二
敷島	七五〇	六	一三	五八八	一二七	五九四	一四〇	二四・五四	一三・四七	五〇・六八	六四五	一六	一	—	五九	四	九
富士	七二四	二二	(一)八	四六三	八二	四八五	九〇	二六・五〇	八・三〇	四八・〇七	四八二	二五	二	—	五五	八	三

所轄別	平均一日兵員	舊患 院外	舊患 院內	新患 院外	新患 院內	合計 院外	合計 院內	平均一日患者 院外	平均一日患者 院內	兵員千ニ付一日患者比例	治癒	事故 止療	死亡	免除	帶患轉轄	殘留 院外	殘留 院內
八島	七〇七	四	一〇	八六四	五〇	八六八	六〇	二六・一九	五・九三	四五・四三	八四一	二四	—	—	四五	一一	七
鎮遠	二一八	一	一	一二五	二二	一二六	二三	七・六三	二・五七	四六・七九	一一三	一五	一	—	一六	三	一
扶桑	二三三	六	—	一〇九	一七	一一五	一七	八・四一	〇・七三	三九・二三	一〇七	八	—	—	一〇	四	三
出雲	六三五	一四	七	二七二	九〇	二八六	九七	一六・七五	六・二一	三六・一六	二九六	一四	三	—	六一	四	五
磐手	六二一	二〇	三	三七六	七八	三九六	八一	二二・三二	五・九七	四五・五六	四〇八	一四	一	—	三三	九	一二
常磐	六〇三	五	七	三八八	八〇	三九三	八七	二四・五一	三・二三	四六・〇〇	四二二	二五	一	—	二四	八	—
淺間	六二二	七	(一)九	三九六	七六	四〇三	八五	一九・五五	五・九八	四一・〇五	四〇五	一五	一	—	三八	二五	四
八雲	六四二	五	(一)二	六七九	八一	六八四	八三	三二・四五	四・四三	五七・四五	六六五	二六	—	—	五五	二〇	一
吾妻	六一〇	九	二	四二九	九二	四三八	九四	二二・九二	三・九二	四四・〇〇	四三一	二〇	三	—	六一	一四	三
笠置	四〇八	七	(一)三	二七二	三八	二七九	四一	一二・九三	二・六二	三八・一一	二六六	一〇	一	—	二九	一二	二
千歳	四〇八	八	(三)五	五七五	四〇	五八三	四五	二四・〇四	一・四二	六二・四〇	五五四	二〇	一	—	三九	一二	二
高砂	三八〇	五	(二)七	二一八	四八	二二三	五五	一三・三六	一・九七	四〇・三四	二二八	七	一	—	二七	一五	—
吉野	二三三	一〇	一	一四二	二〇	一五二	二一	七・二七	〇・五八	三五・三六	一四〇	七	一	—	一七	七	一
嚴島	一七〇	一	四	九八	一四	九九	一八	四・九五	一・二一	三六・八二	九一	一〇	—	—	九	七	—
松島	一九四	三	一	一三七	四六	一四〇	四七	六・五五	一・四〇	四〇・九八	一三九	九	—	—	三六	三	—
橋立	二〇三	二	—	九五	一二	九七	一二	四・四九	〇・五四	二四・七八	八七	四	—	—	八	一〇	—
浪速	二九四	一四	(三)二	三四四	三五	三五八	三七	一二・七五	〇・八七	四六・三三	三三八	八	二	—	三一	一六	—
高千穂	二七七	一	(一)二	一四三	九六	一四四	九八	九・一九	三・一一	四四・四〇	一四七	一四	四	—	六二	一四	一
秋津洲	一三三	一	二	一四七	一〇	一四八	一二	七・二六	一・二五	六三・九八	一四五	六	一	—	三	三	二
和泉	二三六	五	(二)二	一七五	二〇	一八〇	二二	九・九三	〇・一三	四二・六三	一六〇	七	二	—	一九	一四	—
明石	二八八	二	二	一四五	二七	一四七	二九	六・二六	〇・七三	二四・二七	一四三	六	一	—	二四	二	—
須磨	一九四	五	一	二五六	二一	二六一	二二	一二・三九	一・一九	七〇・〇〇	二四八	二一	二	—	一〇	一	一

所轄別	平均一日兵員	舊患 院外	舊患 院內	新患 院外	新患 院內	合計 院外	合計 院內	平均一日患者 院外	平均一日患者 院內	兵員每千一日患者比例	治癒	事故止療	死亡	免除	帶患轉轄	殘留 院外	殘留 院內
千代田	一二九	—	四	九五	二五	九五	二九	三・七一	一・六一	四一・二四	九五	一六	—	—	一三	—	—
濟遠	一七六	一六	(三)三	一四四	一七	一六〇	二〇	八・二六	一・二〇	五三・七五	一四七	一五	一	—	一〇	二	五
金剛	二五三	八	(一)二	九九	一三	一〇七	一五	五・七一	〇・〇九	二二・九二	一〇六	三	一	—	一一	—	一
比叡	二五二	一〇	—	一六五	一二	一七五	一二	一〇・一二	—	四〇・一六	一七〇	二	一	—	一二	二	—
筑波	二〇七	三	(三)二	一四〇	四五	一四三	四七	八・五六	一・九〇	五〇・五三	一二八	三〇	—	—	三二	—	—
高雄	一九七	—	一	一八二	六	一八二	七	一二・三二	〇・二三	六三・七一	一七三	七	—	—	一	八	—
天龍	一四七	一	—	一二八	一一	一二九	一一	五・六二	〇・一八	三九・四六	一二二	三	—	—	一〇	五	—
大和	一五三	—	—	一七七	一二	一七七	一二	一〇・五二	〇・七五	七三・六六	一六九	七	—	—	八	四	一
葛城	一八六	一	—	二六九	一〇	二七〇	一〇	一〇・三〇	〇・一八	五六・三四	二五一	一五	—	—	一〇	四	—
武藏	一二四	二	—	一九五	一二	一九七	一二	八・八〇	〇・五二	七五・一六	一七三	二九	—	—	五	一	一
海門	一八七	八	三	一二四	六	一三二	九	八・〇〇	〇・一二	四三・四二	一二〇	八	—	—	九	四	—
平遠	一四九	一	—	一四五	一五	一四六	一五	五・七九	〇・二二	四〇・三四	一四五	一	—	—	一三	二	—
筑紫	一四二	一	—	一四四	二〇	一四五	二〇	八・五五	〇・六三	六四・六五	一三四	七	一	—	一三	八	二
天城	八七	一	一	二五	八	二六	九	二・四〇	〇・八九	三七・八二	二三	四	—	—	七	一	—
磐城	四四	—	—	六四	一	六四	一	二・四六	〇・〇四	五六・八二	六三	二	—	—	—	—	—
操江	六五	二	—	六一	八	六三	八	三・三六	〇・三五	五七・〇八	六〇	二	一	—	八	—	—
大島	一一二	一	—	二一六	一六	二一七	一六	九・七四	〇・七二	九三・三九	二〇七	八	—	—	一一	七	—
赤城	一〇一	六	—	一〇六	一三	一一二	一三	三・九一	〇・七八	四六・四四	一一一	三	—	—	一一	—	—
摩耶	九四	—	二	六〇	一五	六〇	一七	三・二七	〇・二四	三七・三四	六一	—	—	—	一六	—	—
鳥海	五三	—	一	七六	六	七六	七	二・六六	〇・七〇	六三・四〇	七七	三	—	—	二	一	—

所轄別	平均一日兵員	舊患 院外	舊患 院內	新患 院外	新患 院內	合計 院外	合計 院內	平均一日患者 院外	平均一日患者 院內	兵員每千一日患者比例	治癒	事故止療	死亡	免除	帶患轉轄	殘留 院外	殘留 院內
愛宕	八一	—	—	四八	一一	四八	一一	二・八五	〇・三六	三九・六三	四四	—	五	—	四	五	一
鎭北	二九	—	—	二六	三	二六	三	一・八〇	—	六二・〇七	二一	三	—	—	三	二	—
鎭中	二九	一	—	一六	五	一七	五	一・九〇	〇・一六	七一・〇三	一八	一	—	—	三	—	—
鎭邊	二九	一	—	二八	二	二九	二	一・三二	〇・〇八	四八・二八	二五	四	—	—	二	—	—
鎭西	三九	—	—	五〇	一	五〇	一	一・七七	—	四五・三八	三四	一五	—	—	一	一	—
鎭南	六六	—	—	五二	一	五二	一	一・九三	〇・〇四	二九・八五	三〇	二三	—	—	—	—	—
鎭東	三一	—	—	二一	三	二一	三	〇・九五	〇・〇二	三一・二九	一九	一	—	—	三	一	—
八重山	一〇一	一	—	八四	一二	八五	一二	三・三八	〇・五五	三八・九一	八五	一〇	—	—	一	—	一
宮古	二〇六	三	二	二三四	一八	二三七	二〇	八・五五	〇・二〇	四二・四八	二二七	八	—	—	一八	三	一
千早	一六〇	八	(四)四	二四一	一五	二四九	一九	一三・九四	〇・〇八	八七・六三	二四〇	四	—	—	一八	六	—
龍田	八一	五	—	五六	二〇	六一	二〇	三・三二	〇・三一	四四・八一	五九	四	—	—	一七	一	—
豊橋	二〇七	六	一	一四七	五四	一五三	五五	六・七一	一・七七	四〇・九七	一五七	一二	—	—	三三	四	二
雷	四七	—	(一)一	四二	一二	四二	一三	一・二八	〇・三四	三四・四七	四〇	三	—	—	一一	一	—
電	四七	—	—	三六	八	三六	八	一・二五	〇・三七	三四・四七	三一	四	—	—	七	一	一
曙	四七	二	—	七六	一〇	七八	一〇	三・五九	〇・三二	八三・一九	七八	三	—	—	七	—	—
漣	四七	—	—	五二	九	五二	九	一・九五	〇・〇一	四一・七〇	五〇	一	—	—	九	一	—
朧	四六	一	一	六三	一〇	六四	一一	一・九三	〇・四五	五一・七四	六六	一	—	—	八	—	—
東雲	四四	四	—	三四	一〇	三八	一〇	一・六七	一・一三	六三・六四	三九	六	—	—	三	—	—
叢雲	四五	二	一	二六	一四	二八	一五	一・六〇	〇・九〇	五五・五六	三二	四	—	—	五	—	二
夕霧	四五	—	—	五四	一三	五四	一三	一・七九	〇・五七	五二・四四	五五	四	—	—	七	—	一
不知火	四五	二	—	二五	一八	二七	一八	一・二五	〇・一五	三一・一一	二六	一	—	—	一七	—	一
陽炎	四五	—	—	六二	一一	六二	一一	二・四九	〇・三一	六二・二三	六一	四	—	—	八	—	—

所轄別	平均一日兵員	舊患 院外	舊患 院內	新患 院外	新患 院內	合計 院外	合計 院內	平均一日患者 院外	平均一日患者 院內	兵員千ニ付一日患者比例	治癒	事故止療	死亡	免除	轉轄帶患	殘留 院外	殘留 院內
薄雲	四五	—	—	三二	一三	三二	一三	一・五七	〇・四五	四四・八九	三三	一	一	—	一〇	—	—
曉	四八	一	—	四〇	五	四一	五	二・一二	〇・一二	四六・八八	四一	一	—	—	四	—	—
白雲	四七	一	(一)一	三九	三	四〇	四	一・四〇	〇・一一	三二・一三	三八	二	一	—	三	—	—
朝潮	四八	二	—	七七	一	七九	一	二・三五	—	四八・九六	七八	—	一	—	一	—	—
霞	四七	七	—	四三	五	五〇	五	二・七九	〇・〇九	六一・二八	五一	—	—	—	四	—	—
横須賀海兵團	二・四六〇	八八	(四)一一一	一・二二五	六六〇	一・三一三	七七一	七六・七〇	一〇八・七〇	七五・三七	一・七四八	五五	三一	一〇〇	—	三二	一八
横須賀港務部	八八	四	一	五一	一〇	五五	一一	二・九五	〇・五八	四〇・一一	五六	一	—	—	四	五	—
横須賀豫備艦部	一六	一	—	七	—	八	—	〇・二九	—	一八・一三	七	一	—	—	—	—	—
横須賀海軍病院	七六	—	(一)一	四六	九	四六	一〇	二・六〇	〇・九〇	四六・〇五	四五	五	—	—	五	—	一
砲術練習所	五四一	一四	三	三七〇	三七	三八四	四〇	二四・二五	二・七七	四九・九四	三四〇	五六	一	—	二一	—	六
水雷術練習所	四六六	—	四	一〇三	二一	一〇三	二五	四・六〇	一・六〇	一三・三〇	一〇八	二	一	—	一三	二	二
機關術練習所	三二二	一六	四	二八七	二六	三〇三	三〇	一八・〇四	二・九五	六五・一九	二七六	三五	二	—	一五	五	—
横須賀水雷團	五〇五	三	三	四九九	三六	五〇二	三九	一八・九六	三・一四	四三・七六	四八三	三〇	一	—	二四	三	—
大湊水雷團	一八七	—	—	四六	四	四六	四	六・一六	—	三二・九四	四三	—	—	—	四	三	—
横須賀海軍監獄	七三	八	—	七六	—	八四	—	八・四五	—	一一五・七五	五四	一八	—	一	—	二一	—
呉海兵團	二・二四五	八七	(四)八〇	八五八	六一二	九四五	六九二	七九・九五	一〇一・一一	八〇・六五	一・二四五	一一九	二五	八七	—	五一	一一〇
呉港務部	七二	二	一	二八	一三	三〇	一四	二・〇八	〇・六七	三八・一九	三三	一	—	—	八	一	一
呉豫備艦部	一四	—	—	三	—	三	—	〇・二八	—	二〇・〇〇	三	—	—	—	—	—	—
呉海軍病院	七五	四	(一)二	六八	一四	七二	一六	四・六三	一・二六	七八・五三	六九	六	—	—	一〇	一	二
呉水雷團	三七五	六	九	二七四	六一	二八〇	七〇	一三・三〇	五・七七	五〇・八二	二九七	一九	三	—	二三	七	一
呉海軍監獄	一一四	八	—	一三八	—	一四六	—	一二・四〇	—	一〇八・七七	一一一	二七	—	二	—	六	—
佐世保海兵團	一・八〇三	五〇	(六)一一九	六五五	六七七	七〇五	七九六	六一・四八	一〇九・四六	九四・八一	一・〇六六	一三九	二六	一〇〇	—	二六	一四四
佐世保港務部	九八	三	—	四二	一八	四五	一八	三・七一	〇・八二	四六・二三	四四	二	一	—	一一	三	二
佐世保豫備艦部	一六	—	(一)一	四	一	四	二	〇・四〇	〇・一六	三五・〇〇	五	—	—	—	一	—	—
佐世保海軍病院	七二	六	—	一五	一一	二一	一一	一・一六	〇・四九	二二・九二	一七	五	—	—	八	一	一
佐世保水雷團	三九〇	四	四	一三六	五〇	一四〇	五四	六・七四	三・一八	二五・四四	一五五	三	二	—	二五	八	一
長崎水雷敷設隊	九一	—	—	七二	三	七二	三	三・一五	〇・〇五	三五・一六	六七	三	一	—	二	二	—
馬公要港部	二〇六	九	一	二六一	一八	二七〇	一九	一二・三〇	〇・八七	六三・九三	二五九	一五	—	—	九	六	—
竹敷要港部	七一六	三五	(三)四	四二九	六四	四六四	六八	三九・九八	四・五〇	六二・一二	四一〇	四六	三	—	四七	二三	三
佐世保海軍監獄	八五	三〇	—	九八	—	一二八	—	一三・六一	—	一六〇・一二	八二	三五	—	—	—	一一	—
舞鶴海兵團	一・二五七	一一	(三)四二	九四三	三八五	九五四	四二七	五四・四一	四五・七四	七九・六七	一・〇九五	一一二	九	六六	—	五四	四五
舞鶴港務部	八〇	五	—	六九	六	七四	六	四・五五	〇・一七	五九・〇〇	六九	六	—	—	五	—	—
舞鶴豫備艦部	一六	二	—	五	三	七	三	〇・三六	〇・〇五	二五・六三	六	一	—	—	三	—	—
舞鶴海軍病院	五三	—	—	二八	九	二八	九	一・二八	〇・三六	三〇・九四	二三	五	—	一	五	一	二
舞鶴水雷團	三五四	八	(三)一	二八四	三五	二九二	三六	一六・五〇	一・八五	五一・八四	二七八	一九	—	—	二一	九	一
舞鶴海軍監獄	二三	二	—	五三	—	五五	—	三・六九	—	一六〇・四三	二八	一	—	二	—	二四	—
海軍兵學校	六六四	一七	一	三〇六	三八	三二三	三九	二二・〇八	三・二〇	三八・〇七	二八九	四三	一	四	四	七	一四
海軍機關學校	二四七	—	—	三一一	七	三一一	七	一一・六七	〇・三六	四八・七〇	二九三	一九	—	一	一	三	一
海軍主計官練習所	三五	—	—	二	一	二	一	〇・二二	—	六・二九	二	一	—	—	—	—	—
其他諸廳	一三四	—	—	二四	五	二四	五	一・七六	〇・一〇	一三・八八	二四	一	—	—	三	一	—
總計	三〇、四四五	七二〇	(五二)五三四	二一、〇七九	四、八四七	二一、七九九	五、三八一	一、一八八・四三	五一二・〇八	五五・八六	二二、二九八	一、五三四	一五四	三六四	一、六二一	六五〇	五五九

第十五　患者

（備考）本表中各艦團部隊廳ノ平均一日兵員欄内ニ記入シタル平均兵員ヲ合算スレハ三万零五百六十三人トナリ其總計欄内ニ記入セシ數ト符合セス百十八人ノ差アリ是總計欄内ニハ本年内海軍兵員總延數ノ一日平均數ヲ記入シタルニ由ル而シテ各艦團部隊廳ノ平均一日兵數總計ト兵員總延數ノ一日平均數ト差異アル理由ハ本年内新設ニ係ル大湊水雷團ヘ他艦團部隊廳ヨリ轉勤又ハ軍艦東雲ノ第三豫備艦トナリ定員ヲ置カレサル爲メ其兵員彼此ニ轉勤シ全一ケ年ニ亙ラサル重複數ヲ控除シタルニ由ル又本表中院内舊患欄内中括弧內ノ數ハ院外舊患者ニシテ本年入院ノ者ヲ示ス故ニ其數ハ虚數ナリ仍テ總計ニハ算入セス次ノ二表モ亦之ニ同シ

患者病類別

明治三十五年分

病類	舊患 院外	舊患 院内	新患 院外	新患 院内	合計 院外	合計 院内	施療日數 院外	施療日數 院内	平均一日患者	兵員每千一日患者比例	治癒	事故 止療	事故 死亡	事故 免除	殘留 院外	殘留 院内
全身病	一一	五四(二)	九一八	四三八	九二九	四九二	一五、五〇六	一六、〇四三	八六・四四	二・八四	一、二五五	二八	四九	一三	一九	五七
神經系病	八	七(一)	二三七	八九	二四五	九六	五、四〇八	四、六一三	二七・四五	〇・九〇	二六〇	二四	一六	二三	五	一四
呼吸器病	四七	八〇(四)	一、二一四	六三八	一、二六一	七一八	二九、二五三	四一、一七三	一九二・九五	六・三四	一、四八〇	一〇二	三〇	二一四	三二	一二一
循環器病	六	一〇(二)	一二七	五三	一三三	六三	三、七六一	三、五八七	二〇・一三	〇・六六	一四八	一九	四	一一	七	七
榮養器病	五五	三五(二)	五、二六三	三六〇	五、三一八	三九五	五七、五七一	一五、八四六	二〇一・一四	六・六一	五、四〇三	一七九	二〇	一二	五六	四三
泌尿器及生殖器病	六	九(二)	三三八	八二	三四四	九一	七、二五五	三、九四七	三〇・六九	一・〇一	三六五	三九	二	三	九	一七
花柳病	二一六	二二九(二六)	四、〇一六	九九一	四、二三二	一、二二〇	一二〇、一二九	五七、七七九	四八七・四二	一六・〇一	四、五八二	四四七	一	四	二二九	一八九
眼病及眼外傷	六九	二一(一)	一、三〇七	一〇五	一、三七六	一二六	三八、六八六	九、五四〇	一三二・一三	四・三二	一、二〇七	一二二	—	二五	四二	一六
耳病及耳外傷	一五	九(一)	二九八	三五	三一三	四四	八、〇七七	三、五三六	三一・八二	一・〇五	二六一	六七	—	一二	七	一〇
外被病	九二	三八(五)	二、九五三	二二六	三、〇四五	二六四	六六、二四三	一〇、三二〇	二〇九・七六	六・八九	二、九五二	二一五	一	四	一〇九	二八
運動器病	一〇	一〇	三〇七	七三	三一七	八三	六、九〇五	五、七二六	三四・六一	一・一四	三四七	二八	三	四	五	一二
外傷	一八三	三二(五)	四、〇七六	二四七	四、二五九	二七九	七四、九一五	一四、七七六	二四五・七三	八・〇七	四、一四三	一七四	七	三九	一三〇	四五
爾餘ノ傷病	二	—	二四	一	二六	一	六九	二二	〇・二五	〇・〇一	六	—	二一	—	—	—
總計	七二〇	五三四(五一)	二一、〇七八	三、三三八	二一、七九八	三、八七二	四三三、七七八	一八六、九〇八	一、七〇〇・五一	五五・八六	二二、四〇九	一、五三四	一五四	三六四	六五〇	五五九

（備考）本表中爾餘ノ傷病欄内ニハ溺水、其他不慮ノ傷病、自企的傷病及自殺ヲ含有ス患者病類兵種別表及患者月別表モ之ニ同シ又前年殘留患者ノ病名ト本年舊患者ノ病名ト一致セサルハ前年ニ於テ兼病ナリシモ本年ニ至テ主病トナリシ者アルニ由ル

患者兵種別

明治三十五年分

兵種	平均一日兵員	舊患 院外	舊患 院内	新患 院外	新患 院内	合計 院外	合計 院内	平均一日患者 院外	平均一日患者 院内	兵員每千一日患者比例	治癒	事故 止療	事故 死亡	事故 免除	殘留 院外	殘留 院内
生徒	八〇三	一七	一	五七二	三三	五八九	三四	三一・〇七	二・八五	四二・二四	五四一	五五	—	五	九	一三
下士	六、〇七二	九三	五九(八)	三、〇五一	五〇三	三、一四四	五六二	一六五・六八	七五・三七	三九・七〇	三、二〇八	二三八	二二	六三	八〇	九五
卒	二二、七六〇	五五九	四七三(四三)	一六、八九七	二、六七六	一七、四五六	三、一四九	九四四・三一	四三二・七五	六〇・五〇	一八、〇八二	一、一四四	一三二	二九一	五〇五	四五一
傭人	五一四	三	一	一九三	一五	一九六	一六	九・二三	一・一〇	二〇・一〇	一九二	一六	—	—	四	—
囚人	二九六	四八	—	三六五	—	四一三	—	三八・一五	—	一二八・八九	二七五	八一	—	五	五二	—
總計	三〇、四四五	七二〇	五三四(五一)	二一、〇七八	三、二二七	二一、七九八	三、七六一	一、一八八・四三	五一二・〇八	五五・八六	二二、二九八	一、五三四	一五四	三六四	六五〇	五五九

（備考）本表ノ患者數ト患者所轄別表及患者病類別表ノ各患者數ト差異アルハ患者所轄別表ニ在テハ受療中所轄ヲ轉スル者ヲ更ニ一人トシテ揭クルヲ以テ一患者ニシテ二人或ハ三人トナルニ由リ其數ヲ增加シ患者病類別表ニ在テハ甲病ヨリ乙病ニ轉スル者ヲ二人トシテ揭クルヲ以テ同シク其數ヲ增加セリ又本表ノ新患者數ト次ノ二表ノ患者數ト差異アルハ次ノ二表ニ在テハ患者病類別表ノ如ク甲病ヨリ乙病ニ轉スル者ヲ二人トノ揭クルニ由ル

患者病類兵種別　明治三十五年分

病類		生徒	下士	卒	傭人	囚人	合計
全身病	患者	二八	一九一	一、一一五	一〇	一二	一、三五六
	死亡	—	一〇	三九	—	—	四九
神經系病	患者	二〇	七四	二二六	二	四	三二六
	死亡	—	一	一五	—	—	一六
呼吸器病	患者	五二	三四二	一、四一六	二五	一七	一、八五二
	死亡	—	六	二四	—	—	三〇
循環器病	患者	七	四〇	一二九	三	一	一八〇
	死亡	—	一	三	—	—	四
榮養器病	患者	二五六	一、〇二八	四、二三四	六五	四〇	五、六二三
	死亡	—	一	一九	—	—	二〇
泌尿器及生殖器病	患者	四	七七	三二六	二	一一	四二〇
	死亡	—	—	二	—	—	二
花柳病	患者	—	五七一	四、三〇八	二三	一〇五	五、〇〇七
	死亡	—	一	—	—	—	一
眼病及眼外傷	患者	三六	二六八	一、〇六一	一七	三〇	一、四一二
	死亡	—	—	—	—	—	—
耳病及耳外傷	患者	一五	五〇	二六三	三	二	三三三
	死亡	—	—	—	—	—	—
外被病	患者	七五	三七四	二、六三六	三三	六一	三、一九七
	死亡	—	—	一	—	—	一
運動器病	患者	八	六九	三〇二	—	一	三八〇
	死亡	—	—	三	—	—	三
外傷	患者	一〇四	四八一	三、六三二	二五	八一	四、三二三
	死亡	—	一	—	—	—	七
爾餘ノ傷病	患者	—	三	二二	—	—	二五
	死亡	—	一	二〇	—	—	二一
總計	患者	六〇五	三、五六八	一九、六七〇	二〇八	三六五	二四、一六
	死亡	—	二二	一三二	—	—	一五四

（備考）本表及次ノ三表ハ新患者ノミヲ記入シ死亡數ハ舊新患者ノ別ナク總テ本年度内ニ死亡シタル者ヲ算入ス

患者月別　明治三十五年分

病類		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
全身病	發病	七〇	三四四	一〇七	八二	六七	一〇九	九九	八九	一二七	一一〇	八九	六三	一、三五六
	死亡	五	四	四	三	一	一	四	八	八	三	三	五	四九
神經系病	發病	一九	一六	二二	三五	二九	三六	二四	三五	二九	四三	二四	一四	三二六
	死亡	一	一	—	二	二	一	二	—	二	二	三	—	一六
呼吸器病	發病	一二六	一三三	一五二	一六〇	一七九	二一〇	一六〇	一七二	一七二	一四七	一二七	一一四	一、八五二
	死亡	—	三	三	三	三	二	二	一	二	六	二	三	三〇

病類		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
循環器病	發病	—	九	一四	一八	一九	一六	二〇	一三	一六	一七	一五	一五	一八〇
	死亡	—	—	—	—	一	—	—	—	一	—	一	一	四
榮養器病	發病	三〇〇	三六三	三九一	三八九	四六四	六一六	六〇四	六九七	六七四	四五九	三五八	三〇八	五、六二三
	死亡	二	一	一	一	一	一	一	二	二	四	二	二	二〇
泌尿器及生殖器病	發病	二七	二八	三〇	三六	四三	五〇	四四	五〇	四一	二七	二二	二二	四二〇
	死亡	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	二
花柳病	發病	四三〇	三五〇	三七六	二九五	四二〇	四五七	四四一	四五一	四九四	四三二	四四七	四一四	五、〇〇七
	死亡	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一
眼病及眼外傷	發病	一一二	一二八	一〇三	一三〇	一五五	一七三	一四八	一一〇	九九	八五	八二	八七	一、四一二
	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
耳病及耳外傷	發病	一七	一八	二二	二八	三〇	三八	三二	四二	三四	二九	三一	一二	三三三
	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外被病	發病	二五六	二四〇	二九九	三〇二	二七〇	二八〇	二八四	二七六	二五六	二六〇	二三二	二二四	三、一七九
	死亡	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一
運動器病	發病	一九	二九	三九	三〇	三五	三七	三七	三二	三八	三九	二六	一九	三八〇
	死亡	—	—	—	—	一	—	一	一	—	—	—	—	三
外傷	發病	四一二	四二二	三六五	三三四	三五〇	三六二	三四八	三三〇	三七五	三七六	三二二	三二七	四、三二三
	死亡	一	—	—	—	—	—	二	—	—	二	一	一	七
爾餘ノ傷病	發病	二	一	二	二	二	五	二	四	三	一	一	—	二五
	死亡	二	—	二	二	一	四	一	四	三	一	一	—	二一

傳染病兵種別　明治三十五年分

病名		生徒	下士	卒	傭人	囚人	合計
腸窒扶斯	患者	九	二五	一三九	二	—	一七五
	死亡	—	六	三三	—	—	三九
虎列刺	患者	—	一二	一一	—	—	二三
	死亡	—	三	四	—	—	七
赤痢	患者	—	一	六	—	一	八
	死亡	—	—	—	—	—	—
總計	患者	九	三八	一五六	二	一	二〇六
	死亡	—	九	三七	—	—	四六
三十四年	患者	二	三三	一六四	五	二	二〇六
	死亡	—	八	二八	—	二	三八
三十三年	患者	—	一四	一三三	二	一	一五〇
	死亡	—	一	二三	—	—	二四
三十二年	患者	一	一四	一二二	一	—	一三八
	死亡	一	二	二二	—	—	二五
三十一年	患者	一	一八	一二八	一	—	一四八
	死亡	一	五	一六	—	—	二二

總計		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
總計	發病	一、七九八	二、〇八一	一、九二二	一、八四一	二、〇六三	二、三八九	二、二四三	二、三〇一	二、三五八	二、〇二五	一、七七六	一、六一九	二四、四一六
	死亡	一一	九	一〇	一一	一二	九	一四	一七	一八	一八	一三	一二	一五四

（備考）本表及次表ニ在テハ全身病類中傳染病ノ重ナル者ノミヲ掲ク

傳染病月別

明治三十五年分

病名	腸窒扶斯		虎列刺		赤痢		總計	
	發病	死者	發病	死者	發病	死者	發病	死者
一月	二〇	五					二〇	五
二月	一三	四					一三	四
三月	一一	三					一一	三
四月	一七	三					一七	三
五月	三	一					三	一
六月	八	一					八	一
七月	一三	二					一三	二
八月	一四	四					一四	四
九月	一一	三					一一	三
十月	一三	三					一三	三
十一月	二〇	五					二〇	五
十二月	三六	一					三六	一
合計	一七五	三九					一七五	三九

又本年間ニ於ケル下士卒ノ患者ヲ各病院ニ區別スレハ左ノ如シ

下士卒患者病院別

明治三十五年分

病院	兵種	入院		出院					殘留
		舊患	新患	計	治癒	事故止療	脫院	轉院	死亡	免除	
橫須賀海軍病院	下士	一四	一六〇	一七四	一〇七				四		六三
	卒	一三〇	九四三	一〇七三	七七四				三五	一〇三	一四五
呉海軍病院	下士	一五八	七二二	八八〇	六三七				一五		一七
	卒	七二	一八五	一九六	一三九				四		一九
佐世保海軍病院	下士	一二二	七九〇	九一二	六四三				二五		三四
	卒	二	一九五	二一七	一六八				五		一六
舞鶴海軍病院	下士	二	四六	四八	三一				七		一四
	卒	一八	二八九	三〇七	二一二				四〇		二八
部外病院	下士	二	一二	一四	八				一		六
	卒	二	一二	一四	一一				五		一一
總計		四八一	三一九	三八〇	二六八六				七		三五三

年	兵種	入院		出院					殘留
		舊患	新患	計	治癒	事故止療	脫院	轉院	死亡	免除	
十四年	下士	五二九	三、三九八	三、九二七	二、八三五				一〇〇		九九
	卒	三九六	三、〇六九	三、四六五	二、四六三				五三		八一
十三年	下士	三八五	二、九〇三	三、二八八	二、五二九				一四		六五
	卒	二三	二、七〇八	二、九二九	二、二九八				五六		七五
十二年	下士	三九〇	二、九〇九	三、二九九	二、三八五				一〇〇		八二
	卒	二三	二、七〇八	二、九二九	二、二九八				五六		七五
十一年	下士	四八一	三、三一九	三、八〇〇	二、六八六				七		八九
	卒	四八一	三、三一九	三、八〇〇	二、六八六				七		八九
總計		四八一	三、三一九	三、八〇〇	二、六八六				七		八九
部外病院	下士	二	一二	一四	八				一		六
	卒	二	五四	五六	三五				一		一三
舞鶴海軍病院	下士	一八	二八九	三〇七	二一二				五		一一
	卒	一二	四六	四八	三一				一		一三
佐世保海軍病院	下士	一二二	七九〇	九一二	六四三				二五		三四
	卒	二	一八五	一九六	一三九				五		一六
呉海軍病院	下士	一五八	七二二	八八〇	六三七				一五		一七
	卒	一八	一一五	一三三	九九				四		一九

三十四年間ノ患者狀況ハ各材料ノ完備セサルカ爲メ之ヲ缺キタル所アルヲ以テ今茲ニ其狀況ヲ叙述セン

明治三十四年ノ平均兵員ハ二萬三千百七十二人ノ增加ナリ之ヲ兵種ニ從テ區別スレハ生徒七百十九人下士水兵部二千五百五十九人機關部千五百六十人其他八百十人卒水兵部一

萬二千六百六人機關部五千九百二十二人其他千六百二十五人傭人四百六十六人四人二百二人トス而シテ本年ニ於ケル患者ハ之ヲ前年ニ比スレハ軍備擴張ノ爲メ兵員ノ增加ニ伴ヒ病症數ニ於テハ之ヲ前年ノ二萬二千八百十七症ニ比スレハ二千二百三十七症受療日數ニ於テハ之ヲ前年ノ五十三萬六千百十五日ニ比スレハ四萬八千七百五十日ヲ增加セリ然リト雖モ逐次後段ニ示スカ如ク兵員毎千一日患者比例及兵員毎千病症比例ニ至テハ減少ヲ呈セリ蓋シ本年ニ於テモ我軍陣衛生上良好ノ成績ヲ收メタルモノナリ

疾病傷痍ノ數ハ新舊合シテ二萬四千九百五十四症（此患者實數ハ二萬四千八百七十八）其兵員毎千比例ハ九四二・七六ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ三六・六三ヲ減シ前十箇年（明治十七年（兵食改良ノ年）ヨリ三十年ニ至ル十七ケ年ナリ以下之ニ同シ）ノ平均ニ比スレハ二三・八五ヲ增セリ上ニ記スル如ク前十七ケ年ノ平均ト比較シテ病症比例ノ增加シタル理由ハ明治三十年一月一日ヨリ改定軍醫官服務規則實施ノ結果輕症患者ノ登錄數非常ニ增加シタルニ因ルナリ

受療日數ハ五十八萬四千八百六十五日ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ四萬八千七百五十日ヲ增加シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ三十七萬三千八百日ヲ

增セリ斯ノ如ク前十七ケ年ノ平均ニ比シテ受療日數ノ增加シタルハ明治二十七八年日清戰役以降漸次兵員ノ增加シタルト既ニ前文ニ於テ述タル如ク改定軍醫官服務規則實施ノ結果ニ因ルナリ而シテ受療日數中就業受療日數ハ二十三萬二千三百六十日之ヲ前年ニ比スレハ七千百二十九日ヲ增シ輕業受療日數ハ四萬四千三百十一日之ヲ前年ニ比スレハ千三百六十一日ヲ減シ休業受療日數ハ十二萬千八百五十八日之ヲ前年ニ比スレハ一萬六千四百五日ヲ增シ入院受療日數ハ十八萬六千三百三十六日之ヲ前年ニ比スレハ二萬六千五百七十七日ヲ增セリ

患者一人ニ對スル一年間ノ平均受療日數ハ二十三日四四ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日〇六ヲ減シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ二日〇五ヲ減セリ其中就業受療日數ハ九日三一ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日五六ヲ減シ輕業受療日數ハ一日七八ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日二二ヲ減シ休業受療日數ハ四日八八ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日四七ヲ增セリ

兵員一人ニ對スル一年間ノ平均受療日數ハ二十二日一〇ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日九一ヲ減シ之ヲ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ四日一六ヲ增セリ其中就業受療日數ハ八日七八ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日八九

ヲ減シ輕業受療日數ハ一日六八ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日二八ヲ減シ休業受療日數ハ四日六〇ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日〇七ヲ增シ入院受療日數ハ七日〇四ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ零日一八ヲ增セリ

平均一日受療患者ハ千六百二人三七ニシテ其兵員毎千比例ハ六〇、五四ナリ之ヲ前年ニ比スレハ一一、四ヲ減シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ二、五一ヲ減ス

○ヲ增セリ其內就業受療患者ハ六ハ二四、〇五ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ二、四四ヲ減シ輕業受療患者ハ百二十一人四〇ニシテ其兵員毎千比例ハ四、五九ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ〇、七八ヲ減シ休業受療患者ハ三百三十三人八六ニシテ其兵員毎千比例ハ一二、六一ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ零、二一ヲ增シ入院受療患者ハ五百十人五一ニシテ其兵員毎千比例ハ一九、二九ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ零、五〇ヲ增セリ

治癒ハ二萬千五百九十七症ニシテ其病症毎千比例ハ八六五、四七ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ五七、二一ヲ減シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ四六、六九ヲ減セリ但シ本年ニ於テ治癒ノ比例數大ニ減少ヲ示セシハ本年以前ハ輕快止療ノ者及受療中轉勤トナリ更ニ受療セサル者ヲ治癒ニ算入シタルモ

本年ニ於テ止療ニ算セルニ因ルナリ

止療ハ千五百三十二人ニシテ其病症毎千比例ハ五、四五ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ〇、七六ヲ增シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ六、〇〇ヲ減セリ其兵員毎千比例ハ五、一四ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ零、五五ヲ增シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ二、九二ヲ減セリ又死亡全數中九十七人ハ疾病、九人ハ外傷十人ハ溺水、二十人ハ自殺ニ因ル而シテ疾病ニ因ル死亡ハ兵員毎千比例三、六六ニ當リ外傷ニ因ル者ハ零、三四溺水ニ因ル者ハ零、三八自殺ニ因ル者零、七六ニ當レリ

免除ハ四百三十五人ニシテ其病症毎千比例ハ一七、四三ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ一、五二ヲ增シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ一、八五ヲ增セリ其兵員毎千比例ハ一六、四三ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ零、八五ヲ增シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ五、四六ヲ增セリ又免除者全數中疾病ニ因ル者ハ三百七十一人外傷ニ因ル者六十四人ナリ疾病ニ關スル免除ハ兵員毎千比例一四、〇二外傷ニ係ル者ハ二、四二ニ當レリ

在院患者ハ實數三千八百六十七人病症數ハ三千九百五十一症ニシテ兵員毎千比例ハ一

四六、一〇ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ一、六八ヲ減シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ三、七八ヲ增セリ

在院日數ハ總計十八萬六千三百三十六日ニシテ平均一患者ニ對シ四十八日一九ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ三日三五ヲ增シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ零、〇六ヲ減セリ又平均一日在院患者ハ五百十人五一ニシテ其兵員毎千比例ハ一九、二九ニ當リ之ヲ前年ニ比スレハ零、五〇ヲ增シ前十七ケ年ノ平均ニ比スレハ零、五二ヲ增セリ

本年橫須賀呉佐世保舞鶴四海軍病院ニ於ケル入院患者費用總計ハ貳拾萬五千二拾五圓三拾五錢九厘ニシテ入院患者延數ハ十九萬六千百九十三人ナリ患者一人一日ニ對スル平均費額ハ壹圓四錢五厘ニシテ前年ニ比シ壹錢六厘ヲ減ス即チ各病院ニ於ケル入院患者費用歩合等ヲ表示スレハ左ノ如シ

入院患者費用歩合

病院	入院患者延數	經費	藥品療用品費	合計	入院患者一人一日費用
橫須賀海軍病院	六〇、〇七四	六〇、七二〇、五九	八、三六六、一六一	六九、〇八八、二二〇	一、一六
呉海軍病院	六七、六七九	五三、四三八、六八四	一八、三九七、八五〇	七一、八三六、五三四	一、〇六
佐世保海軍病院	六六、七一〇	五〇、七〇三、八〇四	八、一七七、六八七	五八、八八一、四九一	〇、八八三
舞鶴海軍病院	一、七三〇	四、九七九、五八〇	二三九、五三四	五、二一九、一一四	三、〇一七
總計	一九六、一九三	一六九、八四四、一二七	三五、一八一、二三二	二〇五、〇二五、三五九	一、〇四五
三十三年	一六四、九四六	一五七、四七九、三五五	一七、四六九、七三三	一七四、九四九、一二八	一、〇六一
三十二年	一五四、五三五	一二六、一三一、八九三	一二、二八一、二一〇	一三八、四三一、一〇三	〇、八九六
三十一年	一三七、一七八	一二六、六九四、一六八	一一、一二七、五五八	一三七、八二一、七二六	一、〇〇四
三十年	二二、一〇六	九五、四三九、二六二	九、六一四、〇五二	一〇五、〇五三、三一四	〇、八六七

（備考）部外病院等ニ仕拂タル入院料ハ算入セス

又患者直接ノ費用即チ治療品費ノ本年間消費セシ金額ハ總計三萬五千三百九十七圓四拾九錢四厘ナリ之ヲ前年ニ比スレハ壹萬千五百五拾五圓三錢ヲ減シ又消費總額ヲ藥品及消耗療用品費ニ區別スレハ藥品費壹萬八千三百五拾二圓七拾貳錢九厘ニシテ前年ヨリ增スコト五百六十五圓貳厘消耗療用品費ハ壹萬七千四拾四圓七拾六錢五厘ニシテ前年ヨリ減スルコト壹萬二千百二十圓參錢二厘ナリ又療用品ノ賣却(元價)亡失毀損及給與(患者歸鄕ノ際給與セシ者)ハ合計千九百二十二圓二十二錢六厘ニシテ之ヲ各鎭守府所管ニ區分スレハ橫須賀ニ在テハ亡失毀損百二十三圓九拾八錢給與

九拾弐圓四拾參錢吳ニ在テハ賣却三百拾九圓參十七錢六厘亡失毀損百二十六圓九拾二錢九厘給與四拾二圓八拾六錢佐世保ニ在テハ賣却千百二十參圓九拾錢七厘亡失毀損八拾七圓七十三錢四厘舞鶴ニ在テハ亡失毀損五圓壹錢ナリ尚ホ消費セシ品種數量ノ區別ハ頗ル繁雜ニ渉リ通觀ニ便ナラサルヲ以テ之ヲ略シ其所管ニ繫ケテ區別シタル藥品療用品費ヲ示ス左ノ如シ

藥品療用品費

區別	藥品費	消耗療用品費	總計
横須賀鎮守府	六、四九四、二五二	五、九五七、四五〇	一二、四五一、七〇二
吳鎮守府	五、三五七、八七八	六、三八四、一四四	一一、七四二、〇二二
佐世保鎮守府	五、七六四、七一〇	四、一七五、三二〇	九、九四〇、〇三〇
舞鶴鎮守府	七三五、八八九	五二七、八五一	一、二六三、七四〇
合計	一八、三五二、七二九	一七、〇四四、七六五	三五、三九七、四九四
三十三年	九、四〇七、三〇三	八、九九六、六五五	一八、九七三、九五八
三十二年	八、一三九、六一九	四、九三二、八八二	一三、〇七二、五〇一
三十一年	四、八四五、九八三	三、一四九、六一四	七、九九五、五九七
三十年	三、八八四、二八四	一、七五七、二一〇	五、六四二、四九四

第十六　刑罰

明治三十五年間ノ刑罰狀況ヲ叙述スルニ其處理ノ件數ハ七百九件人員ハ千百九十四人ニシテ前年ニ對照スレハ件數ニ於テ八件人員ニ於テ四百十一人ヲ增加セリ而シテ其犯罪者ノ總數ハ九百十七人ニシテ前年ニ比スレハ三百十人ヲ增加セリ斯ノ如ク多キヲ見ルハ本年抗命罪三百餘人ノ多キ特殊ノ數アルニ因ル隨テ總人員ニ對スル百分比例ノ結果モ亦二人五分一厘ニシテ前年ニ比シ七分二厘ノ增加ヲ見ル乃チ累年行刑人員ノ比例其ノ他各種ノ狀況ヲ表章スルコト左ノ如シ

軍人軍屬行刑人員累年對照

年次	平均人員	行刑人員	人員百ニ付比例
三十五年	三六、五二一	九一七	二、五一
三十四年	三三、七〇〇	六〇七	一、八〇

年次	平均人員	行刑人員	人員百ニ付比例
三十三年	二九、八七九	五四三	一・八二
三十二年	二五、七一五	四七五	一・八五
三十一年	二三、四二七	五一三	二・一九
三十年	二〇、〇四一	四四一	二・二〇
二十九年	一六、五七〇	三四五	二・〇八
二十八年	一六、九九七	二四四	一・四四
二十七年	一四、七一三	二七〇	一・八四
二十六年	一二、八四八	二六五	二・〇六

軍法會議官員及傭

明治三十五年十二月三十一日現員

官職	東京軍法會議	横須賀鎮守府軍法會議	吳鎮守府軍法會議	佐世保鎮守府軍法會議	舞鶴鎮守府軍法會議	通計
判士長佐官	× 一	× 三四	× 一七	× 一六	× 一三	× 八一
判士 佐官	× 三	—	—	× 四	—	× 七
判士 尉官	× 三	× 七六	× 三一	× 四七	× 二八	× 一八四
主理	× 一 二	× 三	× 三	× 三	× 三	× 一 一四
錄事	× 三	× 三	× 三	× 三	× 三	× 一五
警査	二	五	四	三	四	一八
雇員傭人	四	× 五	× 七	× 五	× 五	× 二二 四

總計	三十四年	三十三年	三十二年	三十一年
× 一二七	× 一一八	× 一一九	× 一一七	× 一一〇
× 一二一五	× 一一三五	× 八九六	× 一一〇	× 八〇一
× 六一四	× 四九四	× 四七五	× 五一	× 五〇一
× 七八三	× 五八四	× 四八四	× 四四	× 五二一
× 五二四	× 三七三	—	—	—
× 三二三四	× 二六八四	× 一九九	× 二二〇七	× 一九七三

（備考）表中×ハ兼職ヲ示ス

軍法會議處理件數及人員

明治三十五年

區分	前年ヨリ越高 件數	前年ヨリ越高 人員	新規 件數	新規 人員	計 件數	計 人員	既決 件數	既決 人員	未決 件數	未決 人員
東京軍法會議輕罪	—	—	二	二	二	二	二	二	—	—
横須賀鎮守府軍法會議 重罪	一	一	七	八	八	九	八	九	—	—
横須賀鎮守府軍法會議 輕罪	二一	二一	一九二	二一四	二一三	二三五	一八三	二〇四	三〇	三一
吳鎮守府軍法會議 重罪	二	二	一	一	三	三	三	三	—	—
吳鎮守府軍法會議 輕罪	二四	二五	一四九	五八五	一七三	六一〇	一四五	五八二	二八	二八
吳鎮守府軍法會議 違警罪	—	—	一	一	一	一	一	一	—	—
佐世保鎮守府軍法會議 重罪	—	—	二	二	二	二	二	二	—	—
佐世保鎮守府軍法會議 輕罪	二七	二七	二〇五	二一九	二三二	二四六	一八二	一九二	五〇	五四
佐世保鎮守府軍法會議 違警罪	—	—	二	二	二	二	二	二	—	—
舞鶴鎮守府軍法會議 重罪	—	—	一	一	一	一	一	一	—	—
舞鶴鎮守府軍法會議 輕罪	一	一	七〇	八一	七一	八二	六五	七六	六	六

區分		前年ヨリ越高	新規計	既決	未決
		件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員
常備艦隊軍法會議	輕罪	一	一								
總計		七六	七七	六三三	一、一一七	七〇九	一、一九四	五九五	一、〇七五	一一四	一一九
十四年		二一〇	五九一	六六二	七〇一	七八三	六二六	七〇六	七六	一一	一一
十三年		一〇九	五七二	六四九	六八一	七五九	五七一	六三八	一一〇	一一	一一
十二年		二一一	五〇八	五二八	六一九	六四〇	五一〇	五三〇	一〇九	一一	一一
十一年		二〇四	五七四	六〇八	六七八	七一八	五六七	六〇六	一一	一一	一一

（備考）横須賀軍法會議重罪既決ノ内二件二人ハ免訴一人ハ管轄違輕罪既決ノ内五件十四人ハ免訴一件一人ハ公訴消滅一人ハ管轄違ノモノ○吳軍法會議輕罪既決ノ内二件十人ハ無罪十四件百八人ハ免訴ノモノ○佐世保軍法會議輕罪既決ノ内八件十人ハ免訴○舞鶴軍法會議輕罪既決ノ人六件七人ハ免訴二人ハ管轄違一件一人ハ列決ニ於テ合併一件一人ハ不論罪ノモノナリ

前表中高等軍法會議ニ於テ再審シタルモノ左ノ如シ

軍人軍屬犯者罪狀及刑名

明治三十五年

罪狀		原判決ヲ輕減ス 件數	原判決ヲ輕減ス 人員
重罪		一	一

罪狀		死刑	無期徒刑	有期徒刑 重懲役 十二年	十年以上 九年以上	七年以上 六年以上	輕懲役 輕禁獄 九年	六年以上 通計
海軍刑法	持兇器上官ニ對シ暴行							
	持兇器上官ニ對シ暴行未遂							
刑法	監守盜							
	强盜							
	强盜未遂							
	官文書僞造行使							
總計								
三十四年								
三十三年				×				
三十二年								
三十一年								

罪狀		重禁錮	輕禁錮	罰金	拘留	科料	合計
輕罪							
逃亡	發艦ノ期ニ後ルル						
	歸著ノ期ニ後ルル						
海							

罪狀	重禁錮 三年以上	二年以上	一年以上	六月以上	十一日以上	輕禁錮 二年以上	一年以上	六月以上	十一日以上	十日以下	罰金 五十円以下	十円以下	拘留	科料	合計
軍刑法															
自傷免役ヲ圖ル				三											三
抗命						二三									三一
上官ヲ侮辱ス									一						一
上官ニ對シ暴行								四							四
艦船ヲ坐礁ス									三	二					五
官給品棄毀					一										一
多衆暴行			二	五	一七										二四
刑法															
窃盜		一	七	×九六 一	×八 二										×一二 三
監守盜		一													一
毆打創傷			二	四	一九								三		二八
過失創傷											三				三
受寄物費消				五											五
委託金費消				×二 一											×二 一
詐欺取財			二	三四											三六
詐欺取財未遂				一											一
拐帶			一	五	一										七
私印私書僞造行使			一	六											七
私印盜用				一											一
官文書變造行使			三	一											四
官吏侮辱															
官吏ノ職務執行妨害		一	四	七											二
官職詐稱															
公證文書僞造行使															
鑑札變造				一											
私爲醫業															
徽章僭用															
家屋毀壞				一											
家宅侵入					二										
器物毀棄					五										
賭博				三	二										
囚徒逃走			一	一											
囚徒ノ逃走ヲ覺ラス															
猥褻負傷															
失火															
諸法令規則違犯															
遺失物隱匿															
屋外窃盜				一	三										
狩獵法違犯															
要塞地帶法違犯															
總計		四	三八	×四二 五	×七八 二		二三	二二八	九五	二		×九 一		×一	×九〇 一 九

軍人軍屬犯者官職及罪狀

明治三十五年

（備考）表中×ハ軍屬ヲ示ス

罪狀		重禁錮	輕禁錮	罰金	拘留	科料	合計
三十四年							
三十三年							
三十二年							
三十一年							
海軍	持兇器上官ニ對シ暴行						
	兇器ヲ以テ上官ニ對シ暴行未遂						
	逃亡						
	發覺ノ期ニ後ル						
	歸著ノ期ニ後ル						
	自傷免役ヲ圖ル						
	抗命						
	上官ヲ侮辱ス						
	上官ニ對シ暴行						
	艦船ヲ坐礁ス						
軍人	上長官						
	士官						
	候補生						
	准士官						
	下士						
	卒						
	生徒						
	計						
軍屬	高等官						
	判任官						
	判任待遇						
	雇員雇人						
	計						
四人合計							

罪狀	官給品棄毀	多衆暴行	監守盜	強盜	強盜未遂	竊盜	竊盜未遂	毆打創傷	過失創傷	受寄物費消	委託金費消	詐欺取財	詐欺取財未遂	詐偽	私印盜用	官吏侮辱	官職詐稱	鑑札變造
法																		
刑																		
法																		
三十四年																		
三十三年																		
三十二年																		
三十一年																		
海軍																		
軍人																		
軍屬																		
四人合計																		

罪狀	刑法 私爲醫業	刑法 徽章僭用	刑法 家屋毀壞	刑法 家宅侵入	刑法 器物毀棄	刑法 賭博	刑法 囚徒逃走	刑法 囚徒ノ逃走ヲ幫ス	刑法 猥褻負傷	刑法 失火	諸法令規則違犯 遺失物隱匿	諸法令規則違犯 屋外竊盜	諸法令規則違犯 狩獵法違犯	諸法令規則違犯 要塞地帶法違犯	總計	三十四年	三十三年	三十二年	三十一年
軍人 上長官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	五	—	一	一
軍人 士官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	四	一	二	—
軍人 候補生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一
軍人 准士官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—
軍人 下士	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	—	一一〇	六七	四二	二七	二八
軍人 卒	一	一	一	二	七	四	—	—	一	一	一	四	—	—	七八九	五〇五	四八六	四二九	四六六
軍人 生徒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—
軍人 計	一	一	一	二	七	五	—	—	一	一	一	四	一	—	九〇六	五八三	五二九	四五九	四九六
軍屬 高等官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
軍屬 判任官	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	五	四	一	五
軍屬 判任待遇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—
軍屬 雇傭人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	八	一七	九	一五	一〇
軍屬 計	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	九	二四	一四	一六	一五
囚人	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	二
合計	一	一	一	二	七	五	二	一	一	一	一	四	一	一	九一七	六〇七	五四三	四七五	五一三

軍人軍屬犯者官職及刑名

明治三十五年

刑名	重罪 重懲役	重罪 輕懲役	重罪 重禁獄	重罪 輕禁獄	重罪 計	輕罪 重禁錮	輕罪 輕禁錮	輕罪 罰金	輕罪 計	違警罪 拘留	違警罪 科料	總計	三十四年
軍人 上長官	—	—	—	—	—	—	二	—	二	—	—	二	五
軍人 士官	—	—	—	—	—	—	二	一	三	一	—	四	四
軍人 候補生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
軍人 准士官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一
軍人 下士	一	一	—	—	二	六五	四〇	二	一〇七	一	—	一一〇	六七
軍人 卒	一	二	一	一	五	四七四	三〇三	六	七八三	一	—	七八九	五〇五
軍人 生徒	—	—	—	—	—	一	一	—	一	—	—	一	一
軍人 計	二	三	一	一	七	五三九	三四八	九	八九六	三	—	九〇六	五八三
軍屬 高等官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
軍屬 判任官	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	一	五
軍屬 判任待遇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二
軍屬 雇傭人	—	—	—	—	—	七	—	—	七	—	一	八	一七
軍屬 計	—	—	—	—	—	七	—	一	八	—	一	九	二四
囚徒	—	—	—	—	—	二	—	—	二	—	—	二	—
合計	二	三	一	一	七	五四八	三四八	一〇	九〇六	三	一	九一七	六〇七

刑名	軍人 長上官	軍人 士官	軍人 候補生	軍人 准士官	軍人 下士	軍人 卒	軍人 生徒	軍人 計	軍屬 高等官	軍屬 判任官	軍屬 判任待遇	軍屬 屋員雇人	軍屬 計	囚徒	合計
三十三年	—	一	—	—	四二	四八六	—	五二九	一	四	—	九	一四	—	五四三
三十二年	一	二	—	—	二七	四二九	—	四五九	—	一	—	一五	一六	—	四七五
三十一年	一	—	一	—	二八	四六六	—	四九六	—	五	—	一〇	一五	二	五一三

海軍軍人軍屬行刑比例　明治三十五年

官職	平均人員	行刑人員	人員百ニ付比例
軍人 將官及總監	五〇	—	—
軍人 上長官	六三三	二	〇・三二
軍人 士官	一、二二二	四	〇・三三
軍人 候補生	二〇二	—	—
軍人 准士官	六五一	—	—
軍人 下士	六、一二八	一一〇	一・八〇
軍人 卒	二二、四〇七	七九一	三・五三
軍人 生徒	八〇五	一	〇・一三
軍人 計	三二、〇九八	九〇八	二・八三
軍屬	四、四二三	九	〇・二三
總計	三六、五二一	九一七	二・五一
三十四年	三三、七〇〇	六〇七	一・八〇
三十三年	二九、八七九	五四三	一・八二
三十二年	二五、七一五	四七五	一・八五
三十一年	二三、四二七	五一三	二・一九

軍人軍屬犯罪者年齡別　明治三十五年

區別	十二歲以上十六歲未滿	十六歲以上二十歲未滿	二十歲以上二十五歲未滿	二十五歲以上三十歲未滿	三十歲以上四十歲未滿	四十歲以上五十歲未滿	五十歲以上六十歲未滿	計
海軍刑法 軍人	—	五〇	四六六	一〇五	三一	一	—	六五三
海軍刑法 軍屬	—	一	二	—	—	一	—	四
刑法 軍人	—	二九	一五八	五三	一二	—	—	二五二
刑法 軍屬	—	—	二	—	一	一	—	四
諸法令規則違犯 軍人	—	—	二	—	一	—	—	三
諸法令規則違犯 軍屬	—	—	一	—	—	—	—	一
總計	—	八二	六二九	一五九	四五	二	—	九一七
三十四年	一	四六	三四六	一六八	三五	一一	—	六〇七
三十三年	—	四九	三四四	一一〇	三五	四	一	五四三
三十二年	三	五〇	三〇三	九三	二六	—	—	四七五
三十一年	一	三九	三三四	八七	四九	三	—	五一三

前表中ニ就キ更ニ犯罪者總員ニ對スル百分比例ヲ擧示スレハ左ノ如シ

年齢別	三十五年	三十四年	三十三年	三十二年	三十一年
二十歲未滿	八・九四	七・七四	九・〇二	一一・一六	七・八〇
二十歲以上三十歲未滿	八五・九三	八四・六八	八三・六一	八三・三七	八二・〇七
三十歲以上四十歲未滿	四・九七	五・八二	六・四五	五・四五	九・五五
四十歲以上	〇・二二	一・八一	〇・九五	—	〇・五八

軍人軍屬處刑者罪數

明治三十五年

罪狀		一罪	二罪（俱發）	三罪（俱發）	四罪（俱發）	五罪以上（俱發）	計
海軍刑法	持兇器上官ニ對シ暴行	一	—	—	—	—	一
	持兇器上官ニ對シ暴行未遂	一	—	—	—	—	一
	逃亡	×一 一七八	二八	一二	三	三	×一 二二四
	發艦ノ期ニ後ル	×一 四三	×一 八	一	—	—	×二 五二
	歸著ノ期ニ後ル	二四	一	—	—	—	二五
	自傷免役ヲ圖ル	三	—	—	—	—	三
	抗命	三〇九	二	—	—	—	三一一
	上官ヲ侮辱ス	一	—	—	—	—	一
	上官ニ對シ暴行	四	—	—	—	—	四
	艦船ヲ坐礁ス	五	—	—	—	—	五
	官給品棄毀	一	—	—	—	—	一
	多衆暴行	二二	二	—	—	—	二四

罪狀		一罪	二罪（俱發）	三罪（俱發）	四罪（俱發）	五罪以上（俱發）	計
刑	監守盜	一	一	—	—	—	二
	強盜	—	—	—	—	一	一
	強盜未遂	—	一	—	一	—	二
	竊盜	×一 七七	一八	×一 六	五	×一 六	×三 一一二
	毆打創傷	二五	三	—	—	—	二八
	過失創傷	二	一	—	—	—	三
	受寄物費消	四	一	—	—	—	五
	委託金費消	×一	二	—	—	—	×一 二
	詐欺取財	一〇	八	九	二	七	三六
	詐欺取財未遂	一	—	—	—	—	一
	拐帶	三	一	二	一	—	七
	私印私書僞造行使	—	三	三	—	一	七
	私印盜用	—	一	—	—	—	一
	官文書僞變造行使	二	—	一	一	一	五
	官吏侮辱	二	—	—	—	—	二
	官吏ノ職務執行妨害	四	三	五	—	—	一三
	官職詐稱	一	—	—	—	—	一
	公證文書僞造行使	一	—	—	—	—	一
	鑑札變造	一	—	—	—	—	一
	私爲醫業	一	—	—	—	—	一
	徽章僭用	—	一	—	—	—	一

軍人軍屬犯者處刑度數及罪狀　明治三十五年

罪狀		刑ノ言渡度數 初度	二度	三度	四度	五度以上	合計
海法	持凶器上官ニ對シ暴行	一					
	持凶器上官ニ對シ暴行未遂	一					
	逃亡	九四一	五五	三六	一五	二四	二一四
	發艦ノ期ニ後ル	二八	二二	一六	二	一	五四
	歸著ノ期ニ後ル	一六	四	三	一		二五
軍刑法	自傷免役ヲ圖ル	三〇六	四	三	一		三四
	抗命	一					一
	上官ヲ侮辱ス	四					四
	上官ニ對シ暴行	五					五
	艦船ヲ坐礁ス	一					一
	官給品棄毀	一三					一三
	多衆暴行						
刑	監守盜	一					一
	强盜						
	强盜未遂	二					二
	竊盜	八二	一六	七	一		一一六
	竊盜未遂	×	×				×
	毆打創傷	一九	六	二	一	一	二八

罪狀		總計	一罪	二罪俱發	三罪	四罪	五罪以上	計
諸法令罰則違犯	遺失物隱匿	×						
	屋外竊盜	七五九	三九二	×				八六一
	狩獵法違犯	×	×	×	×			八六
	要塞地帶法違犯							
法	家屋毀壞							
	家宅侵入							
	器物毀棄	七	一					一
	賭博	五	二					二
	囚徒逃走	二	一					一
	囚徒ノ逃走ヲ覺ラス	一	×					×
	猥褻負傷	一	一					一
	失火	一	一					一
	十四年	×	×	×	×			八六
	十三年	三九二	三九一	三九一	四九一	二五	二八	五八三四
	十二年	三一六	三一二	七二	四三	二六	二九	五二九
	十一年	三四三	三一	八	三五	二〇	三	四七五

（備考）表中×ハ軍屬ヲ示ス

罪狀	刑ノ言渡度數 初度	二度	三度	四度	五度以上	合計
過失創傷	三	—	—	—	—	三
受寄物費消	一	二	一	—	一	五
委託金費消	一	× 一	—	—	—	× 二
詐欺取財	一三	一四	四	一	四	三六
詐欺取財未遂	—	—	—	一	—	一
拐帶	三	一	三	—	—	七
私印私書僞造行使	五	—	二	—	—	七
私印盜用	一	—	—	—	—	一
官文書僞變造行使	三	一	—	—	一	五
官吏侮辱	二	—	—	—	—	二
官吏ノ職務執行妨害	六	二	二	一	一	一二
官職詐稱	一	—	—	—	—	一
公證文書僞造行使	—	一	—	—	—	一
鑑札變造	—	—	—	一	—	一
私爲醫業	一	—	—	—	—	一
徽章僭用	—	—	—	—	一	一
家屋毀壞	—	—	一	—	—	一
家宅侵入	二	—	—	—	—	二
器物毀棄	六	一	—	—	—	七
賭博	二	二	一	—	—	五

法						
囚徒逃走	—	一	一	—	—	二
囚徒ノ逃走ヲ覺ラス	× 一	—	—	—	—	× 一
猥褻負傷	一	—	—	—	—	一
失火	一	—	—	—	—	一
諸法令規則違犯 遺失物隱匿	一	—	—	—	—	一
屋外窃盜	三	—	一	—	—	四
狩獵法違犯	一	—	—	—	—	一
要塞地帶法違犯	× 一	—	—	—	—	× 一
總計	× 六四五 七	× 一二四 二	七二	三二	三五	× 九〇八 九
三十四年	× 三三三 二三	× 一一〇 一	五七	二七	五六	× 五八三 二四
三十三年	× 二九〇 一四	一〇一	五七	三四	四七	× 五二九 一四
三十二年	二六六	一一五	四三	二〇	三一	四七五
三十一年	三〇〇	一〇七	四九	二六	三一	五一三

（備考）表中×ハ軍屬ヲ示ス

軍人軍屬犯者所轄別　明治三十五年

所轄	軍人 上長官	士官	候補生	准士官	下士	卒	軍屬 高等官	判任官	雇員傭人	囚徒	計
海軍省	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
主計官練習所	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一

所轄	軍人				軍屬		囚徒計
	上長官	士官	候補生	准士官 下士 卒	高等官 判任官 雇員傭人		
砲術練習所							
水雷術練習所							
機關術練習所							
横須賀海兵團							
吳海兵團							
佐世保海兵團							
舞鶴海兵團							
横須賀水雷團							
吳水雷團							
佐世保水雷團							
舞鶴水雷團							
大湊水雷團							
横須賀港務部							
横須賀造船廠							
横須賀病院							
吳港務部							
學校							
佐世保港務部							
佐世保病院							
長崎水雷敷設隊							
竹敷要港部							

所轄	軍人				軍屬		囚徒計
	上長官	士官	候補生	准士官 下士 卒	高等官 判任官 雇員傭人		
馬公要港部							
佐世保監獄							
舞鶴港務部							
朝日							
初瀨							
鎭遠							
扶桑							
淺間							
八雲							
吾妻							
出雲							
常磐							
磐手							
高砂							
笠置							
浪速							
橋立							
高千穗							
武藏							
遠平							
愛岩							

所轄	軍人							軍屬			囚徒	計
	上長官	士官	候補生	准士官	下士	卒	高等官	判任官	雇員傭人			
天城山												
八重古橋												
宮												
豊連士												
富城												
赤笠												
三紫												
筑波												
筑島												
八和												
嚴石												
大歳												
明田												
千剛												
龍龍												
金門												
天島												
海												
松												

所轄	軍人							軍屬			囚徒	計
	上長官	士官	候補生	准士官	下士	卒	高等官	判任官	雇員傭人			
吉野												
鎮邊												
千田												
代叡												
比霧												
夕耶												
摩炎												
陽遠												
濟城												
葛島												
敷南												
鎮洲												
秋津												
磐城												
島海												
須磨												
操江												
眞鶴												
叢雲												
小鷹												
薄雲												
曉												

所轄	軍人								軍屬		囚徒計
	上長官	士官	候補生	准士官	下士	卒	高等官	判任官	雇員傭人		
白雲水雷艇											
總計	二	四	四×一		一〇	七八九			八	二	九一七
三十四年		五	四		六七	五〇五		七	一七		六〇七
三十三年					四二	四八六		四	九		五四三
三十二年					二七	四二九		一	一五		四七五
三十一年					二八	四六七		五	一〇		五一三

（備考）×符ハ生徒ナリ

軍人軍屬懲罰處

橫須賀鎭守府

所轄別	官職	犯：擅ニ艦船ノ團ヲ離レ若クハ勤務懈怠	職務ノ權限ヲ誤リ又ハ侵ス	成規ニ違ヒタル處置ヲ爲シ若クハ命令ヲ怠リ又ハ誤ル	服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	歸著ノ期限ニ後ル	言語所爲詐欺ニ涉ル
望樓監督官	判任文官	一	—	—	—	—	—
港務部	卒	二	—	—	—	—	—
病院	卒	三	—	—	—	—	—
海兵團	上長官	—	—	一	—	—	—
	下士	一九	—	—	—	—	—
	卒	八二	—	一	—	四	—
水雷團	上長官	—	—	一	—	—	—
	下士	六	—	—	—	一	—
	卒	一八	—	—	—	一	—
大湊水雷團	下士	九	—	—	—	—	—
	卒	六	—	—	一	一	—
兵器廠	上長官	一	—	—	—	—	—
	下士	—	—	—	—	—	—
	判任文官	—	—	—	—	—	—
朝日	下士	五	—	—	—	—	—
	卒	二六	—	—	—	二	—
鎭遠	卒	三	—	—	—	—	—
高雄	下士	—	—	—	—	—	—
	卒	三	—	—	一	—	—
武藏	下士	一	—	—	—	—	—
	卒	二	—	—	—	—	—
扶桑	士官	—	—	—	—	—	—
	卒	七	—	—	—	—	—
平遠	士官	—	—	—	—	—	—
	下士	二	—	—	—	—	—
	卒	四	—	—	—	一	—
天城	下士	五	—	—	—	—	—
	卒	三	—	—	—	—	—
豊橋	下士	五	—	—	—	—	—
	卒	一三	—	—	—	—	—
鎭東	卒	—	—	—	—	—	—
鎭北	卒	二	—	—	—	—	—
雷	下士	—	—	—	—	—	—
	卒	二	—	—	—	—	—
漣	士官	一	—	—	—	—	—
	下士	一	—	—	—	一	—
	卒	—	—	—	—	三	—
朧	卒	四	—	—	—	—	—
電	下士	一	—	—	—	—	—
	卒	—	—	—	—	—	—
曙	卒	二	—	—	一	一	—
通計	上長官	一	—	二	—	—	—
	士官	一	—	—	—	—	—
	判任文官	一	—	—	—	—	—
	下士	五四	—	—	—	二	二
	卒	一八二	—	一	三	一四	二
	合計	二三八	—	三	三	一六	四

人軍屬懲罰處分人員

其一

明治三十五年分

犯行目																																															
職務ノ權限ヲ誤リ又ハ侵ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
成規ニ違ヒタル處置ヲ為シ若クハ命令ヲ怠リ又ハ誤ル	—	—	—	一	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	一	三
服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	三	三
歸著ノ期限ニ後ル	—	—	—	—	—	四	—	一	一	—	一	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	三	—	—	—	一	—	—	—	二	一四	一六
言語所爲詐欺ニ渉ル	—	—	—	—	一	二	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	二	四
暴行脅迫罵詈侮慢闘争	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	二
犯罪庇隠	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一
疎虞懈怠過失ニヨリ官物毀損若クハ糧食物品支給調製ヲ誤ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	二	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	三	四
官物濫用又ハ允許ヲ得ス官給品ヲ貸借ス	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	二
兵器配置保存法ニ違フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
酩酊事ヲ省セス又ハ軍人ノ態度ヲ失ス	—	一	—	—	一	三	—	—	一	一	—	—	—	—	一	八	—	一	一	—	一	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	二	—	四	一七	二三
禮節又ハ服装式ニ違ヒ又ハ制規外ノ服ヲ着ス	—	—	—	—	一	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	二	—	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	—	—	一	一〇	一一
法令誹謗又ハ之ニ違フ	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	三
素行修ヲス	—	—	—	—	—	二	一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	二	五
疎虞懈怠過失ニ因リ艦船毀損坐礁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	二	一	五
故ナク寝所ヲ離レ又ハ濫ニ他人ノ室ニ入ル	—	—	—	—	—	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六	六
允許ヲ得ス火薬ヲ携帯ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濫ニ艦船團隊ニ酒ヲ入レ又ハ授受シ若クハ定所外飲食吸烟睡眠	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六	六
魚鳥ヲ捕フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
就業中私用品ヲ製ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	一
整列中喧噪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濫ニ裸体ト為ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
砲門ヨリ出入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一	三	四	一	二四	一二	一	八	二〇	一二	一〇	一	一	一	八	三九	三	一	六	一	三	一	七	三	二	六	五	五	五	一五	一	二	一	三	一	二	四	四	一	二	四	三	五	二	七一	二五三	三三四

（備考）×符ハ生徒ナリ

軍人軍屬懲罰

所轄別	呉鎮守府																																						
	海兵團		水雷團				病院	兵事官	港務部	造船廠	赤城		筑波			吉野		富士				天龍		大和		明石		八島		龍田		千代田	通計						
官職	下士	卒	上長官	准士官	下士	卒	卒	上長官	下士	雇員	下士	卒	傭人	下士	卒	下士	卒	上長官	士官	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	卒	上長官	士官	准士官	下士	卒	雇員傭人	計
犯 擅ニ艦船團ヲ離レ若クハ勤務懈怠	一六	六七	|	|	六	一七	一	一	|	三	一	一二	|	四	一九	|	三	一	一	七	一四	一	一二	一	五	三	二	四	一六	一	一	五	二	一	|	四四	一七四	三	二二四
職務ノ權限ヲ誤リ又ハ侵ス	|	|	一	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	一	|	|	|	|	|	一
成規ニ違ヒタル處置ヲ爲シ若クハ命令ヲ怠リ又ハ誤ル	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	一	|	|	|	|	|	一	|	|	|	|	|	|	|	|	|	二	|	|	二
服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	|	|	|	|	|	|	|	|	一	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	一	一	|	|	|	|	|	|	四	九	|	|	|	|	|	|	六	一〇	|	一六
歸着ノ期限ニ後ル	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	一	三	|	|	|	|	|	|	|	一	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	一	四	|	五

人軍屬懲罰處分人員　其二

明治三十五年分

犯行目																																							
職務ノ權限ヲ踰リ又ハ侵ス	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一
成規ニ違ヒタル處置ヲ爲シ若クハ命令ヲ怠リ又ハ誤ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	二
服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	四	九	—	—	—	—	—	—	六	一〇	—	一六
歸着ノ期限ニ後ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	三	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	四	—	五
言語所爲詐欺ニ渉ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	二	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	一	四	—	五
暴行脅迫罵詈侮慢鬪爭	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	二
犯罪庇隱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
疎虞懈怠過失ニヨリ官物毀損若クハ糧食物品支給調製ヲ誤ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—	一	—	二	—	—	—	—	—	—	—	六	一	七
官物濫用又ハ允許ヲ得ス官給品ヲ貸借ス	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	三
兵器配置保存法ニ違フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
酩酊シテ事ヲ書セス又ハ軍人ノ態度ヲ失ス	三	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	三	一	一	—	一	—	一	—	一	二	—	—	—	—	—	七	一二	—	一九
禮節又ハ服裝式ニ違ヒ又ハ制規外ノ服ヲ着ス	二	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	一	一	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	—	三	七	—	一〇
法令誹謗又ハ之ニ違フ	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	—	四
素行修ラス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	二	—	—	二
疎虞懈怠過失ニ因リ艦船毀損坐礁	—	一	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	二	—	三	—	六
故ナク寢所ヲ離レ又ハ濫ニ他人ノ室ニ入ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
允許ヲ得ス火薬ヲ携帶ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
濫ニ艦船團隊ニ酒ヲ入レ又ハ授受シ若クハ定所外飲食吸煙睡眠	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	一
魚鳥ヲ捕フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	二
就業中私用品ヲ製ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
整列中喧噪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濫ニ裸体ト爲ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
砲門ヨリ出入	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	二
計	二	七六	二	二	六	一九	二	一	一	三	一	一四	一	四	二〇	一	八	一	一	一二	二六	二	一五	二	八	四	八	八	三二	四	二	五	四	一	二	六六	二三五	四	三一二

軍人軍屬懲罰處分人員 其三 明治三十五年分

佐世保鎮守府

犯行 ＼ 所轄別・官職	海兵團 士官	海兵團 下士	海兵團 卒	水雷團 上長官	水雷團 士官	水雷團 准士官	水雷團 下士	水雷團 卒	港務部 下士	港務部 卒	豫備艦部 下士	造船廠 上長官	造船廠 雇員	兵器廠 下士	病院 下士	病院 卒	竹敷要港部第一、二艇隊 下士	竹敷要港部第一、二艇隊 卒	馬公水雷敷設隊 下士	馬公水雷敷設隊 卒	長崎水雷敷設隊 卒	陽炎 卒	鳥海 卒	初瀬 下士	初瀬 卒	海門 卒	磐手 下士	磐手 卒	磐城 卒	葛城 下士	葛城 卒	操江 下士	操江 卒	叢雲 卒	濟遠 上長官	濟遠 士官	濟遠 下士	濟遠 卒	東雲 下士	東雲 卒	秋津洲 下士	秋津洲 卒	出雲 下士	出雲 卒	須磨 下士	須磨 卒	敷島 下士	敷島 卒	鎮南 卒	不知火 卒	通計 上長官	通計 士官	通計 准士官	通計 下士	通計 卒	通計 雇員	通計 計
擅ニ艦船團ヲ離レ若クハ勤務ヲ懈怠	—	一五	八三	—	—	一	一七	一七	—	六	一	—	一	—	—	七	—	二	六	一三	三	一	二	九	一八	一三	—	一	四	—	三	二	三	三	—	一	—	八	一	五	—	七	一	一三	一	八	一	六	二	—	—	一	一	五四	二二八	一	二八五
職務ノ權限ヲ踰リ又ハ侵ス	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
成規ニ違ヒ處置シタルヲ爲メ若クハ命令ヲ誤リ又ハ懈怠	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	二	六	—	一〇
服從ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	一	二	—	四
歸着ノ期限ニ後ル	—	—	—	—	—	—	—	五	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	五	一	—	—	—	—	—	四	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	一	六	八	—	—	四	一一	—	一	—	—	—	一〇	三九	—	四九
言語所爲詐欺ニ渉ル	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	—	四
暴行脅迫罵詈侮慢闘爭	—	—	二	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	五	—	—	—	一	—	—	—	—	—	二	一五	—	一七
犯罪庇隱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
過失ヲ以テ官物ヲ損失若クハ毀損シ又ハ支給食品ヲ濫費若クハ調製ヲ誤ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	一	二	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	三	六	—	九
官物又ハ用品ヲ允許ヲ得ズ給品ヲ官ニ貸借ス	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
兵器ノ配置保存法ニ違フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
酩酊シテ事ヲ看者又ハ軍人ノ態度ヲ失ス	—	五	四	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	二	—	—	三	—	—	—	—	一	—	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七	一六	—	二二
禮節ハ服裝又ハ式ニ違ヒ又ハ制規外ノ服ヲ着ス	—	六	七	—	—	—	一	一	一	三	—	—	—	一	—	二	一	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	六	—	一	一	一	—	二	二	—	一	一	—	—	一	三	一	二	一	二	—	一	—	一	—	—	—	一六	三四	—	五〇
法令又ハ誹謗之ニ違フ	一	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	二	—	四
素行修ラス	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
疎虞懈怠過失ニ因リ艦船毀損坐礁	—	—	—	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	—	一	一	—	五
故ナク所管ノ寢所ヲ離レ又ハ他人ノ室ニ入ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	三	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	二	—	六
允許ヲ得ス火薬ヲ携帶ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兩團隊ニ入チ授ケ若クハ所外ニ喫烟 [illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

屬懲罰處分人員 其三

明治三十五年分

犯行目																																																									
[illegible]	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	二	六	—	一〇
服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	一	二	—	四
歸着ノ期限ニ後ル	—	—	—	—	—	—	—	五	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	五	一	—	—	—	—	—	四	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	一	六	八	—	—	四	一一	—	一	—	—	—	一〇	三九	—	四九
言語所爲詐欺ニ渉ル	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	—	四
暴行脅迫罵詈侮慢闘爭	—	—	二	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	五	—	—	—	一	—	—	—	—	—	二	一五	—	一七
犯罪庇隱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
疎虞懈怠過失ニヨリ官物毀損若クハ糧食物品支給調製ヲ誤ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	一	二	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	三	六	—	九
官物濫用又ハ允許ヲ得ス官給品ヲ貸借ス	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
兵器配置保存法ニ違フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
酩酊事ヲ省セス又ハ軍人ノ態度ヲ失ス	—	五	四	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	二	—	—	三	—	—	—	—	一	—	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七	一六	—	二三
禮節又ハ服裝式ニ違ヒ又ハ制規外ノ服ヲ着ス	—	六	七	—	—	—	一	一	一	三	—	—	—	一	—	二	一	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	六	—	一	一	一	—	二	二	—	一	一	—	—	一	三	一	二	一	二	—	一	—	一	—	—	—	一六	三四	—	五〇
法令誹謗又ハ之ニ違フ	一	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	二	—	四
素行修ラス	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一
疎虞懈怠過失ニ因リ艦船毀損坐礁	—	—	—	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	—	一	一	—	五
故ナク寢所ヲ離レ又ハ濫ニ他人ノ室ニ入ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	三	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	二	—	六
允許ヲ得ス火藥ヲ携帶ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濫ニ艦船ニ酒ヲ入レ又ハ授受シ若クハ定所外ニ飲食喫煙睡眠	—	一	三	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	—	三	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五	八	—	一三
魚鳥ヲ捕フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
就業中私用品ヲ製ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
整列中喧噪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濫ニ裸體ト爲ル	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	一
砲門ヨリ出入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	二
計	一	二九	一〇一	一	二	二	二二	二八	一	一〇	一	一	一	一	二	一三	一	八	六	一九	八	二	五	一一	三二	一六	一	一三	四	三	四	九	八	五	一	一	二	九	一	六	一	一一	一〇	三二	二	一〇	五	二一	二	二	三	四	二	一〇七	三六八	一	四八五

軍人軍屬懲罰處分人員

其四

明治三十五年分

所轄別	官職	擅ニ艦船ノ圍ヲ離レ若クハ勤務懈怠	職務ノ權限ヲ誤リ又ハ侵ス	成規ニ違ヒタル處置ヲ爲シ若クハ命令ヲ怠リ又ハ誤ル	服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	歸著ノ期限ニ後ル	言語所爲詐欺ニ涉ル	暴行脅迫罵詈侮慢鬪爭	犯罪庇隱	疎虞懈怠過失ニヨリ官物毀損若クハ糧食物品支給調製ヲ誤ル	官物濫用又ハ允許ヲ得ス官給品ヲ貸借ス	兵器配置保存法ニ違フ	酩酊事ヲ省セス又ハ軍人ノ態度ヲ失ス	禮節又ハ服装式ニ違ヒ又ハ制規外ノ服ヲ着ス	法令誹謗又ハ之ニ違フ	素行修メス	疎虞懈怠過失ニ因リ艦船毀損坐礁	故ナク寢所ヲ離レ又ハ濫ニ他人ノ室ニ入ル	允許ヲ得ス火藥ヲ携帶ス
舞鶴鎮守府 望樓監督官	判任文官	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
病院	下士	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
病院	卒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海兵團	上長官	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海兵團	下士	一五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	一	六	—	—	—	—
海兵團	卒	四一	—	一	—	一	—	—	—	一	—	—	八	二	—	—	—	—	—
水雷團	下士	六	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—
水雷團	卒	一九	—	—	—	—	二	—	—	—	一	—	一	—	二	一	—	—	—
比叡	卒	三	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	—	—	—	—
吾妻	下士	二	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	一	—	—	—	—	—
吾妻	卒	二六	—	—	—	一	二	—	—	—	—	—	七	四	—	—	—	—	—
金剛	下士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
金剛	卒	三	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	一	—	一	—	—	—	—
摩耶	下士	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	一	—	—	—
摩耶	卒	三	—	—	—	—	二	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	—
鎮西	下士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
朝潮	卒	八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白雲	下士	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白雲	卒	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通計	上長官	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通計	判任文官	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通計	下士	二三	—	一	一	二	—	—	—	三	一	—	二	三	七	一	一	—	—
通計	卒	一〇三	—	一	—	五	六	一	—	四	二	—	一九	六	三	一	—	—	—
通計	計	一二七	—	二	一	七	六	一	—	八	三	—	二一	九	一〇	二	一	—	—
常備 三笠	下士	三	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—
三笠	卒	四〇	—	—	—	—	—	三	—	一	—	—	—	四	—	—	—	—	—
八雲	下士	三	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—
八雲	卒	一七	—	—	一	一	一	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—
淺間	上長官	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
淺間	下士	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—
淺間	卒	一六	—	—	—	一	三	—	—	—	—	—	五	—	—	—	—	—	—
高砂	下士	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高砂	卒	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嚴島	下士	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嚴島	卒	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
常磐	上長官	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
常磐	下士	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—
常磐	卒	一〇	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松島	下士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
松島	卒	三	—	一	—	二	—	—	—	—	—	—	—	四	—	—	—	—	—
高千穗	下士	三	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高千穗	卒	二〇	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—
浪速	士官	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—
浪速	下士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—
浪速	卒	一一	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	一	二	—	—	—	—	—
橋立	下士	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
橋立	卒	六	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
笠置	下士	七	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
笠置	卒	八	—	—	—	—	一	—	—	二	—	—	一	—	—	—	—	—	—
笠置	傭人	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和泉	下士	六	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和泉	卒	六	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	上長官	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—

人員 其三 明治三十五年分

一前表本年間懲罰人員總計千六百六十九人

通計 計	通計 雇員傭人	通計 卒	通計 下士	通計 判任文官	通計 准士官	通計 士官	通計 上長官	艦政本部 兵器廠 判任文官	經理局 主計官練習所 卒	常備艦隊 通計 計	常備艦隊 通計 傭人	常備艦隊 通計 卒	常備艦隊 通計 下士	常備艦隊 通計 士官	常備艦隊 通計 上長官
一,〇八七	七	八五八	二一一	二	一	四	四	—	—	二一三	三	一七二	三六	一	一
四	—	一	一	—	—	一	一	—	—	二	—	—	一	一	—
二一	—	一〇	六	一	一	—	三	一	—	三	—	二	一	—	—
二七	—	一七	九	—	—	—	一	—	—	三	—	二	一	—	—
八七	—	七一	一五	—	—	—	一	—	—	一〇	—	九	—	—	一
二七	—	二二	五	—	—	—	—	—	—	八	—	六	二	—	—
三二	—	二六	六	—	—	—	—	—	—	一〇	—	七	三	—	—
一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三六	一	二五	八	—	—	—	二	—	—	八	—	六	一	—	一
九	—	八	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一一〇	—	八二	二六	—	—	二	—	—	—	二四	—	一八	六	—	—
九九	—	七三	二六	—	—	—	—	—	—	一九	—	一六	三	—	—
二二	—	一三	八	—	—	一	—	—	—	一	—	一	—	—	—
一七	—	五	九	—	—	一	二	—	—	七	—	一	三	一	二
二〇	—	六	四	—	二	六	二	—	—	三	—	一	—	二	—
一二	—	八	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

大島 卒	大島 下士	愛宕 卒	愛宕 下士	筑紫 卒	筑紫 下士	筑紫 士官	千早 卒	千早 下士	宮古 卒	宮古 下士	宮古 士官	宮古 上長官	千歳 卒	千歳 下士	千歳 士官	千歳 上長官	和泉 卒	和泉 下士	笠置 傭人	笠置 卒	笠置 下士
三	—	四	一	八	一	一	五	二	二	一	—	—	六	—	—	—	六	六	三	八	七
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—
四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一	—	一	—
一	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	一	二	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—
一	—	一	—	—	一	—	二	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

橋立 卒	橋立 下士	浪速 卒	浪速 下士	浪速 士官	高千穂 卒	高千穂 下士	松島 卒	松島 下士	常磐 卒	常磐 下士	常磐 上長官	嚴島 卒	嚴島 下士	高砂 卒	高砂 下士	淺間 卒	淺間 下士	淺間 上長官	八雲 卒	八雲 下士	三笠 卒
六	三	一一	—	—	二〇	三	三	—	一〇	二	一	二	一	五	一	一六	二	—	一七	三	四〇
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
—	—	一	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	一	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	—	一	—	—
—	—	一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	一	一	—	三	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	五	二	—	三	—	—
—	—	二	—	—	—	—	四	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—
—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

罰處分人員 其四

明治三十五年分

行目
歸著ノ期限ニ後ル
言語所爲詐欺ニ渉ル
暴行脅迫罵詈侮辱闘爭
犯罪庇隱
疎虞過失ニ因リ官有物又ハ他人ノ物品ヲ損毀シ又ハ食物給與者ノ調製ヲ誤ル
官用物又ハ官ノ允許ヲ得ズシテ貸借スル給品
兵器配置保存法ニ違フ
階前ニ於テ者ハ軍人又ハ其ノ體度ヲ失ス
禮節ニ式ヒ服制ニ違ヒ又ハ外服ヲ着ス
法令又ハ誹謗之ニ違フ
素行修ラス
疎虞懈怠ニ因リ過失艦船ヲ毀損坐礁
故ナク濫リニ他ノ人室又ハ入ル所ニ離レ
允許ヲ得ズシテ火藥ヲ携帶ス
濫リニ艦船ニ酒類ヲ持入レ又ハ授受シ若クハ所定外ノ飲食喫烟睡眠
魚鳥ヲ捕フ
就業中私用製品ヲ用ス
整列中喧噪
濫リニ裸体ト爲ル
砲門ヨリ出入
計

計（右より）：一　一　一　一　二六　五四　八　二七　五　六　四八　一　七　三　七　一　八　三　四　一　一　四九　一六一　二一二　五　四八　五　二三　一　五　二六　一　五　二　四　一　四　二一　一　二一　四　二九　二　一　一六　三　七　八　一三　三　七　七　一

人員 其三

明治三十五年分

行目

一七	—	七	九	—	—	—	一	—	—	三	—	二	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	
八七	—	七一	一五	—	—	—	一	—	—	一〇	—	九	—	—	一	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	一	—	—	
二七	—	二二	五	—	—	—	—	—	—	八	—	六	二	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	—	一	—	—	
三二	—	二六	六	—	—	—	—	—	—	一〇	—	七	三	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	
一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
三六	一	二五	八	—	—	—	二	—	—	八	—	六	一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	
九	—	八	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一一〇	—	八二	二六	—	—	二	—	—	—	二四	—	一八	六	—	—	—	—	—	一	二	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一	一	—	三	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	五	二	—	三	—	—	
九九	—	七三	二六	—	—	—	—	—	—	一九	—	一六	三	—	—	一	—	一	—	—	一	—	二	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	四	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	
二二	—	一三	八	—	—	一	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一七	—	五	九	—	—	一	二	—	—	七	—	一	三	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	
二〇	—	六	四	—	二	六	二	—	—	三	—	一	—	二	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一二	—	八	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
四七	—	三六	一一	—	—	—	—	—	一	一三	—	一〇	三	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	四	—	一	—	—	—	—	二	一	—	—	一	一	—	—	—	—	
二	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
四	—	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一、六六九	八	一、二六九	三五三	四	四	一五	一六	一	一	三二四	三	二五一	六〇	五	五	一〇	一	七	三	一〇	二	一	一一	三	六	二	一	二	七	三	一	一	七	七	三	一三	八	七	三	一六	一	二	二九	四	一一	一	一一	四	一	四	二	五	一	二六	五	一	二三	五	四八	五

前表本年間懲罰人員總計千六百六十九人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ二百五人ヲ增シ尙ホ平均人員ニ比例スレハ百人ニ付四・五四ニ當リ前年ニ比シ〇・二〇ヲ增セリ中ニ就キ其犯項目ニ對スル人員ノ多キモノ數項ヲ列擧スレハ左ノ如シ

擅ニ艦船團ヲ離レ若クハ勤務懈怠	一、〇八七人
酩酊事ヲ省セス又ハ軍人ノ態度ヲ失ス	一一〇
禮節又ハ服裝式ニ違ヒ又ハ制規外ノ服ヲ著ス	九九
歸著ノ期限ニ後ル	八七
濫ニ艦船團隊ニ酒ヲ入レ又ハ授受若クハ定所外飲食吸烟睡眠疎虞懈怠過失ニヨリ官物毀損若クハ糧食物品支給調製ヲ誤ル	四七
服順ノ道ヲ失シ又ハ事件ヲ稽延ス	三六
言語所爲詐欺ニ涉ル	二七
	二七

上來表示シタル所ニ就テ之ヲ觀レハ本年ニ於テモ犯罪者ハ率子下士卒ニシテ總數ノ九割八分二厘餘ヲ占ムル割合ナリ本年十二月三十一日現在ノ下士卒總員ハ二萬九千八百二人ニシテ前年末ノ總員ニ比較スレハ千九百六十四人ヲ增加セリ而シテ其ノ犯者モ亦前年ニ比シ三百二十九人ヲ增シ

隨テ總員ニ對スル割合モ九分七厘ヲ增加セリ即チ既往十年間ノ犯罪者比例ヲ排列スレハ左表ノ如シ

年次	下士卒年末總員	下士卒犯罪者總員	總員百ニ對スル犯罪者
三十五年	二九、八〇二	九〇一	三・〇二
三十四年	二七、八三八	五七二	二・〇五
三十三年	二五、一二五	五二八	二・一〇
三十二年	二一、八一五	四五六	二・〇九
三十一年	一八、三八三	四九六	二・七〇
三十年	一七、六一一	四一九	二・三八
二十九年	一四、二一八	三三一	二・三四
二十八年	一二、七二一	二五二	一・八三
二十七年	一三、一五六	二五二	一・九二
二十六年	九、八一三	二一二	二・二五
平均	一九、〇四八	四四四	二・三三

前表ハ下士卒年末現員ニ對スル比例ナルヲ以テ是ヨリ更ニ下士卒平均人員ニ對スル海軍刑法ト普通刑法トニ處セラレタル割合ヲ表示スレハ左ノ如シ

年次	下士卒平均總人員	下士卒犯罪者				總人員ニ對スル百分比例
		海軍刑法	刑法	計		
三十五年	二八、五三五	六四七	二四六	八九三	三・一	
三十四年	二六、三七九	三一七	二四一	五五八	二・一	
三十三年	二三、一〇三	二九六	二一五	五一一	二・二	
三十二年	一九、六三二	二四七	二〇一	四四八	二・三	
三十一年	一八、〇〇一	二六二	二二八	四九〇	二・七	
三十年	一五、二一九	二一九	一九五	四一四	二・七	
二十九年	一二、四三九	一三三	一四四	三三〇	二・七	
二十八年	一〇、七八七	一七五	七三	二四八	二・三	
二十七年	九、一三五	一六六	八三	二四九	二・七	
二十六年	一七、六一〇	二六五	一七三	四三八	二・四	
平均	一七、六一〇					

又刑法二種ニ對スル犯罪中ニ就キ犯者ノ最モ多キ者ヲ抄錄スレハ左ノ如シ但前段ニ於テ一言シタルカ如ク本年抗命罪三百十一人ノ多キアルモ是特殊ノ數ナルヲ以テ敢テ連年ノ對照ヲ揭出セス姑ラク其他ノ欄中ニ併算セリ

年次	逃亡	發艦ノ期ニ後ル	窃盜	毆打創傷	詐欺取財	其他	計
三十五年	二二三	五二	一一二	二七	三六	四四九	八九九
三十四年	二一五	七八	一二一	二一	三五	一〇二	五七二
三十三年	二二二	四七	一一二	一八	三八	九一	五二八
三十二年	一七五	四八	九六	二八	一九	九〇	四五六
三十一年	二二一	三二	一〇三	二三	二六	九一	四九六
三十年	一七四	二八	八四	二四	三六	七三	四一九
二十九年	一五五	一八	七〇	一八	二七	四四	三三二
二十八年	一一一	一一	四八	一一	一二	四〇	二三三
二十七年	一三六	三〇	三五	六	六	三九	二五二
二十六年	一〇七	五二	四一	一二	八	三二	二五二
平均	一七四	四〇	八二	一九	二四	一〇五	四四四

更ニ前表五種ノ犯罪數ノ下士卒平均人員及犯罪者總員ニ對スル割合ハ左表ノ如シ

年次	逃亡百分數 下士卒平均總人員ニ對シ	逃亡百分數 犯罪者總員ニ對シ	發艦ノ期ニ後ル百分數 下士卒平均總人員ニ對シ	發艦ノ期ニ後ル百分數 犯罪者總員ニ對シ	窃盜百分數 下士卒平均總人員ニ對シ	窃盜百分數 犯罪者總員ニ對シ	毆打創傷百分數 下士卒平均總人員ニ對シ	毆打創傷百分數 犯罪者總員ニ對シ	詐欺取財百分數 下士卒平均總人員ニ對シ	詐欺取財百分數 犯罪者總員ニ對シ	其他犯罪百分數 下士卒平均總人員ニ對シ	其他犯罪百分數 犯罪者總員ニ對シ
三十五年	〇・九八	二四・八一	〇・一八	五・七九	〇・三九	一二・四六	〇・〇九	三・〇〇	〇・一三	四・〇〇	一・五七	四九・九四
三十四年	〇・八二	三七・五九	〇・三〇	一三・六四	〇・四六	二一・一五	〇・〇八	三・六七	〇・一三	六・一二	〇・三九	一七・八三
三十三年	〇・八一	四二・〇五	〇・二〇	八・九〇	〇・四九	二一・二一	〇・〇八	三・四一	〇・一七	七・二〇	〇・四二	一六・七八
三十二年	〇・八九	三八・三八	〇・二四	一〇・五三	〇・四九	二一・〇五	〇・一四	六・一四	〇・〇九	四・一七	〇・四六	一八・九五
三十一年	一・二三	四三・〇八	〇・一八	六・二四	〇・五七	二〇・〇八	〇・一三	四・五八	〇・一四	五・〇七	〇・五一	一七・七四
三十年	一・一四	三九・四六	〇・一八	六・三五	〇・五五	一九・〇五	〇・一六	五・四四	〇・二四	八・一六	〇・四八	一七・四二
二十九年	一・二五	四四・九三	〇・一四	五・二二	〇・五六	二〇・二九	〇・一四	五・二二	〇・二一	七・八三	〇・三五	一二・七五
二十八年	〇・八六	四五・九一	〇・〇九	四・五一	〇・三七	一九・六七	〇・〇九	四・五一	〇・〇九	四・九二	〇・三二	一六・三九
二十七年	一・二六	五三・九七	〇・二九	一一・一一	〇・三二	一二・九六	〇・〇六	二・二二	〇・〇六	二・二二	〇・三六	一五・四八
二十六年	一・一七	四〇・七七	〇・五七	一九・六二	〇・四五	一五・四七	〇・一三	四・五三	〇・〇九	三・〇二	〇・三六	一二・五一
平均	一・〇四	四一・一〇	〇・二四	九・一九	〇・四七	一八・三四	〇・一一	四・二七	〇・一四	五・二七	〇・五二	一九・五八

第十七 監獄

明治三十五年度間ニ於ケル監獄ニ關スル法規中ノ改正ニ係ルモノハ三十六年三月省令第一號ヲ以テ海軍監獄則施行細則中改正及同月達第四十一號ヲ以テ海軍監獄監内規程中改正アリタリ

明治三十五年ニ於ケル刑事被告人及囚人ノ出入ヲ概叙スルニ本年間刑事被告人ノ總數ハ九百四十二人ニシテ前年ノ五百五十七人ニ比シ三百八十五人ヲ增加セリ又本年新ニ入監シタル囚人ハ千二人ニシテ前年ニ比シ四

百五十八人ヲ增セリ即チ其ノ監獄ノ狀況幷刑事被告人及囚人出入等ノ種別ハ左表ニ列記スルカ如シ

監獄職員及傭

明治三十五年十二月三十一日査

官職	横須賀海軍監獄	吳海軍監獄	佐世保海軍監獄	舞鶴海軍監獄	通計
奏任監獄長	一	一	一	一	四
判任 監獄書記	二	二	二	二	八
判任 監獄看守長	四	三	三	三	一三
判任待遇監獄看守	一三	一二	一二	一一	四八
雇員傭人	七	九	八	八	三二
總計	二七	二七	二六	二五	一〇五
三十四年	二六	二六	二五	一七	九四
三十三年	二六	二五	二四	—	七五
三十二年	二八	兼務 二五	二四	—	七七
三十一年	二七	二六	二三	—	兼務 七六

監獄　明治三十五年十二月三十一日調

未決監出入人員

明治三十五年

所在地名	區別	監倉	禁錮室	內役場	病室	屛禁室	闇室	計
東京市麴町區霞ヶ關	棟數	一	—	—	—	—	—	一
	囚室數	三	—	—	—	—	—	三
相模國三浦郡浦賀町	仝	一	三	一	二	一	一	九
	仝	二四	一五	一	九	二	一	五二
安藝國吳市和庄町	仝	二	二	一	一	一	一	八
	仝	一四	一五	一	四	二	一	三七
肥前國東彼杵郡佐世保	仝	一	三	—	二	一	一	八
	仝	六	一五	—	七	二	一	三一
丹後國加佐郡餘部町字餘部下	仝	一	一	一	一	—	—	四
	仝	一〇	一一	一	二	二	—	二六
總計	仝	六	九	三	六	三	三	三〇
	仝	五七	五六	三	二二	八	三	一四九
三十四年	仝	六	九	三	五	三	三	二九
	仝	五七	五六	三	一七	七	七	一四七
三十三年	仝	五	七	二	五	三	三	二五
	仝	四七	三五	二	二〇	六	三	一一三
三十二年	仝	五	七	二	五	三	三	二五
	仝	四七	三五	二	二〇	六	三	一一三
三十一年	仝	五	七	一	五	三	三	二四
	仝	四七	三五	一	二〇	六	三	一一二

已決監出入人員

明治三十五年

所在地	入監			出監										出監										残留人員
	前年ヨリ繰越ノ入人員	新入人員	計	放還	懲役執行ノ為管轄庁ヘ送致	逃走	死亡	其他	計	放還	懲役執行ノ為管轄庁ヘ送致	逃走	死亡	其他	計	放還	懲役執行ノ為管轄庁ヘ送致	逃走	死亡	其他	計		
東京市麹町區霞ヶ關	一	一	二	一	一				二	一	一				二								
相摸國三浦郡浦賀町	三	八九	九五	二	一				三	一	一				二								
安藝國奥市和庄町	六	四四〇	四四六	一七一	一一二				一八三	一四〇	一四八				一八八								
肥前國東彼杵郡佐世保	一	一〇七	一〇八	六〇	一				六一	一	一				一								
丹後國加佐郡餘部町字餘部下	一	四四	四五	二三					二三														
總計	一一	六八一	六九二	二五〇	一四	二	一		二六七	九四二	一四	二	一		九五七	六八	一	一			六九	二三	
三十四年	二九	三三一	三六〇	一九七	一一二	一			一二〇	一七四	一六二	一			一七七	一七	一				一八	一五五	
三十三年	一一	三三六	三四七	一七七	一四〇	一			一五八	一四八	一四一				一五一	一五九	一				一六〇	一四四	
三十二年	一五	二六八	二八三	一六三	一〇一				一六四	一四七	一四一				一五一	一三					一三	一四四	
三十一年	一三	一七四	一八七	一三	一				一四	一三	一三				一六	一					一	一四	

已決四刑期區別

明治三十五年十二月三十一日現員

其殘留人員四百二十四人ノ刑名幷刑期ヲ區別スレハ左ノ如シ

刑名	輕重	重			輕禁錮			輕		總計	三十四年	三十三年	三十二年	三十一年
		一月以下	一月以上	六月以上	計	二年以上	一年以上	六月以上	一月以上					
横須賀海軍監獄										一九二	一八六	三一八	一五三	一四三
呉海軍監獄										五〇九	二八一	二二六	一五四	一四
佐世保海軍監獄										四八七	一八七	一七二	一四八	一九
舞鶴海軍監獄										六	二	二	二	二
通計										七三〇	二四	一六	一四	一四
										一、九三	五〇九	四一八	二九一	二四
										一五七	六一	四一	二四	二一
										一	一	一	一	一
										三	一	一	一	一
										一	一	一	一	一
										三	二	二	二	二
										四	一	一	一	一
										七六九	三五九	一九一	一四九	一一〇
										四二四	一八六	一四三	一一六	九六

刑名	横須賀海軍監獄	呉海軍監獄	佐世保海軍監獄	舞鶴海軍監獄	通計
罪 禁錮 一年以上	一〇	—	一〇	四	二四
罪 禁錮 二年以上三年未満	—	一	—	—	一
罪 禁錮 計	四六	一一二	四四	二九	二三一
總計	九二	一四七	一一六	六九	四二四
三十四年	六二	五五	六九	五	一九一
三十三年	五二	六七	六七	—	一八六
三十二年	五八	四三	五二	—	一五三
三十一年	七九	六〇	四〇	—	一七九

再度以上入監已決囚比例

年次	己決入監總員	二度以上入ル者	二度以上入ル者己決總員ニ對スル十分比例
三十五年	一、一九三	四八七	四・八二
三十四年	七三〇	二二六	三・一〇
三十三年	六二三	一八七	三・〇〇
三十二年	六〇三	一七二	二・八五
三十一年	六〇八	一六八	二・六八
平均	七五一	二四八	三・二九

明治三十五年度監獄費現計

區別	横須賀監獄	呉監獄	佐世保監獄	舞鶴監獄	通計
管理費 俸給及諸給	四、六〇九 円 三八二	四、三八七 円 九三九	四、二九〇 円 五〇八	三、二九五 円 五五二	一六、五八三 円 三八一
管理費 旅費	三九〇 八四〇	五四五 三一三	—	三〇四 一八〇	一、二四〇 三三三
管理費 廳費	六一〇 〇〇〇	二八〇 八四〇	二七三 八九四	六二六 一〇五	一、七九〇 八三九
管理費 雜給及雜費	九〇一 九〇〇	一、五四三 六九八	九七六 七二八	一、二八九 五九八	四、七一一 九二四
管理費 計	六、五一二 一二二	六、七五七 七九〇	五、五四一 一三〇	五、五一五 四三五	二四、三二六 四七七
囚徒費 糧食費	四、〇六八 六五四	四、七六四 五五九	三、四八〇 一三三	一、七七二 二五一	一四、〇八五 五九七
囚徒費 被服費	一、八二五 三三八	四、六〇七 五三六	一、四八七 二四六	六三五 五二五	八、五五五 六四五
囚徒費 護送費	八二七 一一〇	五二六 九一〇	五九五 二〇七	一四九 八一五	二、〇九九 〇四二
囚徒費 雜費	九一〇 七八〇	七四九 六〇〇	一、一九三 六〇二	八六四 六八一	三、七一八 六六三
囚徒費 計	七、六三一 八八二	一〇、六四八 六〇五	六、七五六 一八八	三、四二二 二七二	二八、四五八 九四七
總計	一四、一四四 〇〇四	一七、四〇六 三九五	一二、二九七 三一八	八、九三七 七〇七	五二、七八五 四二四

（備考）本表ノ外東京軍法會議ニ屬スル囚徒費二十八圓三十一錢五厘護送費十一円四十四錢雜費十六円八十七錢五厘アリ

監獄費五箇年統計

年度	管理費	囚徒費	通計
三十五年度	円 二四、三二六.四七七	円 二七、四八六.四七〇	円 五一、八一二.九四七
三十四年度	一九、五四六.四二八	一九、四四九.三〇七	三八、九九五.七三五
三十三年度	一七、五六九.一九〇	一七、〇〇四.三五五	三四、五七三.五四五
三十二年度	一九、三七六.三四五	一四、八三二.五四四	三四、二〇八.八八九
三十一年度	一六、八〇七.六一四	一二、二五五.七一八	二九、〇六三.三三二
平均	一九、五二五.二一一	一八、二〇五.六七九	三七、七三〇.八九〇

未決已決入監人員五箇年統計

年次	未決 越シ人員	未決 入監人員	未決 計	已決 越シ人員	已決 入監人員	已決 計	合計
三十五年	一一	九三一	九四二	一九一	一、〇〇二	一、一九三	二、一三五
三十四年	二九	五二八	五五七	一八六	五四四	七三〇	一、二八七
三十三年	一一	五一三	五二四	一五三	四七〇	六二三	一、一四七
三十二年	一五	四三二	四四七	一七九	四二四	六〇三	一、〇五〇
三十一年	二二	四八九	五一一	一四三	四六五	六〇八	一、一一九
平均	一八	五七九	五九七	一七〇	五八一	七五一	一、三四八

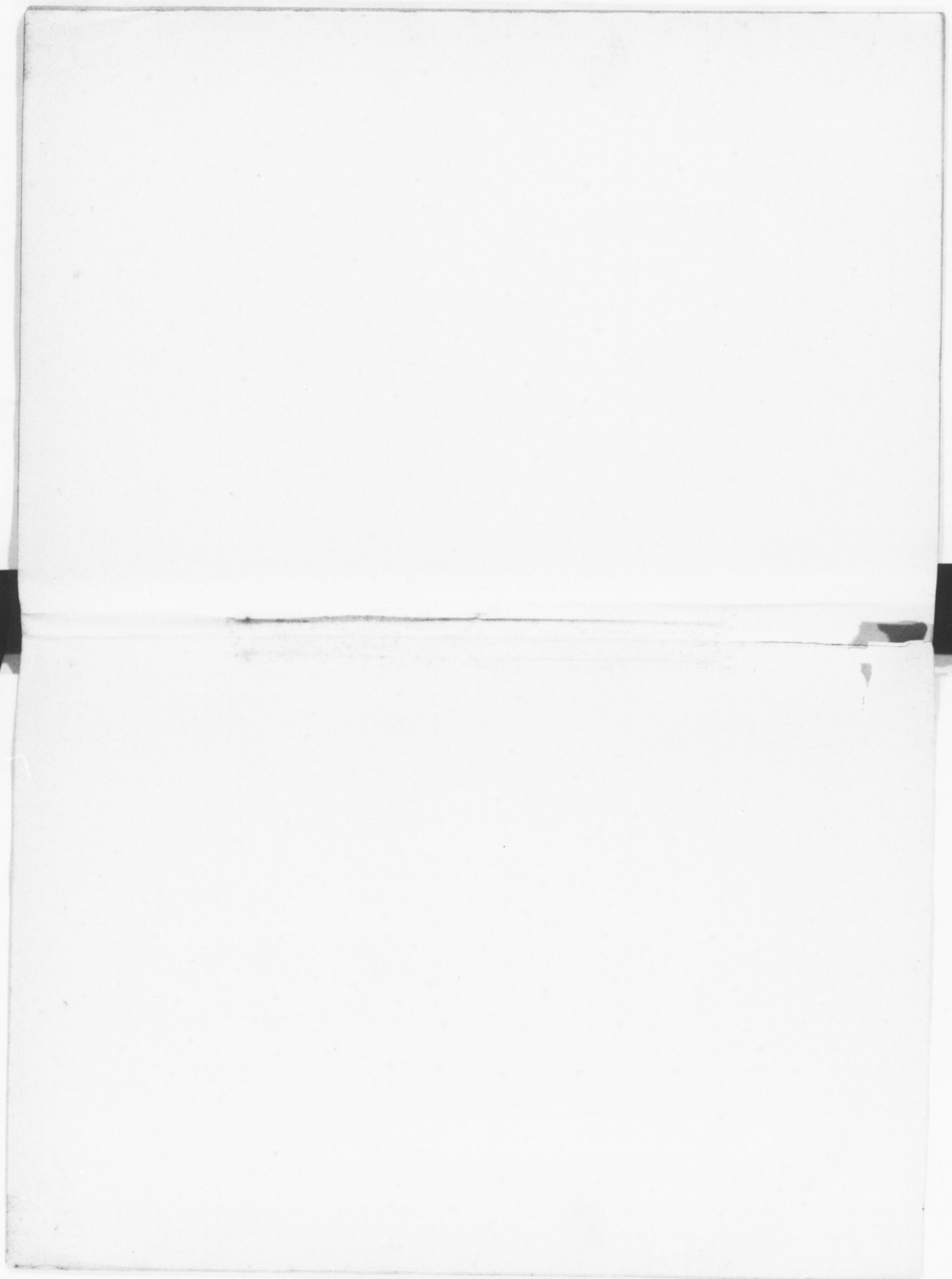
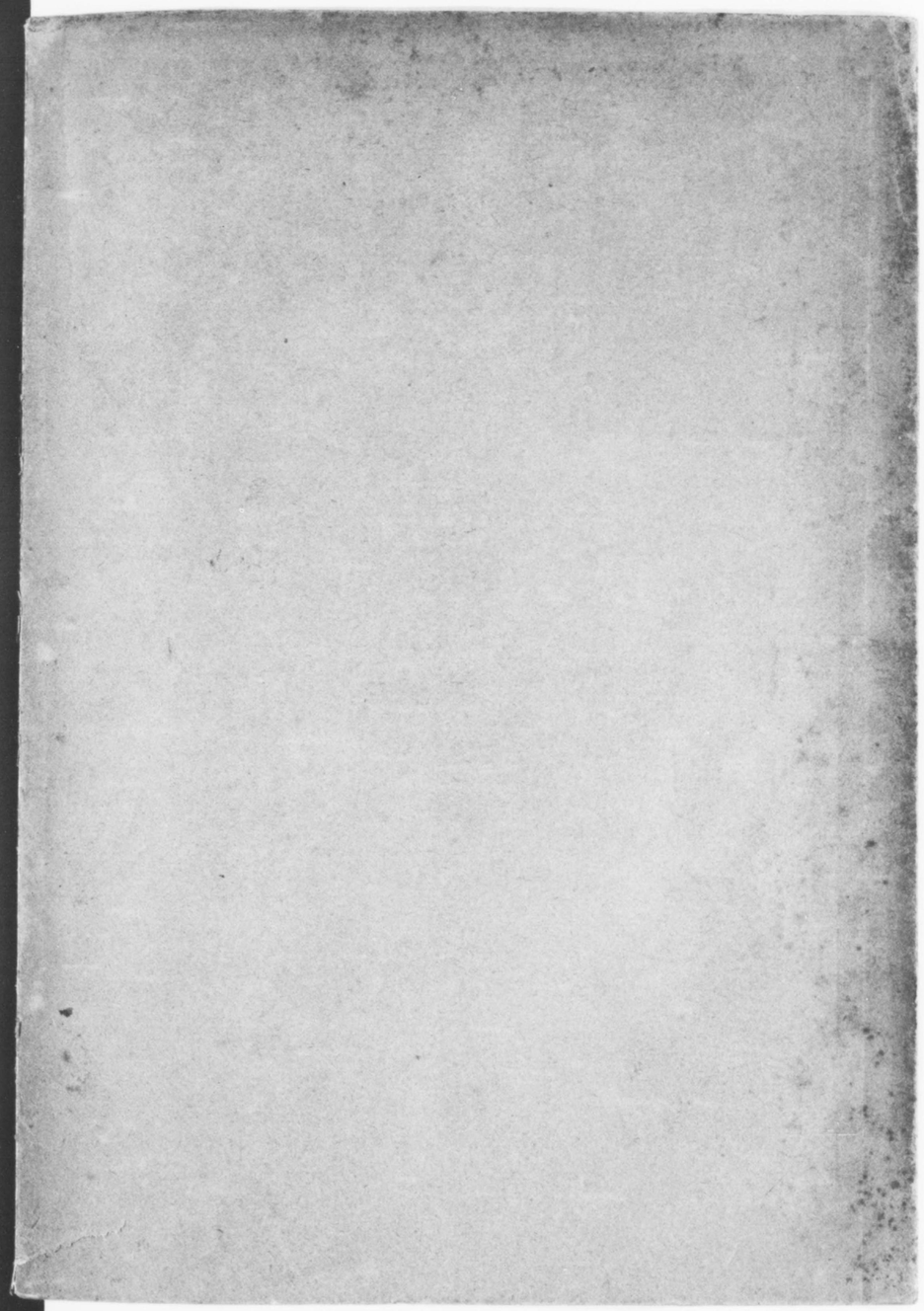
未決已決入監人員費用

區別	三十五年度	三十四年度	三十三年度	三十二年度	三十一年度	平均
管理費ニ對スル囚徒一人費用ノ割	円 一一.三九三	円 一五.一八八	円 一五.三一〇	円 一八.四五六	円 一五.〇二〇	円 一六.六二四
囚徒費ニ對スル囚徒一人費用ノ割	一二.八七四	一五.一一二	一四.八一一	一四.一六二	一〇.九五一	九.五一七
兩費合計ニ對スル囚徒一人費用ノ割	二四.二六八	三〇.三〇〇	三〇.一二八	三二.五八〇	二五.九七二	二六.一四一

未決已決在監延人員

月別	東京監倉 未決	横須賀監獄 未決	横須賀監獄 已決	横須賀監獄 計	呉監獄 未決	呉監獄 已決	呉監獄 計	佐世保監獄 未決	佐世保監獄 已決	佐世保監獄 計	舞鶴監獄 未決	舞鶴監獄 已決	舞鶴監獄 計	通計 未決	通計 已決	通計 計
一月	—	二三二	一、九五一	二、一八三	三四八	一、六一一	一、九五九	二一七	一、九九四	二、二一一	二九	一七〇	一九九	八二六	五、七二六	六、五五二
二月	—	三二六	一、九〇九	二、二三五	一七八	一、七七六	一、九五四	二二三	一、八四七	二、〇七〇	八一	二三三	三一四	八〇八	五、七六五	六、五七三
三月	—	二二七	二、一三〇	二、三五七	一五九	一、八七六	二、〇三五	一九七	二、一九四	二、三九一	三二	三三一	三六三	六一五	六、五三一	七、一四六
四月	—	二四二	一、九五七	二、一九九	七九	一、六一四	一、六九三	一九六	二、一五六	二、三五二	四七	二三〇	二七七	五六四	五、九五七	六、五二一
五月	—	三〇六	一、六七三	一、九七九	七二	一、四〇二	一、四七四	一六五	一、一四四	一、三〇九	二七	二七〇	二九七	五七〇	四、四八九	五、〇五九
六月	—	四五六	一、四七五	一、九三一	五一	一、三六三	一、四一四	一九四	一、九二〇	二、一一四	四	二二七	二三一	七〇五	四、九八五	五、六九〇
七月	一三	三一五	一、七一六	二、〇三一	一、四九六	一、三〇九	二、八〇五	二五四	二、〇四〇	二、二九四	二一	二〇八	二二九	二、〇九九	五、二七三	七、三七二
八月	二	二六二	一、八九四	二、一五六	九一一	一、四四九	二、三六〇	二四八	二、〇二九	二、二七七	二七	二八九	三一六	一、四五〇	五、六六一	七、一一一
九月	—	三三八	一、八七八	二、二一六	一、二六二	一、六八三	二、九四五	三〇八	二、〇六五	二、三七三	一九八	三九五	五九三	二、一〇六	六、〇二一	八、一二七
十月	三	三〇〇	二、二二七	二、五二七	六、七〇五	三、四三〇	一〇、一三五	三〇二	二、二五五	二、五五七	一五三	九四一	一、〇九四	七、四六三	八、八五三	一六、三一六
十一月	—	一七九	一、九一六	二、〇九五	五、二二七	三、四六〇	八、六八七	二一二	二、二九八	二、五一〇	二九	二、一三〇	二、一五九	五、六四七	九、八〇四	一五、四五一
十二月	—	二〇三	一、七五三	一、九五六	一六〇	四、五六四	四、七二四	二七三	二、四七八	二、七五一	一〇七	二、一三四	二、二四一	七四三	一〇、九二九	一一、六七二

月別	東京監獄 未決	東京監獄 未決	横須賀監獄 已決	横須賀監獄 計	吳監獄 未決	吳監獄 已決	吳監獄 計	佐世保監獄 未決	佐世保監獄 已決	佐世保監獄 計	舞鶴監獄 未決	舞鶴監獄 已決	舞鶴監獄 計	通計 未決	通計 已決	通計 計
總計	一八	三、三八六	二二、四七九	二五、八六五	一六、六四八	二五、五三七	四二、一八五	二、七八九	二四、四二〇	二七、二〇九	七五五	七、五五八	八、三一三	二三、五九六	七九、九九四	一〇三、五九〇
一日ニ付平均人員	〇・〇四	九・二七	六一・五八	七〇・八六	四五・六一	六九・九六	一一五・五七	七・六四	六六・九〇	七四・五四	二・〇六	二〇・七〇	二二・七七	六四・六四	二一九・一六	二八三・八〇
一年間入監現人員	一一	一八七	二四五	四三二	五一七	五一三	一、〇三〇	一六八	二八四	四五二	六一	一一六	一七七	九三五	一、一五八	二、〇九三
一人ニ付平均日數	九・〇〇	一八・一〇	九一・七五	五九・八七	三二・二〇	四九・七七	四〇・九五	一六・六〇	八五・九八	六〇・一九	一二・三七	六五・一五	四六・九六	二五・二三	六九・〇七	四九・四九

海軍省明治三十五年度年報終

明治三十七年八月六日印刷
明治三十七年八月八日發行
海軍大臣官房
印刷者　東京市京橋區築地四丁目壹番地寄留　榊原釟次郎
印刷所　東京市京橋區築地四丁目壹番地　水交社印刷所
電話新橋二五二三番